

北杜市子ども・子育て支援に関する
アンケート結果報告書

平成31年3月
北杜市

■ INDEX

1. 調査の概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査日時	1
(3) 調査対象及び調査方法	1
(4) 本報告書中の記号について	2
2. 基本情報	3
問1：居住地区（SA）	3
問1-（2）：市外から転入してきたか（SA）	3
問1-（3）：市外から転入してきた理由（SA）	3
問1-（4）：居住形態（SA）	4
問1-（5）：持ち家以外の方の定住意思（SA）	4
問1-（6）：定住したい方の住みたい地区（SA）	4
問1-（7）：定住したい方の住宅用地取得に向けた考え（FA）	5
問1-（8）：住宅用地として理想の土地面積（SA）	5
問1-（9）：子育てを行うにあたり、理想の家の広さ（SA）	5
問1-（10）：子育てをする上で、住宅や住宅の周りの環境で重要だと思うこと（MA）	6
問1-（11）：回答者の住宅や住宅の周りの環境は、子育てをする上で適しているか（SA）	6
問2：子どもの年齢（1月1日現在）（NA）	7
問3：きょうだいの数（NA）	7
問4：回答者の続柄（SA）	8
問5：配偶者の有無（SA）	8
問6：主な養育者（SA）	9
3. 子育て環境	10
問7：日常的な養育者（MA）	10
問8：子育てに影響する環境（MA）	11
問9：みてもらえる親族・友人等はいるか（MA）	12
問9-（1）：親族の負担（MA）	12
問9-（2）：友人等の負担（MA）	13
問10：相談先の有無（SA）	13
問10-（1）：相談先（MA）	14
問11：子育て（教育を含む）をする上での周囲（身近な人、行政担当者等）からのサポート（SA）	15
4. 就労状況	16
問12（1）：母親の就労状況（SA）	16
問12（1）-1：母親の就労日数・就労時間（NA）	16
問12（1）-2：母親の出勤時刻・帰宅時刻（NA）	17
問12（2）：父親の就労状況（SA）	17
問12（2）-1：父親の就労日数・就労時間（NA）	18
問12（2）-2：父親の出勤時刻・帰宅時刻（NA）	18
問13（1）：母親のフルタイムへの転換希望（SA）	19
問13（2）：父親のフルタイムへの転換希望（SA）	19
問14（1）：母親の就労希望（SA）	20
問14（1）2：母親の就労時期・末子の年齢（NA）	20
問14（1）3-①：母親の希望する就労形態（SA）	21
問14（1）3-②：母親の就労希望日数・時間（NA）	21

問14(2) : 父親の就労希望 (SA)	22
問14(2) 2 : 父親の就労時期・未子の年齢 (NA)	22
問14(2) 3-① : 父親の希望する就労形態 (SA)	22
問14(2) 3-② : 父親の就労希望日数・時間 (NA)	22
5. 平日の定期的な教育・保育事業 (未就学児のみ)	23
問15 : 幼稚園や保育所 (園) などの定期的な教育・保育事業の利用 (SA、MA)	23
問15-(1) - (1) : 定期的利用日数・時間数 (現状) (NA)	24
問15-(1) - (2) : 定期的利用日数・時間数 (希望) (NA)	25
問15-(2) : 定期的利用事業の実施場所 (SA)	26
問15-(3) : 定期的事業の利用理由 (MA)	27
問15-(4) : 定期的事業を利用しない理由 (MA)	27
問16 : 定期的利用事業 (希望) (MA)	28
問16-(1) : 定期的利用希望場所 (SA)	29
問16-(2) : 幼稚園の利用希望 (SA)	29
問16-(3) : 教育・保育事業が無償化された場合の教育・保育施設の利用希望 (MA)	30
6. 地域の子育て支援事業の利用状況.....	31
問17 : 地域子育て支援拠点事業等を利用しているか (NA)	31
問18 : 地域子育て支援拠点事業等の今後の利用意向 (SA)	31
問19 (未就学児)、問15 (小学生) : 地域子育て支援事業等の認知度、利用度、今後の利用意向 (SA)	32
7. 土曜日、日曜・祝日、長期休暇中の定期的な教育・保育事業 (未就学児のみ)	34
問20(1) : 土曜日の定期的利用希望 (SA)、定期的利用希望開始時刻・終了時刻 (NA)	34
問20(2) : 日曜・祝日の定期利用希望 (SA)、定期利用希望開始時刻・終了時刻 (NA)	35
問20-(1) : 土曜日、日曜・祝日に月数回利用したい理由 (MA)	36
問21 : 幼稚園等利用者の長期休暇の利用希望 (SA)、利用希望開始時刻・終了時刻 (NA)	36
問21-(1) : 幼稚園等利用者の長期休暇に週数回利用したい理由 (MA)	37
8. 病児保育事業.....	38
問22 (未就学児)、問16 (小学生) : 病児対応の有無 (SA)	38
問22-(1) (未就学児)、問16-(1) (小学生) : 病児対処方法 (MA、NA)	39
問22-(2) (未就学児)、問16-(2) (小学生) : 両親が仕事を休んだ際、病児・病後児保育施設等を利用したいと思ったか (SA、NA)	40
問22-(3) (未就学児)、問16-(3) (小学生) : 病児・病後児保育施設等の事業形態 (MA)	41
問22-(4) (未就学児)、問16-(4) (小学生) : 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由 (MA)	41
問22-(5) (未就学児)、問16-(5) (小学生) : 病児対応のため、父母のいずれかが仕事を休んで子を看たいと思ったか (SA、NA)	42
問22-(6) (未就学児)、問16-(6) (小学生) : 病児対応のため、父母のいずれかが仕事を休んで子を看ることが難しい理由 (MA)	43
9. 不定期の教育・保育事業 (未就学児のみ)	44
問23 : 不定期に利用する事業 (MA、NA)	44
問23-(1) : 不定期事業を現在利用していない理由 (MA)	45
問24 : 不定期の教育・保育事業の利用希望、目的 (SA、MA、NA)	46
問24-(1) : 不定期事業の望ましいと思う事業形態 (MA)	47
問25 : 泊りがけの用事の際の対処方法 (SA、MA、NA)	47
問25-(1) : 親族・知人に見てもらった際の困難度 (SA)	48

10. 放課後の過ごし方	49
問17：放課後の過ごし方の現状（MA、NA）	49
問26（未就学児）、問17（小学生）：1～3学年時での放課後の過ごし方の希望（MA、NA）	50
問27（未就学児）、問18（小学生）：4～6学年時での放課後の過ごし方の希望（MA、NA）	51
問28（1）（未就学児）、問19（1）（小学生）：放課後児童クラブの利用希望（土曜日）（SA、NA）	52
問28（2）（未就学児）、問19（2）（小学生）：放課後児童クラブの利用希望（日曜・祝日）（SA、NA）	53
問29（未就学児）、問19（3）（小学生）：放課後児童クラブの利用希望（長期休暇）（SA、NA）	54
問30：（未就学児）世帯の中に小学生はいるか（SA）	55
問30-（1）（未就学児）、問20（小学生）：ワクワク教室（放課後子ども教室）の今年度の利用状況について（SA）	55
問30-（2）（未就学児）、問20-（1）（小学生）：ワクワク教室（放課後子ども教室）に参加したきっかけについて（MA）	56
問30-（3）（未就学児）、問20-（2）（小学生）：ワクワク教室（放課後子ども教室）に参加しない理由について（MA）	56
問30-（4）（未就学児）、問20-（3）（小学生）：放課後子ども教室事業に期待することについて（MA）	57
問30-（5）（未就学児）、問20-（4）（小学生）：今後希望する教室の内容について（MA）	57
11. 職場の両立支援制度（未就学児のみ）	58
問31：育児休業取得の有無（SA）及び育児休業未取得の理由について（MA）	58
問31-（1）：育児休業給付制度等の認知について（SA）	60
問31-（2）：育児休業取得後、職場に復帰したか（SA）	60
問31-（3）：育児休業後の職場復帰の時期について（SA）	61
問31-（4）：職場復帰時の子どもの年齢について（NA）	62
問31-（5）：希望育児休業期間について（NA）	63
問31-（6）：（1）早期復帰理由について（MA）	64
問31-（6）：（2）遅延復帰理由について（MA）	64
問31-（7）：職場復帰時に短時間勤務制度を利用したか（SA）	65
問31-（8）：短時間勤務制度を利用しなかった理由（MA）	66
問31-（9）：1歳で必ず利用できる事業があった場合の復帰時期について（SA）	67
12. 食育関連	68
問32（未就学児）、問21（小学生）：食育は必要なことだと思うか（SA）	68
問33（未就学児）、問22（小学生）：食品の安全性に関する基礎的な知識があると思うか（SA）	68
問34（未就学児）、問23（小学生）：食育はいつ頃から始めるのが適当だと思うか（SA）	69
問34-（1）（未就学児）、問23-（1）（小学生）：子どもにどのような食育をしたいと思うか（MA）	70
問35（未就学児）、問24（小学生）：ご自身は、朝食又は夕食を子どもと一緒に食べているか（SA）	71
問36（未就学児）、問25（小学生）：ご自身や家族は、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日に2回以上食べているか（SA）	71
問37（未就学児）、問26（小学生）：ご自身や家族は、普段、ゆっくりよく噛んで食べているか（SA）	72
問38（未就学児）、問27（小学生）：ご自身や家族は、地産地消について関心があるか（SA）	72
問39（未就学児）、問28（小学生）：ご自身や家族は、日頃の食事に地元の食材を積極的に取り入れているか（SA）	73
問40（未就学児）、問29（小学生）：食に関する市の事業（親子食育教室等）に参加したことがあるか（SA）	73
問40-（1）（未就学児）、問29-（1）（小学生）：食に関する市の事業に参加しない理由（MA）	74
問41（未就学児）、問30（小学生）：田植え等農林漁業体験に参加したことがある家族（自分を含む）はいるか（SA）	74
問42（未就学児）、問31（小学生）：子育てに対する感じ方（SA）	75
問43（未就学児）、問32（小学生）：子育てに関する情報を主にどのように入手しているか（MA）	75
問44（未就学児）、問33（小学生）：子育てに関して悩んでいるのはどのようなことか（MA）	76
問45（未就学児）、問34（小学生）：生活の中の、「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度（SA）	

.....	77
問4 6 (未就学児)、問3 5 (小学生) : 北杜市は子育てしやすいまちだと思うか (S A)	78
問4 7 (未就学児)、問3 6 (小学生) : 北杜市の子育て環境や子育て支援事業にどの程度満足を感じているか (S A) ...	79
問4 8 (未就学児)、問3 7 (小学生) : こうのとり事業又はチャイルドシート購入補助事業の認知度、利用度、今後の利用意向 (S A)	80
問4 9 (未就学児)、問3 8 (小学生) : 第2子以降への出産祝金が出産を予定するきっかけになったか (S A)	82
問5 0 (未就学児)、問3 9 (小学生) : これからも北杜市で暮らしたいか (S A)	82
問5 1 (未就学児)、問4 0 (小学生) : 北杜市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいか (M A)	83

1. 調査の概要

(1) 調査目的

子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく子ども・子育て支援の制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5 年間の一期とする「北杜市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、計画的に給付・事業を実施してきた。

この計画期間が平成 31 年度に終了するため、新たに「第 2 期北杜市子ども・子育て支援事業計画」を策定する。

この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するにあたって、住民の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するためにアンケート調査を行った。

(2) 調査日時

平成 31 年 1 月 22 日から平成 31 年 2 月 15 日まで

(3) 調査対象及び調査方法

「未就学児」

	内 容
調査対象者	未就学児の保護者 1,246 人（未就学児を末子に持つ全世帯）
調査方法	郵送による調査票の配付・回収
調査期間	平成 31 年 1 月 25 日 から 平成 31 年 2 月 15 日
回収数	839 通（回収率 67.3%）

「小学生」

	内 容
調査対象者	小学生の保護者 1,044 人（小学生を末子に持つ全世帯）
調査方法	郵送による調査票の配付・回収
調査期間	平成 31 年 1 月 25 日 から 平成 31 年 2 月 15 日
回収数	675 通（回収率 64.7%）

(4) 本報告書中の記号について

(S A) …単一回答(Single Answer)の略。選択回答は1項目のみ。

(M A) …複数回答(Multi Answer)の略。回答する選択肢の数に制限がある。

(一部回答を限定しているものもある。)

(N A) …数値回答(Numeric Answer)の略。該当する数値を記入するもの。

(F A) …自由回答(Free Answer)の略。回答者の考えを自由に記入するもの。

n…回答者数(number)をあらわす。「n = 100」は、回答者数が100人ということ。

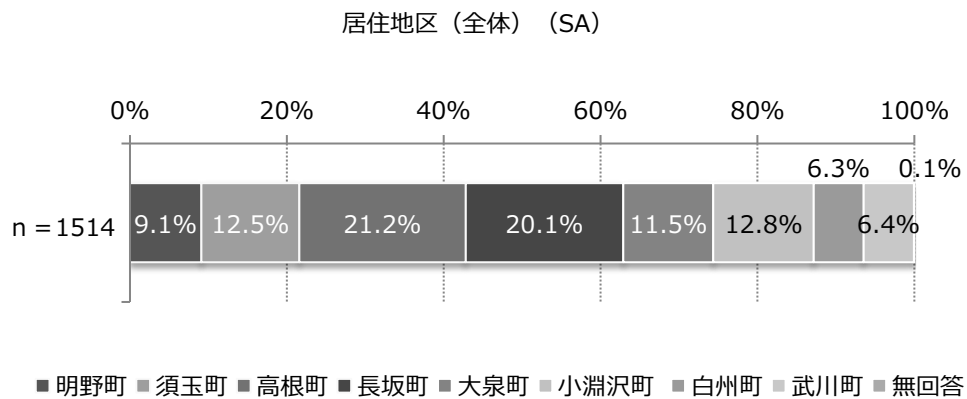
※ 複数回答の場合は合計値が100%にならない場合がある。

※ アンケート結果の数値は小数点第2位を四捨五入しており、単一回答であっても合計が100%にならない場合がある。

2. 基本情報

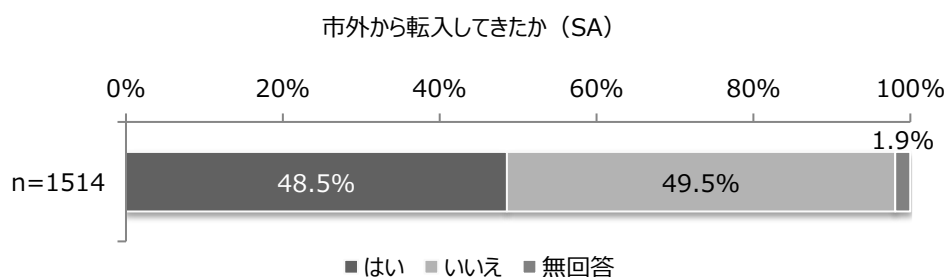
問1：居住地区（SA）

「高根町」が21.2%と最も多く、次いで、「長坂町」が20.1%、「小淵沢町」が12.8%、「須玉町」が12.5%などとなっている。



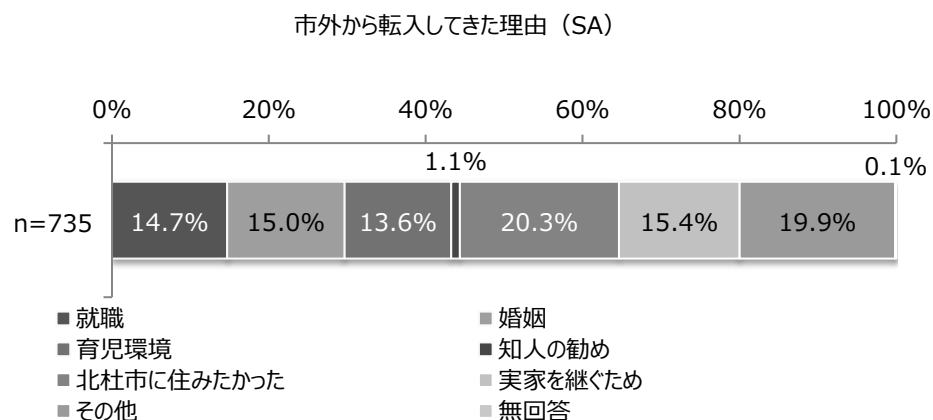
問1-（2）：市外から転入してきたか（SA）

市外からの転入は、「はい」が48.5%、「いいえ」が49.5%となっている。



問1-（3）：市外から転入してきた理由（SA）

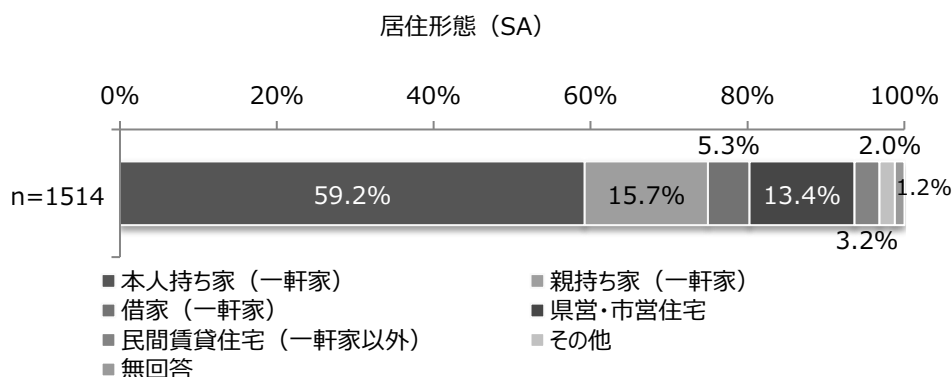
転入の理由は、「北杜市に住みたかった」が20.3%と最も多く、次いで「実家を継ぐため」が15.4%、「婚姻」が15.0%などとなっている。



※市外から転入してきた方

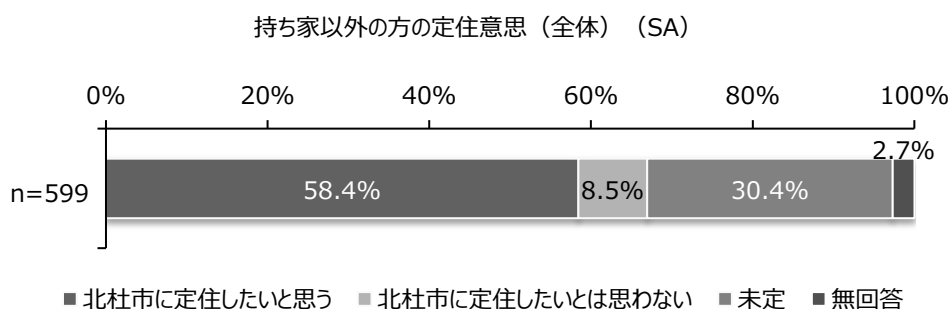
問1-(4) : 居住形態 (SA)

「本人持ち家（一軒家）」が59.2%と最も多く、次いで「親持ち家（一軒家）」が15.7%、「県営・市営住宅」が13.4%などとなっている。



問1-(5) : 持ち家以外の方の定住意思 (SA)

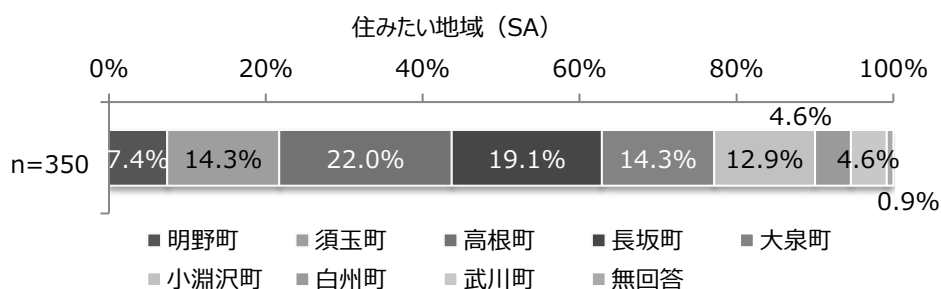
「北杜市に定住したいと思う」が58.4%と最も多く、次いで「未定」が30.4%、「北杜市に定住したいと思わない」が8.5%などとなっている。



※本人持ち家（一軒家）以外の方

問1-(6) : 定住したい方の住みたい地区 (SA)

「高根町」が22.0%と最も多く、次いで「長坂町」が19.1%、「須玉町」、「大泉町」がそれぞれ14.3%などとなっている。



※本人持ち家（一軒家）以外の方で北杜市に定住したいと思う方

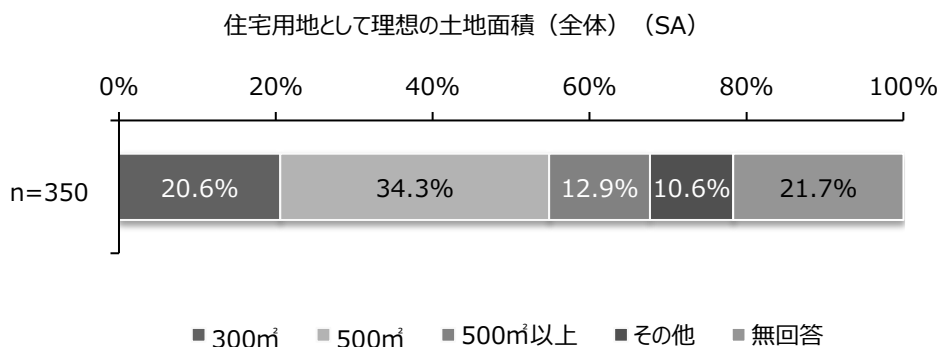
問 1 - (7) : 定住したい方の住宅用地取得に向けた考え (F A)

どのような立地条件で探しているかは、「住環境（自然、景観、学校のそば、治安等）」が 70%ほど、残りは「交通アクセスの良さ」、「親の近くの土地」がそれぞれ 15%ほどとなっている。

価格帯は 1000 万円以下で、特に「500 万円」ほどが多くなっている。

問 1 - (8) : 住宅用地として理想の土地面積 (S A)

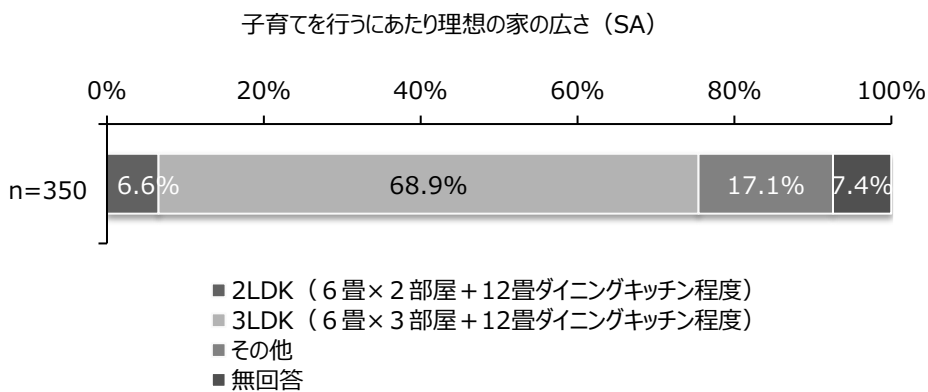
「500 m²」が 34.3 %と最も多く、次いで「300 m²」が 20.6 %、「500 m²以上」が 12.9%などとなっている。



※本人持ち家（一軒家）以外の方で北杜市に定住したいと思う方

問 1 - (9) : 子育てを行うにあたり、理想の家の広さ (S A)

「3LDK（6畳×3部屋＋12畳ダイニングキッチン程度）」が 68.9%と約 7 割となっている。

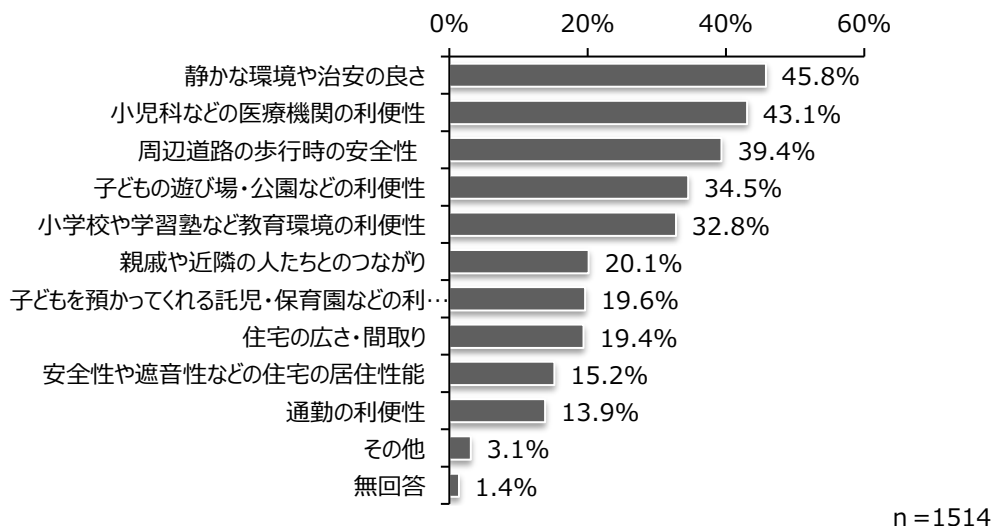


※本人持ち家（一軒家）以外の方で北杜市に定住したいと思う方

問 1 - (10) : 子育てをする上で、住宅や住宅の周りの環境で重要だと思うこと (MA)

「静かな環境や治安の良さ」が 45.8%と最も多く、次いで「小児科などの医療機関の利便性」が 43.1%、「周辺道路の歩行時の安全性」が 39.4%などとなっている。

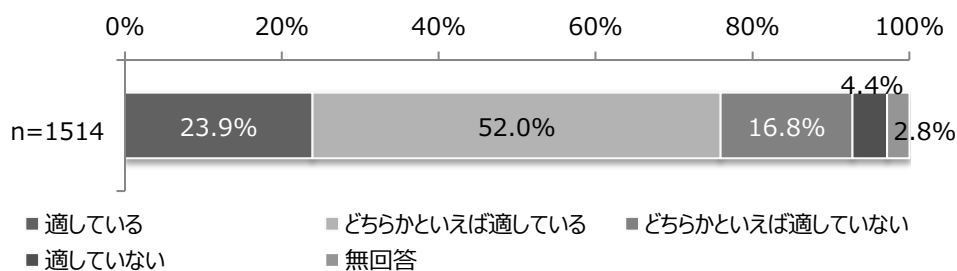
子育てをする上で、住宅や住宅の周りの環境で重要だと思うこと (MA)



問 1 - (11) : 回答者の住宅や住宅の周りの環境は、子育てをする上で適しているか (SA)

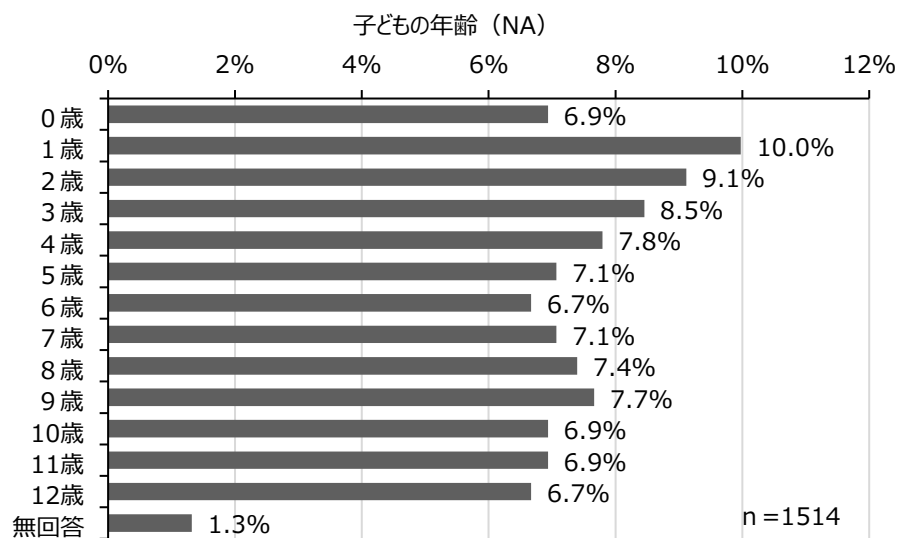
「どちらかといえば適している」が 52.0%と最も多く、次いで「適している」が 23.9%、「どちらかといえば適していない」が 16.8%などとなっている。

回答者の住宅や住宅の周りの環境は、子育てをする上で適しているか (SA)



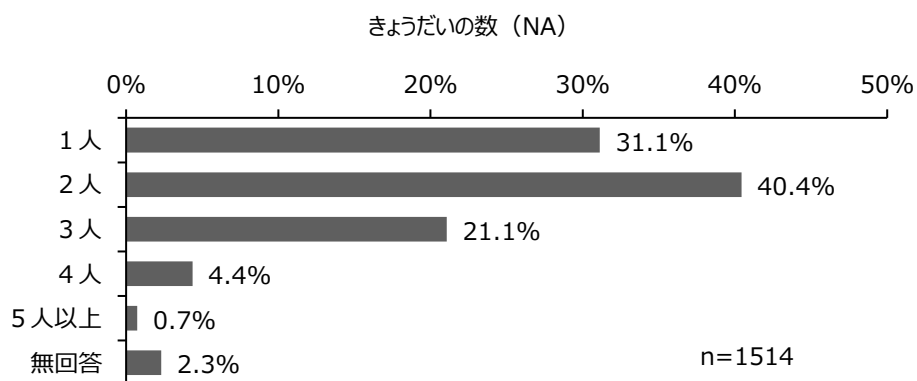
問2：子どもの年齢（1月1日現在）（NA）

3歳未満があわせて26.0%、3歳から5歳が23.4%、6歳から8歳21.2%、9歳以上が28.2%となっている。



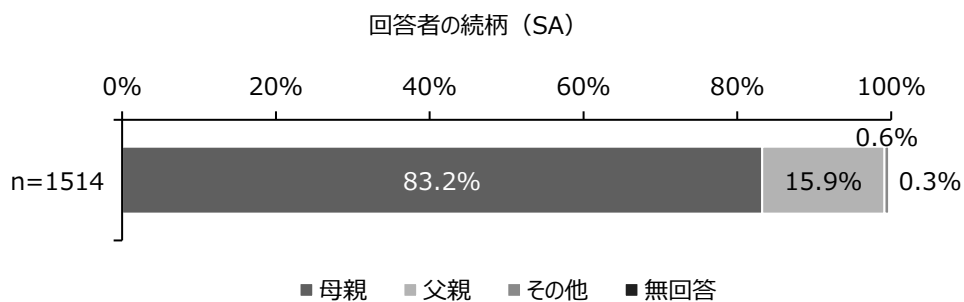
問3：きょうだいの数（NA）

「2人」きょうだい が 40.4%と最も多く、次いで、「1人（兄弟がいない）」が31.1%、「3人」が21.1%となっている。



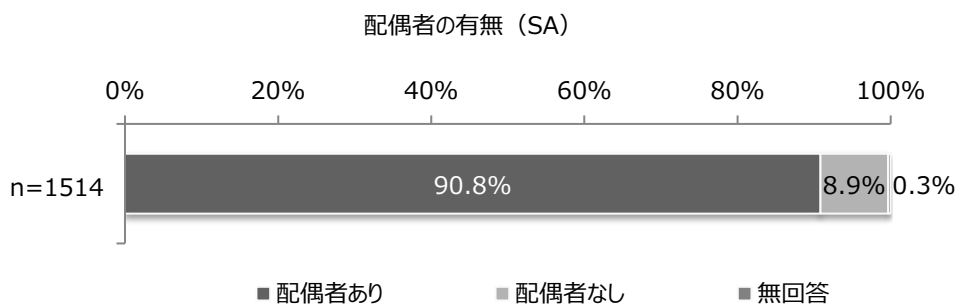
問4：回答者の続柄（SA）

83.2%は母親が回答している。



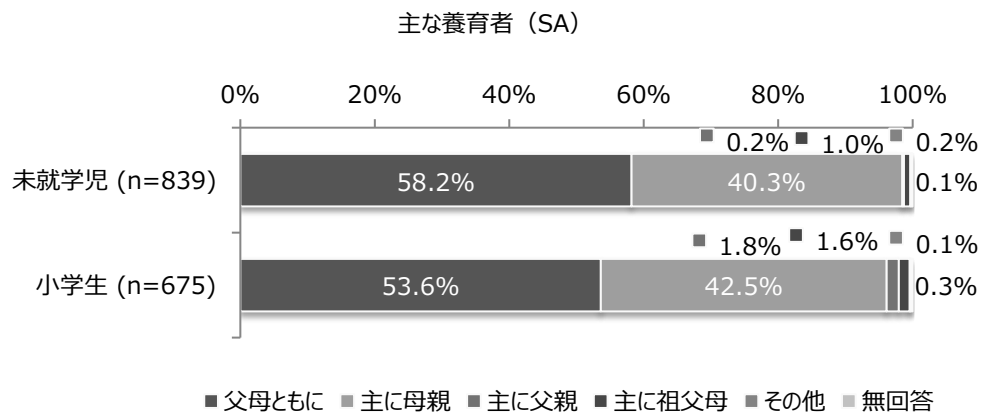
問5：配偶者の有無（SA）

「配偶者あり」が90.8%で、「配偶者なし」は8.9%であった。



問6：主な養育者（SA）

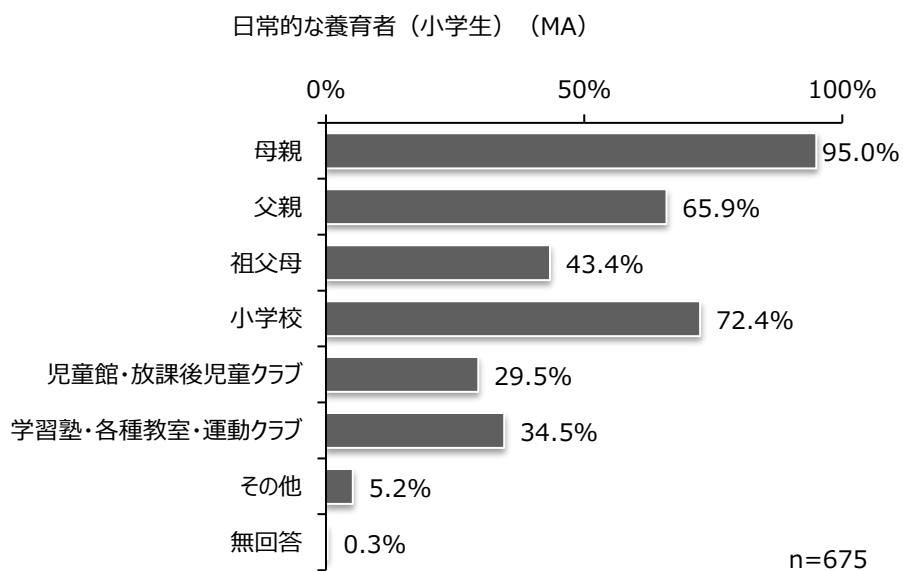
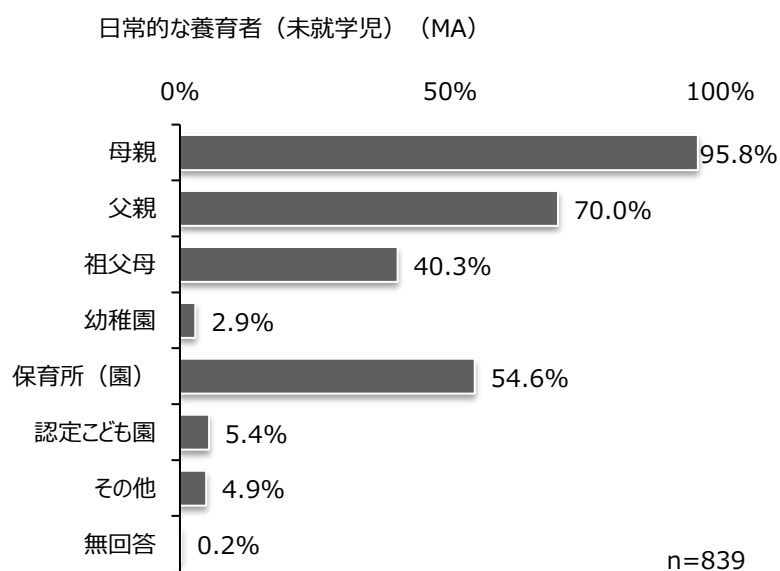
未就学児、小学生ともの「父母ともに」が 58.2%、53.6%と最も多く、次いで「主に母親」が 40.3%、42.5%となっている。



3. 子育て環境

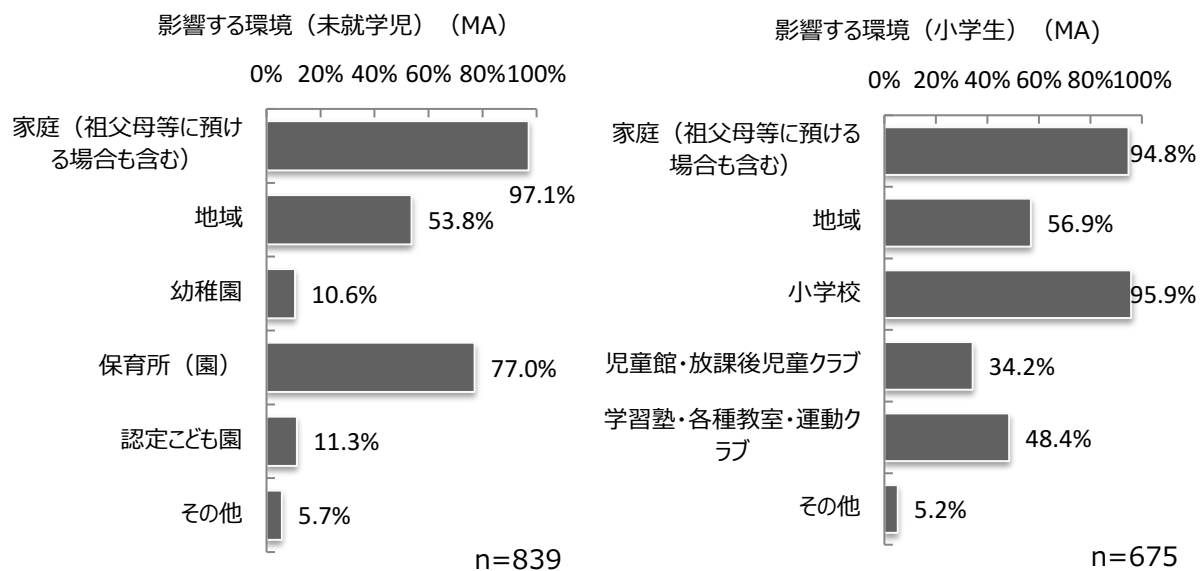
問7：日常的な養育者（MA）

未就学児、小学生ともに「母親」が最も多い。未就学児では「父親」、「保育所（園）」、「祖父母」と続いている。小学生では「小学校」、「父親」、「祖父母」であった。



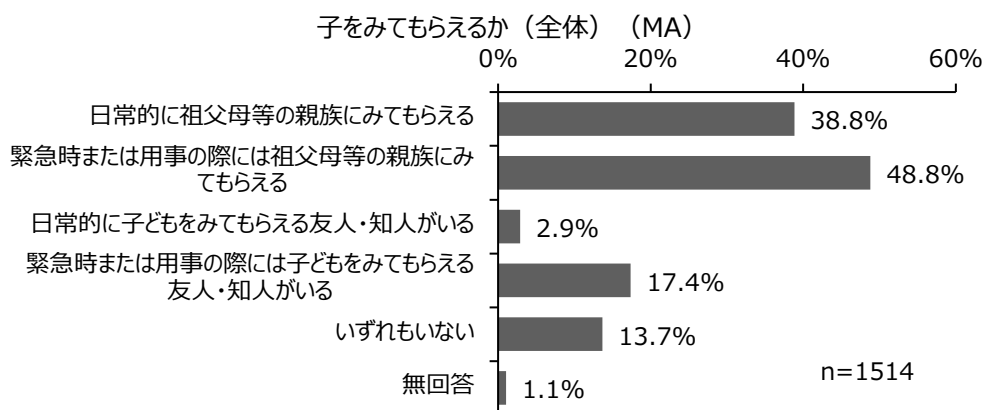
問8：子育てに影響する環境（MA）

未就学児では「家庭（祖父母に預ける場合も含む）」が97.1%と最も多く、次いで「保育所（園）」、「地域」、「認定こども園」と続いている。小学生では「小学校」が95.9%と最も多く、次いで「家庭（祖父母等に預ける場合も含む）」、「地域」、「学習塾・各種教室・運動クラブ」となっている。



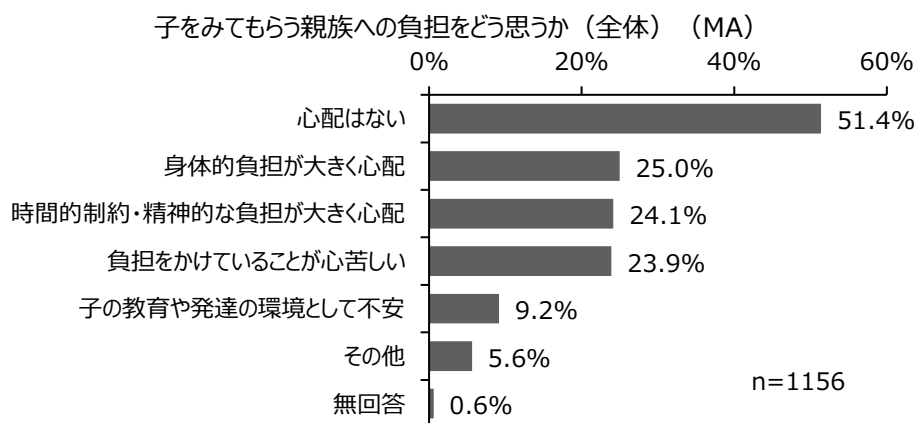
問9：みてもらえる親族・友人等はあるか（MA）

子みてもらえるかについては、「緊急時または用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が48.8%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が38.8%となっている。「いずれもない」は13.7%となっている。



問9-（1）：親族の負担（MA）

親族への負担をどう思うかについては、「心配はない」が51.4%で最も多く、次いで「身体的負担が大きく心配」が25.0%、「時間的制約・精神的な負担が大きく心配」が24.1%となった。

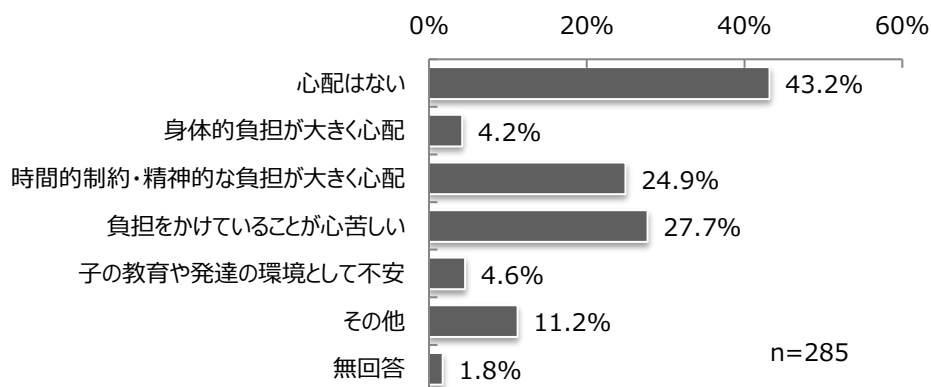


※子みてもらえる親族がいる方

問9-(2) : 友人等の負担 (MA)

友人、知人への負担をどう思うかについては、「心配はない」と回答した割合は 43.2%であった。次いで「負担をかけていることが心苦しい」が 27.7%、「時間的制約・精神的な負担が大きく心配」が 24.9%などとなっている。

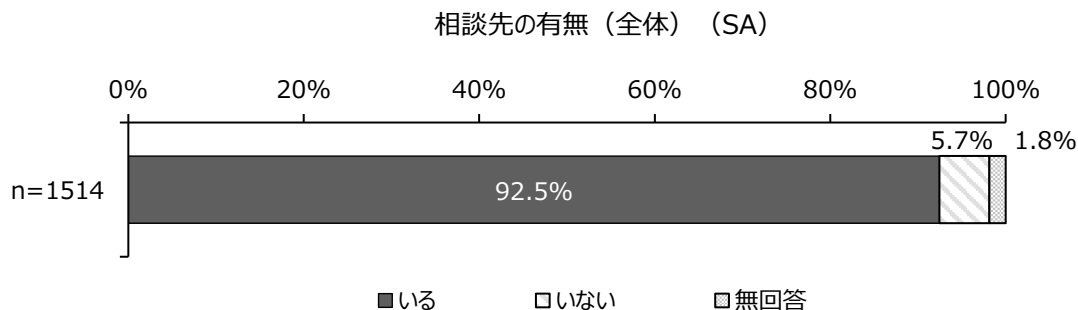
子をみてもらう友人・知人への負担をどう思うか (全体) (MA)



※子をみてもらえる友人・知人がいる方

問10 : 相談先の有無 (SA)

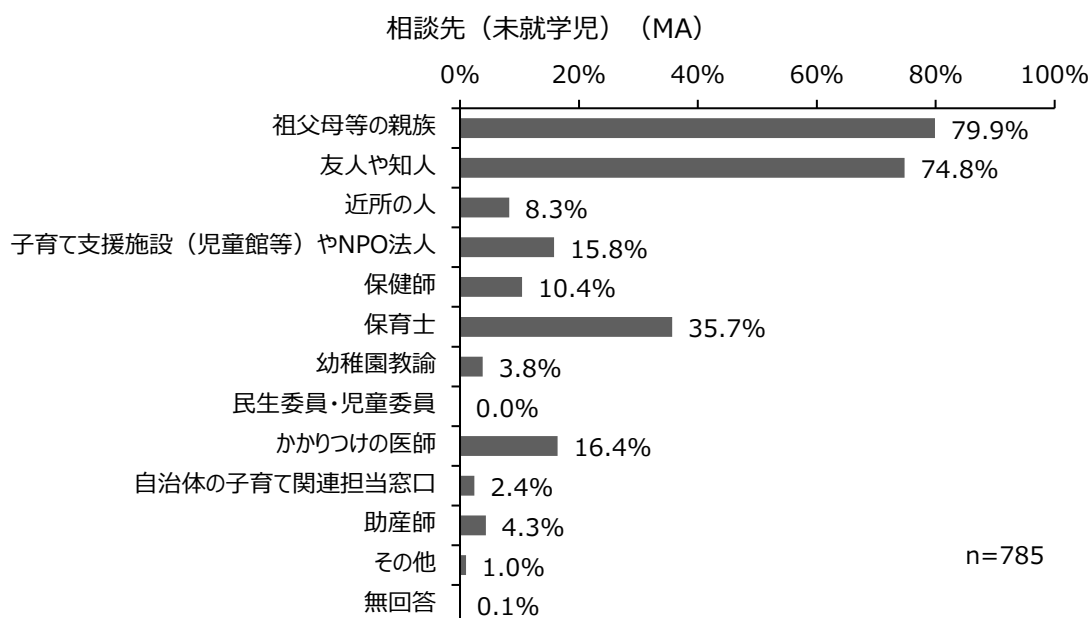
相談できる人が「いる」という回答が大部分を占めて 92.5%であった。



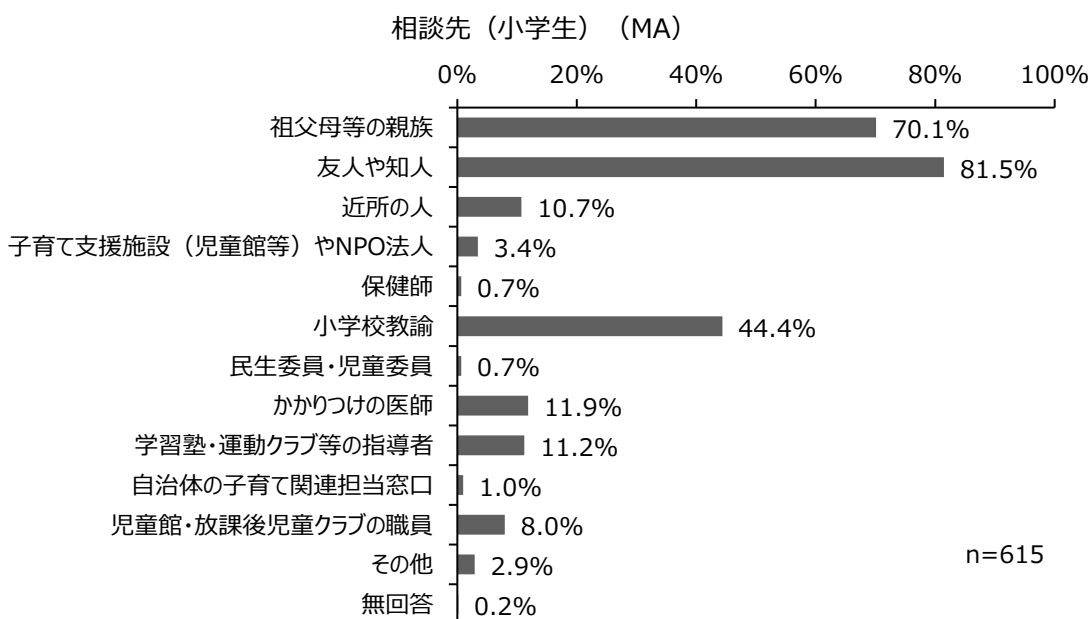
問10-(1)：相談先(MA)

相談先は、未就学児では、「祖父母等の親族」が79.9%と最も多く、次いで「友人や知人」が74.8%、「保育士」が35.7%などとなっている。

小学生では、「友人や知人」が81.5%と最も多く、次いで「祖父母等の親族」が70.1%、「小学校教諭」が44.4%などとなっている。



※気軽に相談できる人がいる、または、相談できる場所がある方



※気軽に相談できる人がいる、または、相談できる場所がある方

問 1 1 : 子育て（教育を含む）をする上での周囲（身近な人、行政担当者等）からのサポート（S A）

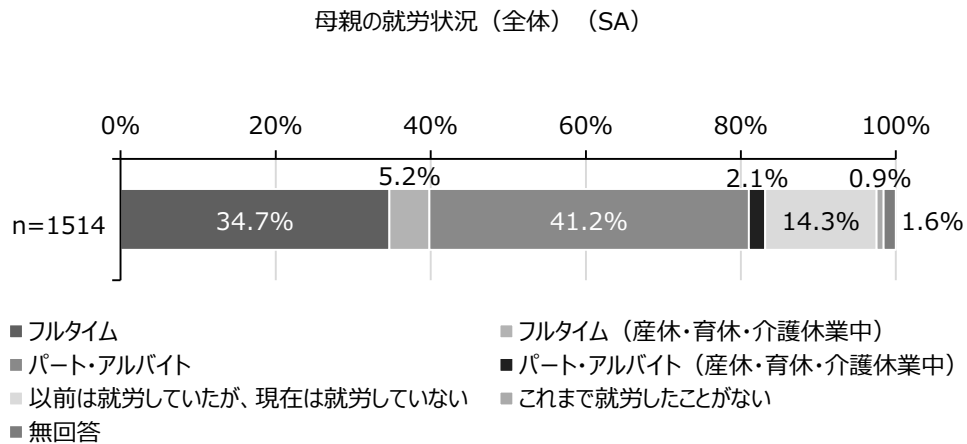
子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者等）からあれば良いと思われるサポートについて記載された意見は主に以下の通りとなっている。

- 気軽にできる相談先の確保、相談相手の有無等、「相談先」について
- 子育て支援に係るものに対する無償化、医療費無償化等の「経済的支援」について
- 子どもの成長・子どものレベルにあった個別の「学習支援」について
- 緊急時の子どもの預かり、病気・病後児保育の利用改善（利用しやすく）や、保育園、学童保育等の入園基準、入園時期の要件緩和など、「子どもの預かり」について
- 小児科や産婦人科等、必要な時に身近にある「医療機関の充実」について
- 保育園等の送迎、学校への送迎等、「送迎」について
- 北杜市内で行われている子育て支援や子育てイベント等に関して知らないことが多いなど、子育てに係る「情報提供方法」について
- 子どもが安心してらせる（通学路の歩道整備や周辺の住環境）ような「環境整備」について
- 子どもが安心して登下校ができるような「見守り体制」について
- 北杜市には大きな公園がない。子どもが安全・安心に遊べる場の整備等「公園の整備」について

4. 就労状況

問12(1)：母親の就労状況（SA）

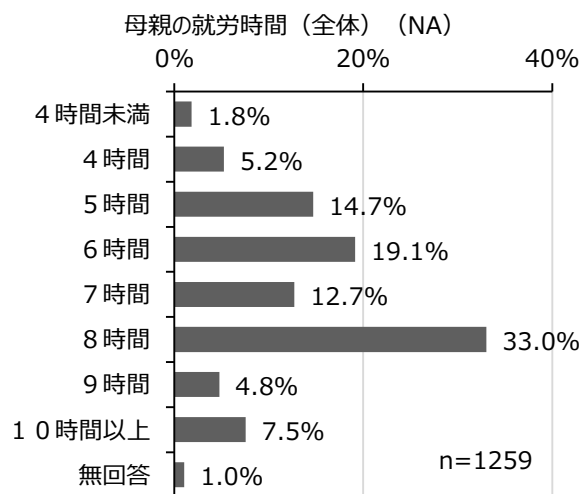
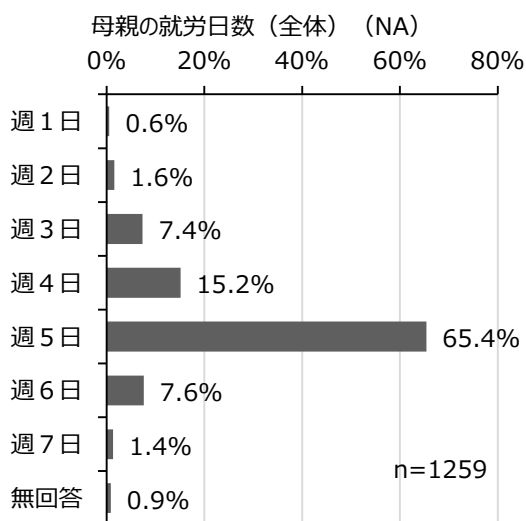
母親の就労状況は「パート・アルバイト」が41.2%で最も多く、次いで「フルタイム」が34.7%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が14.3%と続いている。産休・育休・介護休業中の方は、「フルタイム」と「パート・アルバイト」をあわせて7.3%であった。



問12(1)-1：母親の就労日数・就労時間（NA）

母親の就労日数は、「週5日」が65.4%と最も多く、次いで「週4日」が15.2%、「週6日」が7.6%と続いている。

母親の就労時間は、「8時間」が33.0%で最も多く、次いで「6時間」が19.1%、「5時間」が14.7%と続いている。

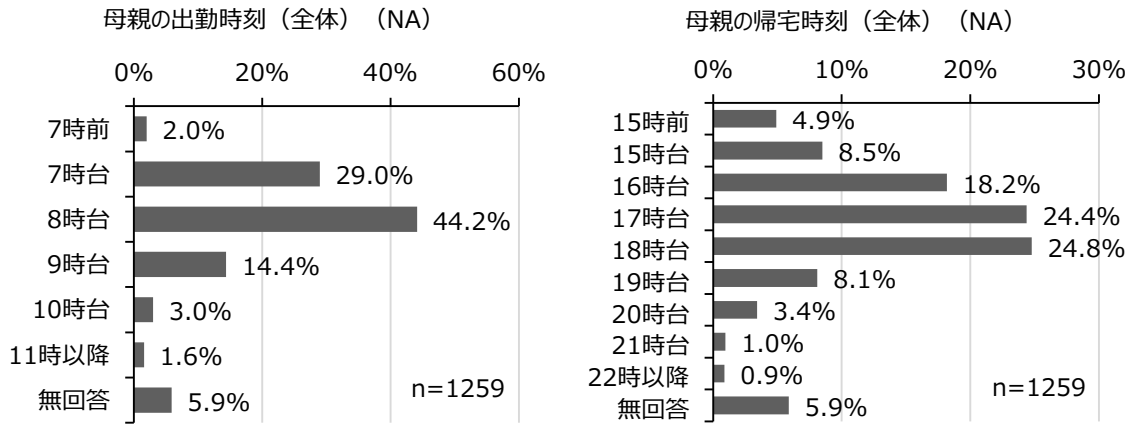


※ともに現在就労（育休等を含む）している方

問 1 2 (1) - 2 : 母親の出勤時刻・帰宅時刻 (N A)

母親の出勤時刻は「8 時台」が 44.2%で最も多く、次いで「7 時台」が 29.0%、「9 時台」が 14.4%と続いている。

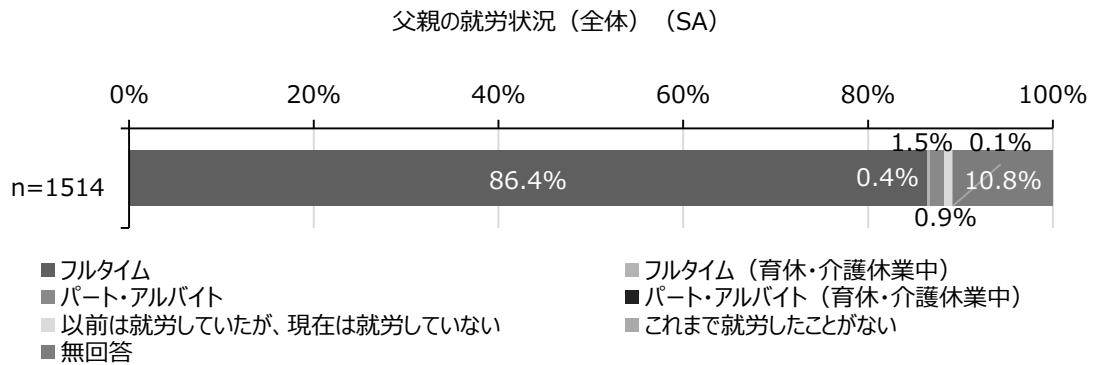
母親の帰宅時刻は「18 時台」が 24.8%で最も多く、次いで「17 時台」が 24.4%、「16 時台」が 18.2%と続いている。



※ともに現在就労（育休等を含む）している方

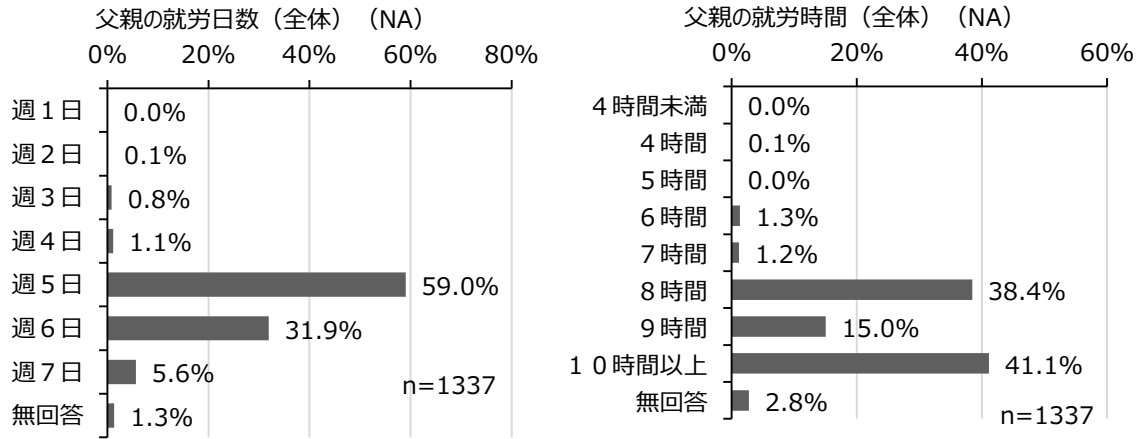
問 1 2 (2) : 父親の就労状況 (S A)

父親の就労状況は、「フルタイム」が 86.4%となっている。



問12(2)-1：父親の就労日数・就労時間（NA）

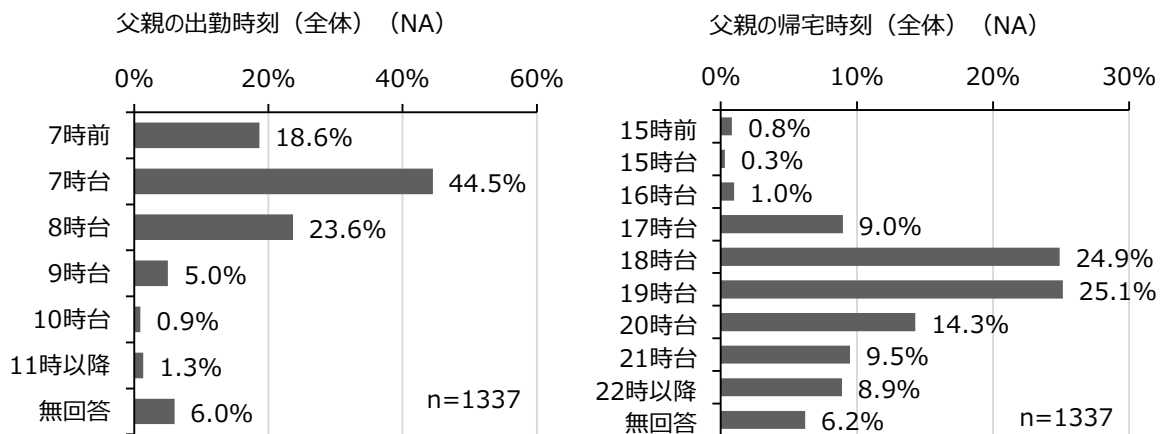
父親の就労日数は「週5日」が59.0%で最も多く、次いで「週6日」が31.9%、「週7日」が5.6%となった。
 父親の就労時間は「10時間以上」が41.1%で最も多く、次いで「8時間」が38.4%、「9時間」が15.0%となった。



※ともに現在就労（育休等を含む）している方

問12(2)-2：父親の出勤時刻・帰宅時刻（NA）

父親の出勤時刻は「7時台」が44.5%で最も多く、次いで「8時台」が23.6%、「7時前」が18.6%となった。
 父親の帰宅時刻は「19時台」が25.1%で最も多く、次いで「18時台」が24.9%、「20時台」が14.3%となった。

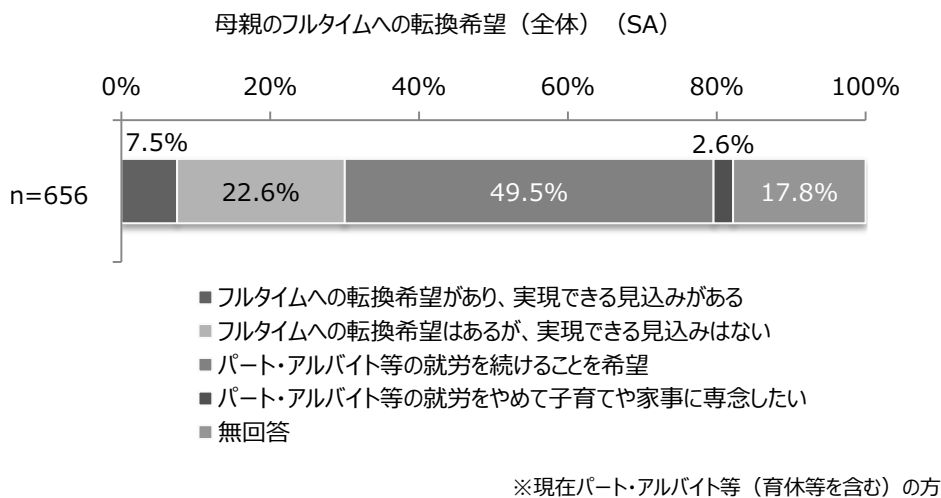


※ともに現在就労（育休等を含む）している方

問13(1) : 母親のフルタイムへの転換希望 (SA)

母親のフルタイムへの希望は、「実現できる見込みがある」が 7.5%、「実現できる見込みはない」は 22.6%となっている。

このほか、49.5%は「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」となっている。

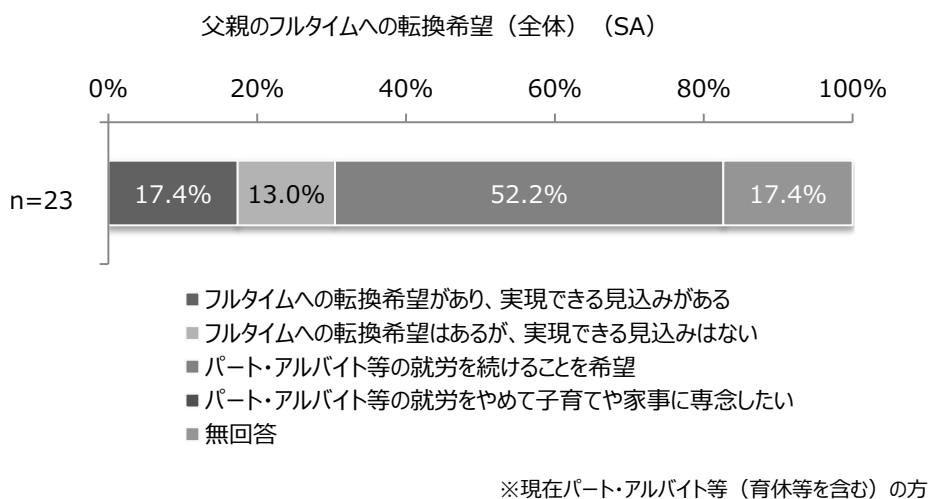


問13(2) : 父親のフルタイムへの転換希望 (SA)

父親のフルタイムの希望は、「実現できる見込みがある」が 17.4%、「実現できる見込みはない」は 13.0%となっている。

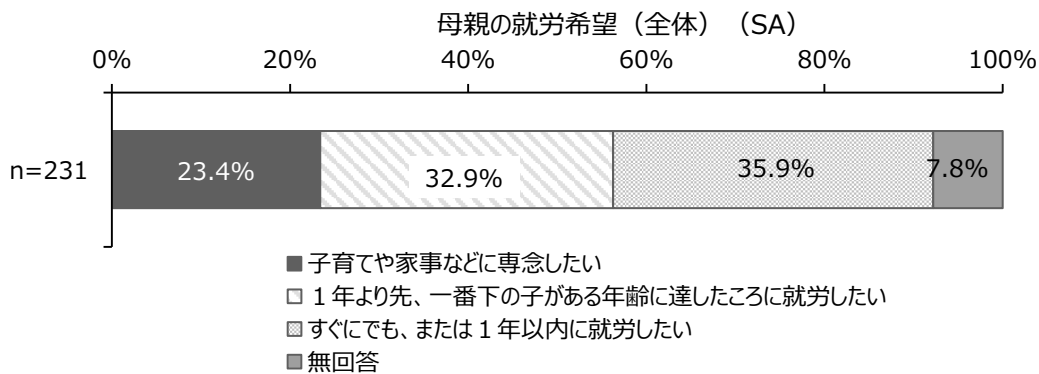
このほか、52.2%は「パート・アルバイト等の就労を続けること希望」となっている。

なお、回答者数 23 件のみと少ないため、参考値扱いとなる。



問14(1) : 母親の就労希望 (SA)

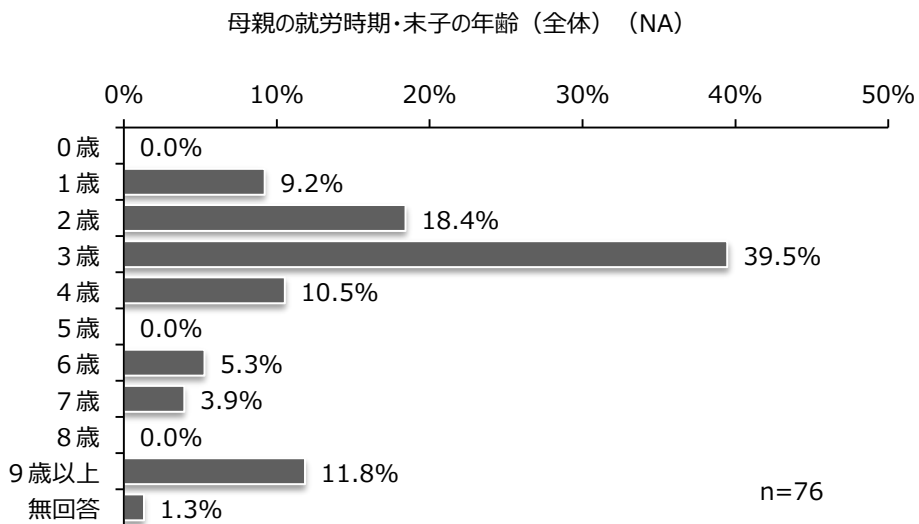
「すぐにでも、または1年以内に就労したい」が35.9%と最も多く、次いで「1年より先、一番下の子がある年齢に達したころに就労したい」が32.9%、となっている。「子育てや家事などに専念したい」は23.4%であった。



※現在就労していない方

問14(1)2 : 母親の就労時期・末子の年齢 (NA)

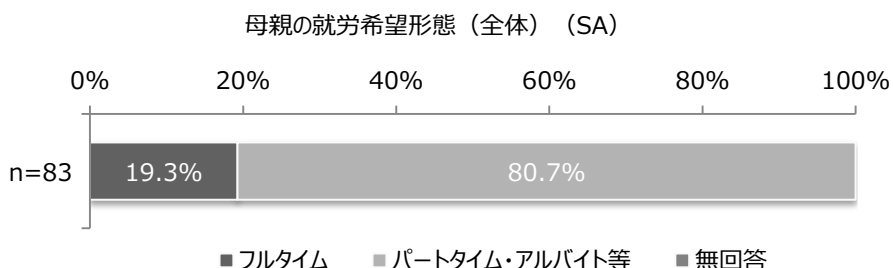
1年以上先に就労したいと回答した方の末子の年齢については、「3歳」になった時が最も多く39.5%であった。「6歳未満」が77.6%を占める一方で、「9歳以上」という回答も11.8%となっている。



※現在就労してなく、1年以上先に就労したい方

問14(1)3-①：母親の希望する就労形態（SA）

1年以内に就労したいと回答した方の就労希望形態としては、「パートタイム・アルバイト等」が80.7%を占めた。

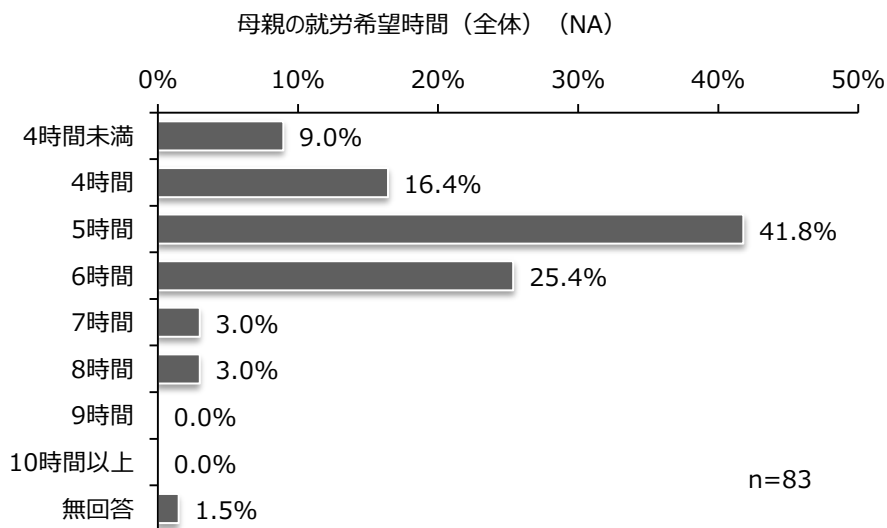
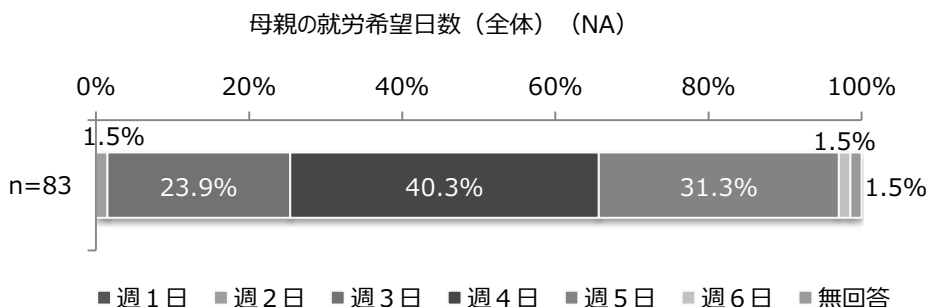


※現在就労してなく、すぐにも、または1年以内に就労したい方

問14(1)3-②：母親の就労希望日数・時間（NA）

1年以内に就労したいと回答した場合の就労希望日数としては、「週4日」が最も多く40.3%であった。次いで「週5日」が31.3%となっており、あわせて71.6%を占めている。

就労希望時間は、「5時間」が41.8%と最も多く、次いで「6時間」の25.4%、「4時間」の16.4%が続いている。

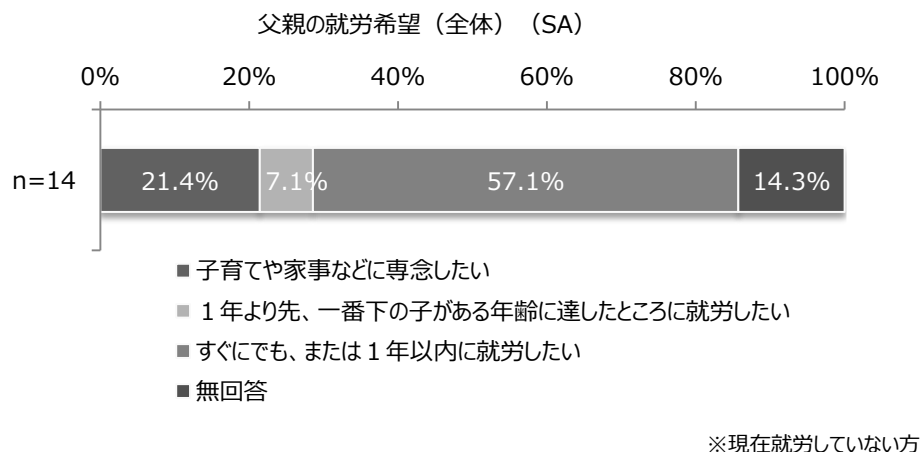


※現在就労してなく、すぐにも、または1年以内に就労したい方

問14(2)：父親の就労希望（SA）

「すぐにでも、または1年以内に就労したい」が57.1%と最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい」が21.4%などとなっている。

なお、回答者数14件のみと少ないため、参考値扱いとなる。



問14(2)2：父親の就労時期・末子の年齢（NA）

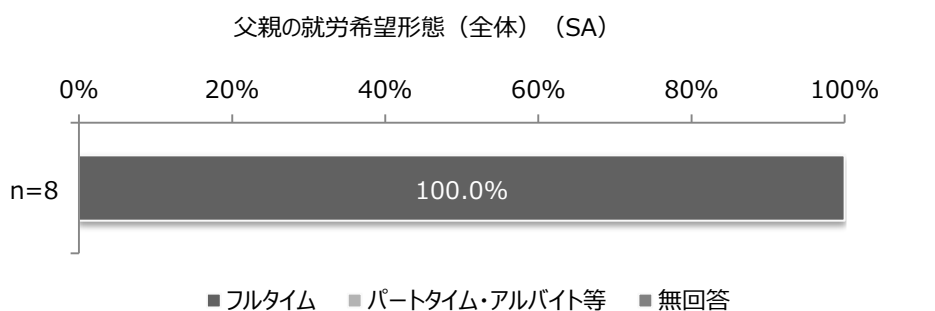
1年以上先に就労したいと回答した方の末子の年齢については、「2歳」が1人となっている。

なお、回答者数が少ないため、参考値扱いとなる。

問14(2)3-①：父親の希望する就労形態（SA）

1年以内に就労したいと回答した方の就労希望形態としては、全員が「フルタイム」と回答している。

なお、回答者数8件のみと少ないため、参考値扱いとなる。



問14(2)3-②：父親の就労希望日数・時間（NA）

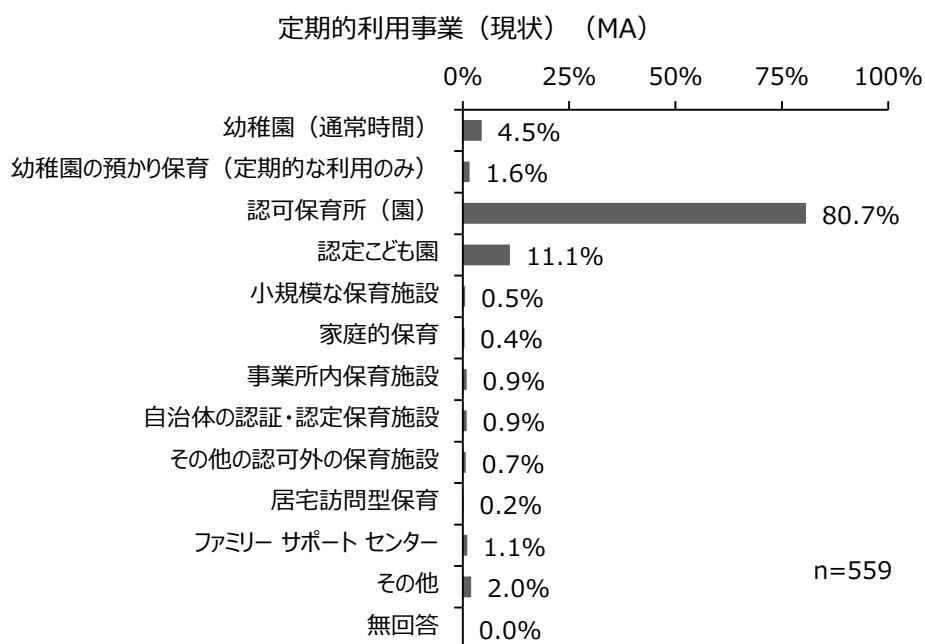
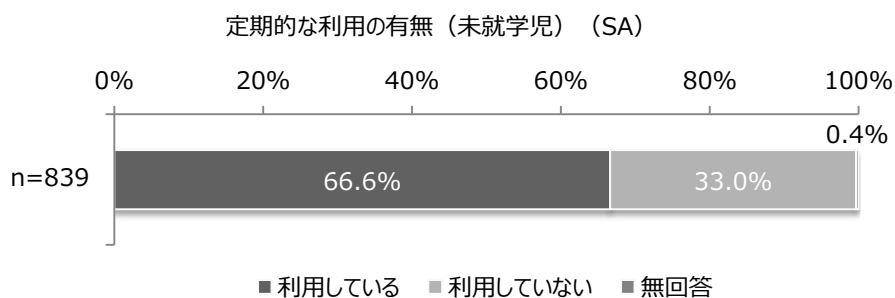
※回答なし

5. 平日の定期的な教育・保育事業（未就学児のみ）

問15：幼稚園や保育所（園）などの定期的な教育・保育事業の利用（SA、MA）

平日における定期的な教育・保育事業を「利用している」と回答した割合は66.6%であった。

定期的に利用している教育・保育事業としては、「認可保育所（園）」が80.7%で最も多く、次いで「認定こども園」が11.1%、「幼稚園（通常時間）」が4.5%となった。



※現在、定期的に事業を利用している方

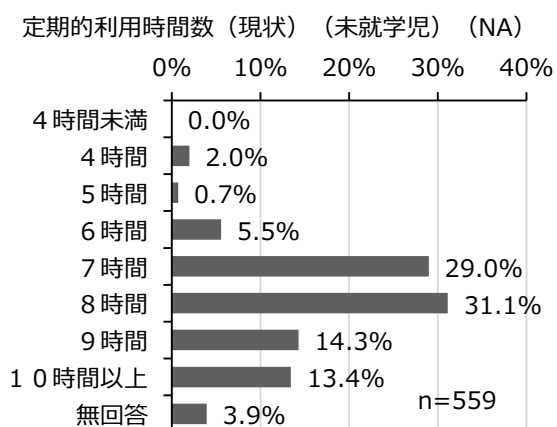
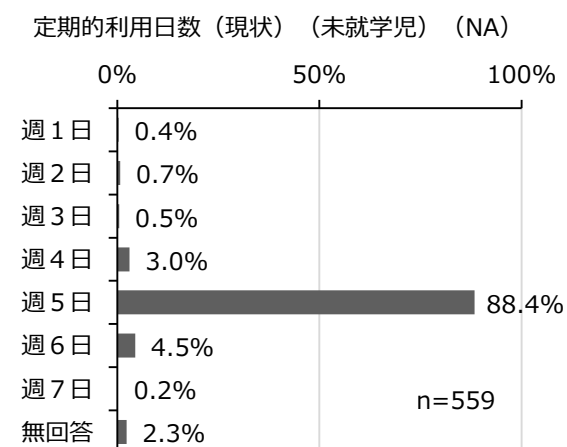
問15-(1)-(1)：定期的利用日数・時間数（現状）（NA）

利用日数については、「週5日」が88.4%を占めている。

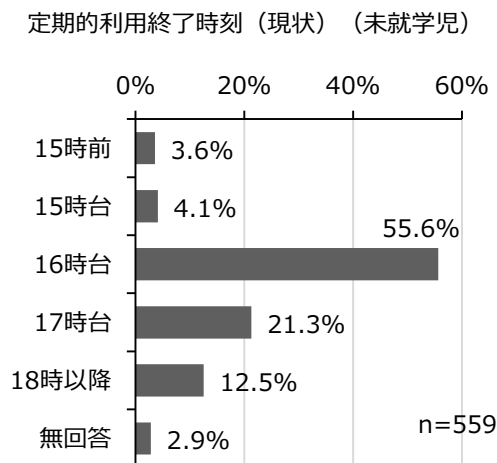
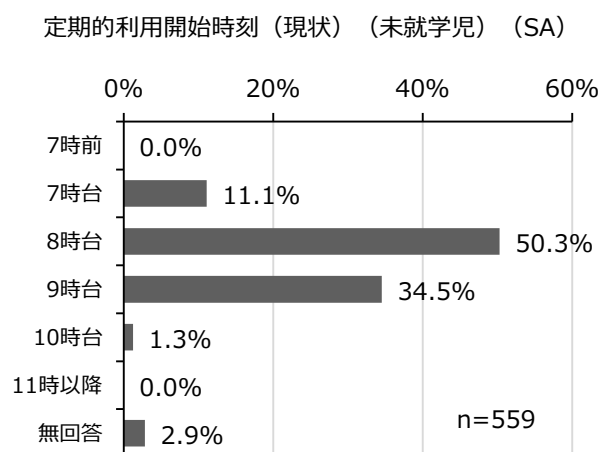
利用時間数については、「8時間」が最も多く31.1%、次いで「7時間」が29.0%を占めている。

利用開始時刻（現状）は、「8時台」が50.3%、次いで「9時台」が34.5%となっている。

利用終了時刻（現状）については、「16時台」が55.6%、「17時台」が21.3%となっている。



※ともに現在、定期的事業を利用している方



※ともに現在、定期的事業を利用している

問15-(1)-(2)：定期的利用日数・時間数（希望）（NA）

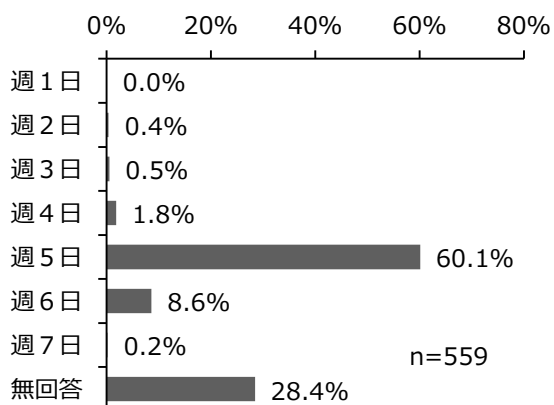
利用日数については、「週5日」が現状88.4%に対して、希望60.1%と減少している一方、「週6日」では現状4.5%に対して、希望8.6%と増加している。

利用時間数（希望）については、無回答を除き、「8時間」が25.8%と最も多く、次いで「7時間」が16.3%などとなっている。

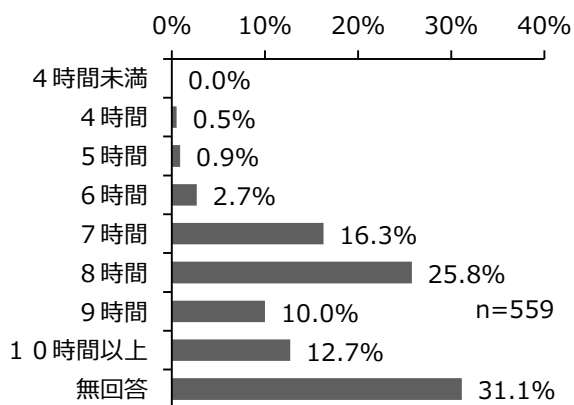
利用開始時刻（希望）は、「8時台」が36.1%、次いで「9時台」が24.7%となっている。

利用終了時刻（希望）については、「16時台」が35.1%、「17時台」が17.0%となっている。

定期的利用日数（希望）（未就学児）（NA）

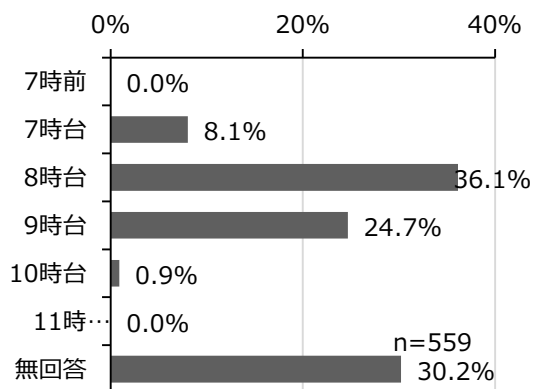


定期的利用時間数（希望）（未就学児）（NA）

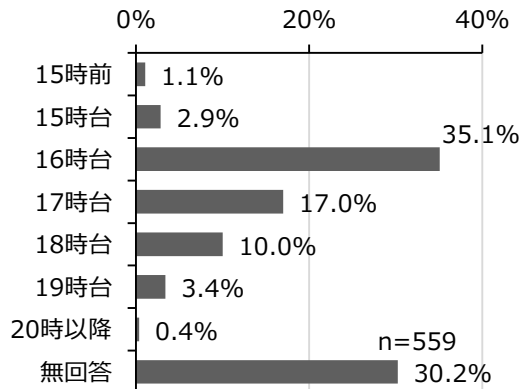


※ともに、現在、定期的事業を利用している方

定期的利用開始時刻（希望）（未就学児）



定期的利用終了時刻（希望）（未就学児）（SA）

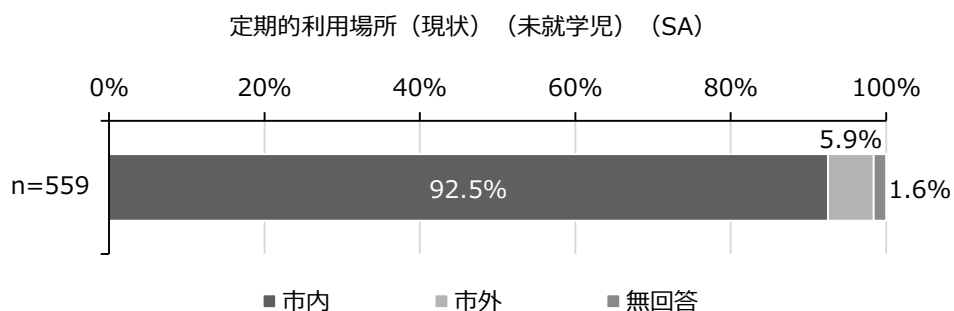


※ともに、現在、定期的事業を利用している方

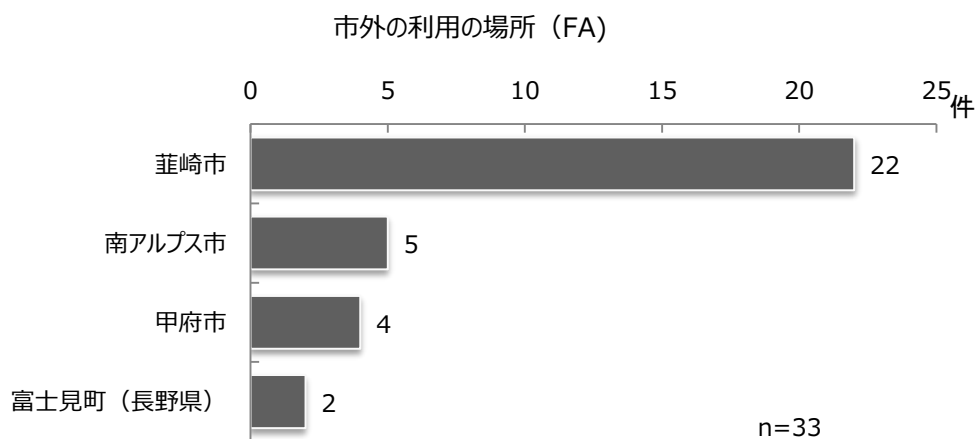
問 1 5 - (2) : 定期的利用事業の実施場所 (S A)

定期的な利用場所は、「市内」が 92.5%、「市外」で 5.9%となっている。

市外の利用では、「韮崎市」が最も多くなっている。



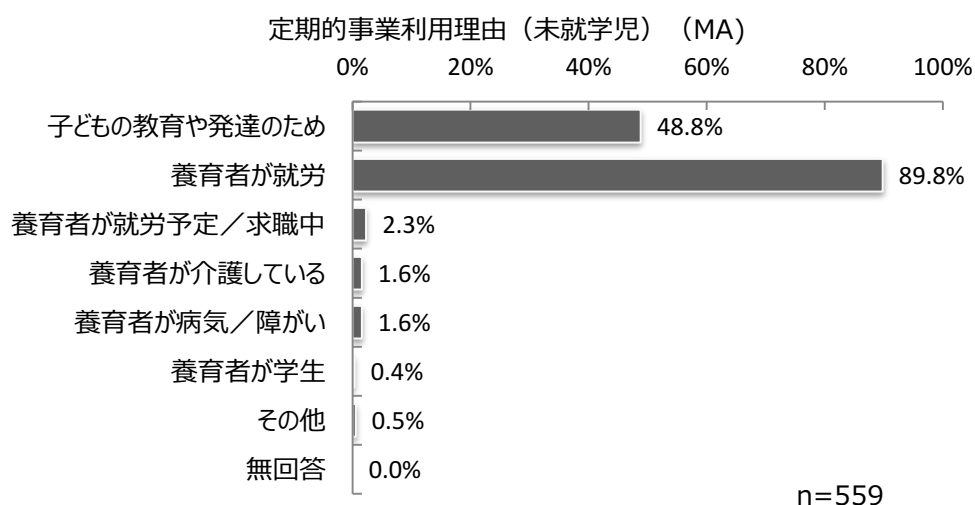
※現在、定期的事業を利用している方



※現在、市外で定期的事業を利用している方

問15-(3)：定期的事業の利用理由（MA）

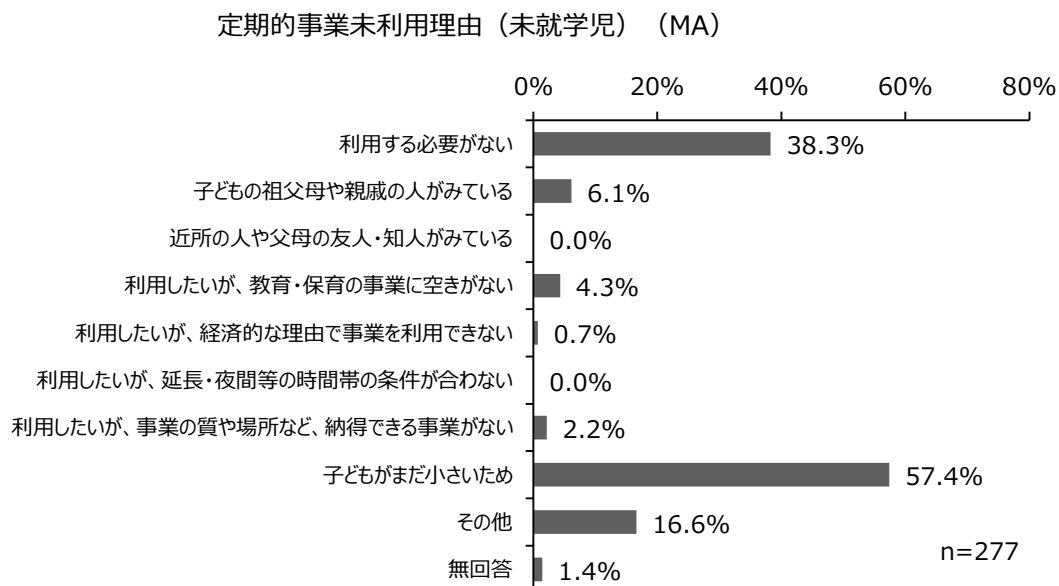
定期的事業の利用理由は、「養育者が就労」が 89.8%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 48.8%となっている。



※現在、定期的事業を利用している方

問15-(4)：定期的事業を利用しない理由（MA）

定期的事業を利用しない理由は、「子どもがまだ小さいため」が 57.4%、「利用する必要がある」が 38.3%となっている。

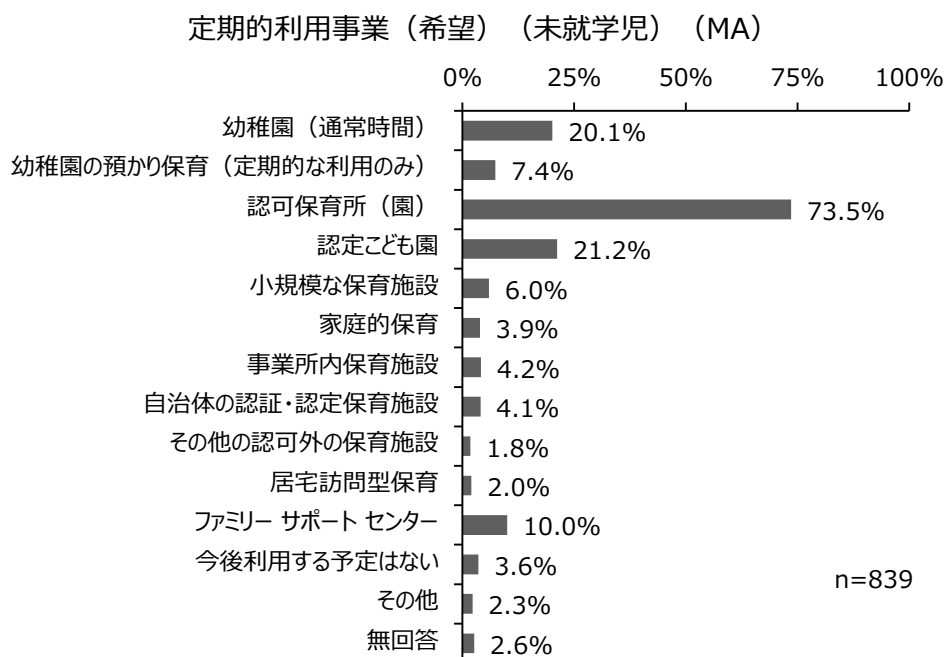


※現在、定期的事業を利用していない方

問16：定期的利用事業（希望）（MA）

定期的な利用を希望している教育・保育事業としては、「認可保育所（園）」が73.5%で最も多く、次いで「認定こども園」が21.2%、「幼稚園（通常時間）」が20.1%となった。

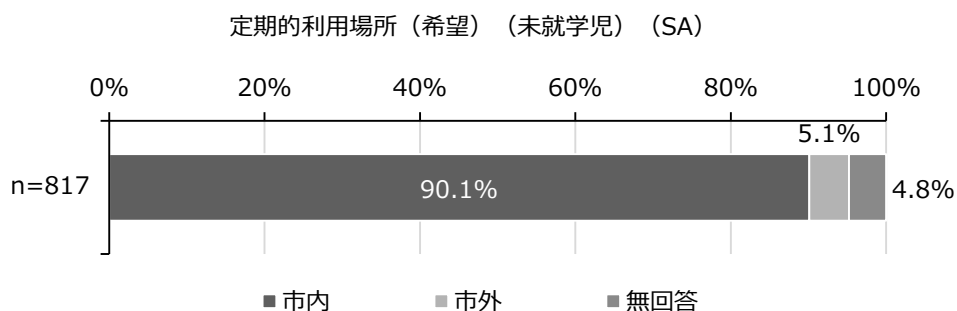
現状（問15）と比較すると、認可保育所（園）や認定こども園が上位を占める点は変わらないが、「幼稚園（通常時間）」が15.6ポイント、「認定こども園」が10.1ポイント、「ファミリーサポートセンター」が8.9ポイントと大きく上昇している。



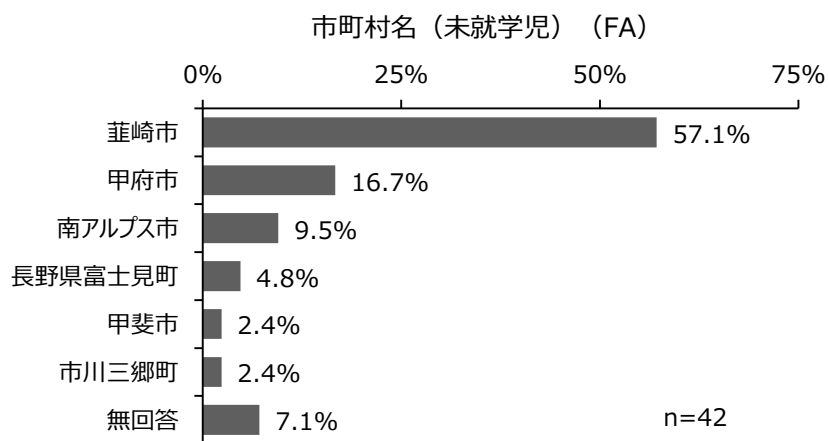
問 1 6 - (1) : 定期的利用希望場所 (S A)

利用希望場所としては、市内の利用希望が 90.1%となっている。

市外としては、韮崎市、甲府市などであった。



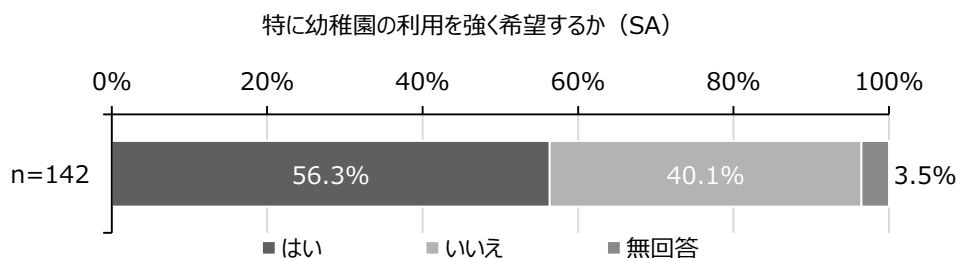
※問 16 で無回答以外の方



※市外で定期的事業を利用したい方

問 1 6 - (2) : 幼稚園の利用希望 (S A)

特に幼稚園の利用を強く希望するかは、「はい」が 56.3%、「いいえ」が 40.1%となっている。

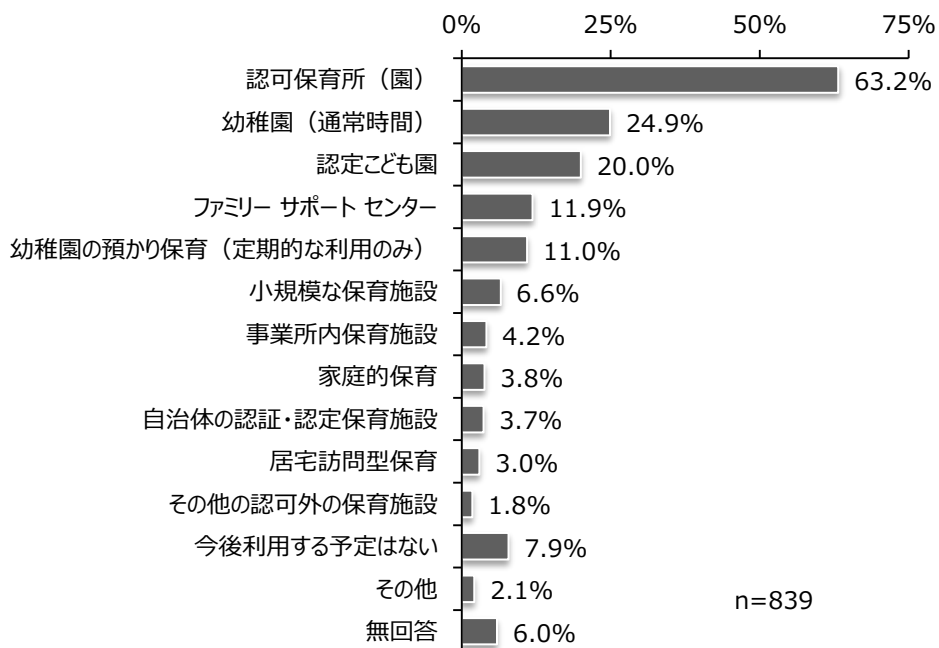


※問 16 で「1.」または「2.」を選択し、また、「3～13」のいずれかを回答をした方

問16-(3) : 教育・保育事業が無償化された場合の教育・保育施設の利用希望 (MA)

教育・保育事業が無償化された場合の教育・保育施設の利用希望は、「許可保育所（園）」が 63.2%、「幼稚園（通常時間）」が 24.9%、「認定こども園」が 20.0%などとなっている。

平日の教育・保育の事業が無償化された場合、新たに教育・保育施設の利用を希望するか (MA)

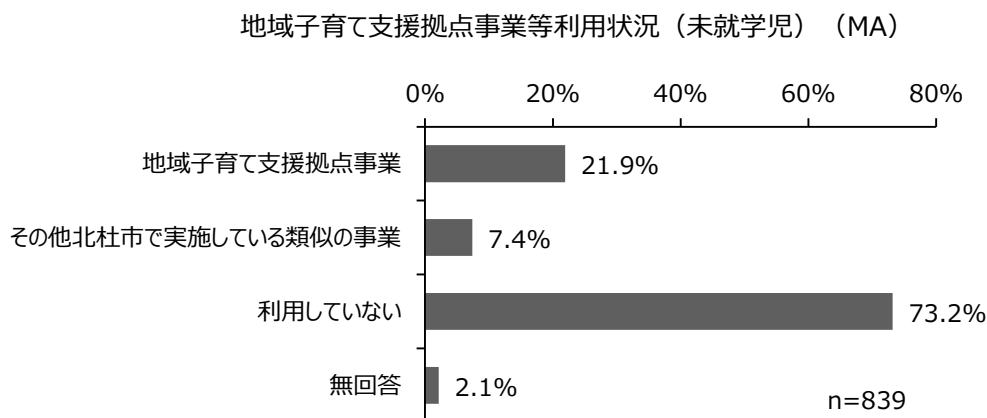


6. 地域の子育て支援事業の利用状況

問17：地域子育て支援拠点事業等を利用しているか（N A）

地域子育て支援拠点事業については、「利用していない」が73.2%と最も多くなっている。

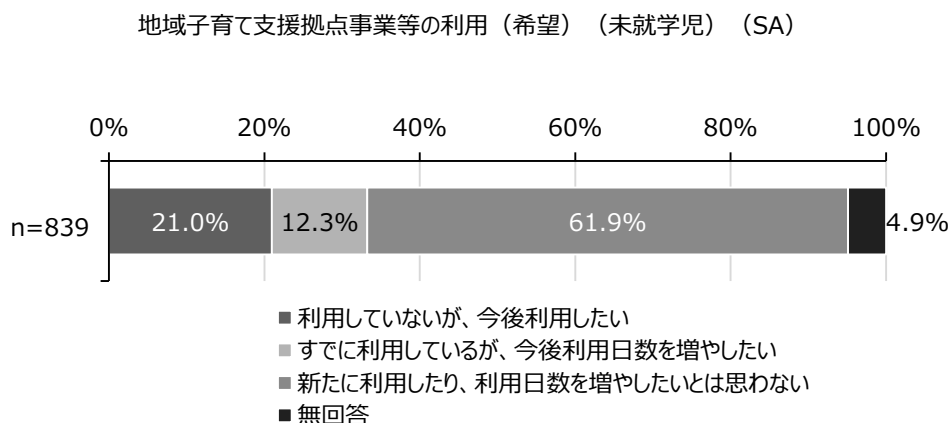
利用している事業は、「地域子育て支援拠点事業」が21.9%、「その他北杜市で実施している類似の事業」が7.4%となっている。



問18：地域子育て支援拠点事業等の今後の利用意向（S A）

今後の利用意向は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が61.9%と最も多くなっている。

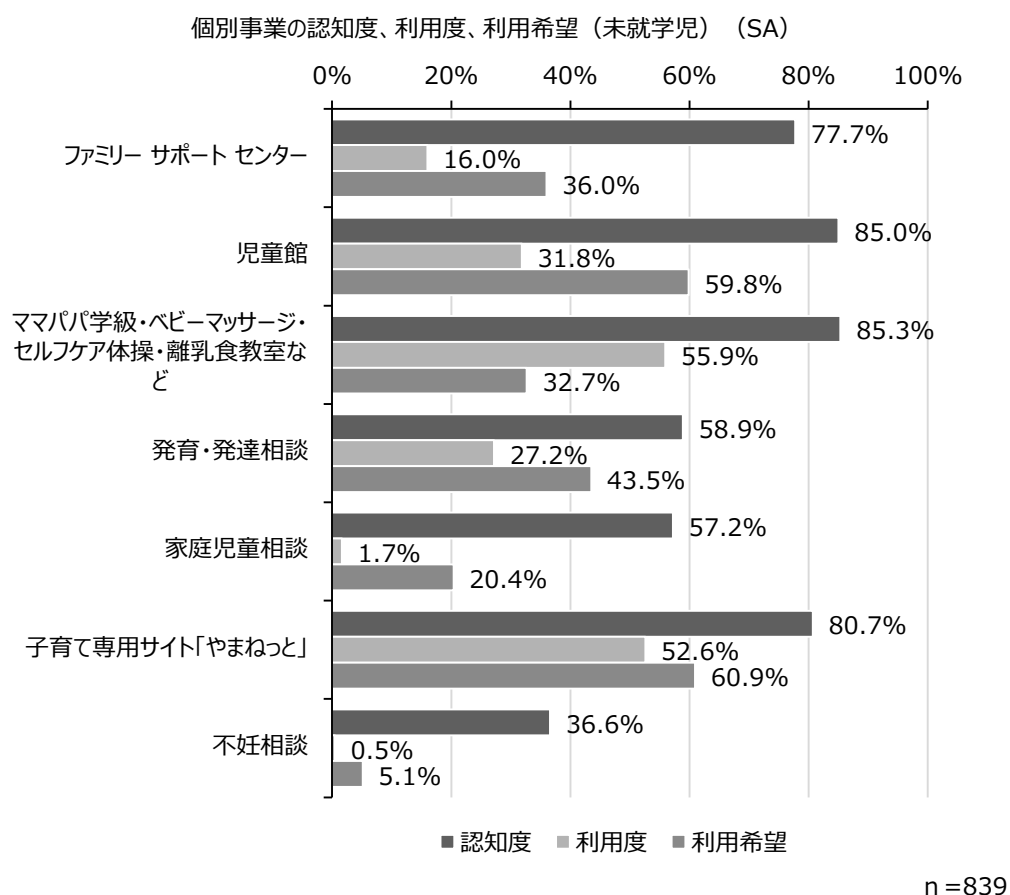
「利用していないが、今後利用したい」は21.0%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が12.3%となっている。



問19（未就学児）、問15（小学生）：地域子育て支援事業等の認知度、利用度、今後の利用意向（SA）

地域子育て支援拠点事業等について、未就学児の認知度をみると「ママパパ学級・ベビーマッサージ・セルフケア体験・離乳食教室など」、「児童館」、「子育て専用サイト『やまねっと』」が8割を超えており、認知度が高くなっている。「発育・発達相談」、「家庭児童相談」は約6割の認知度となっている。

利用度は、「ママパパ学級・ベビーマッサージ・セルフケア体験・離乳食教室など」、「子育て専用サイト『やまねっと』」が5割を超えている。「家庭児童相談」（1.7%）、「ファミリーサポートセンター」（16.0%）の利用度は低くなっている。利用希望では、「子育て専用サイト『やまねっと』」、「児童館」の割合が高くなっている。

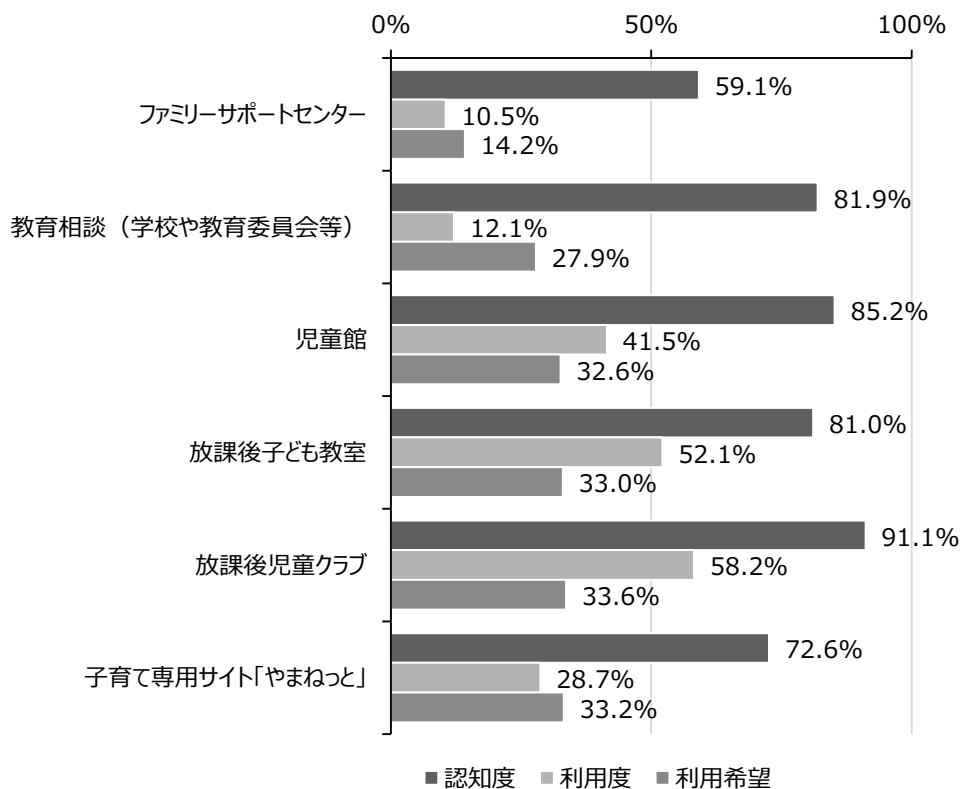


小学生の認知度をみると、「放課後児童クラブ」、「児童館」、「教育相談（学校や教育委員会等）」、「放課後子ども教室」が8割を超えており、認知度が高くなっている。「ファミリーサポートセンター」は約6割の認知度となっている。

利用度は、「放課後児童クラブ」、「放課後子ども教室」が5割を超えている。「ファミリーサポートセンター」（10.5%）、「教育相談（学校や教育委員会等）」（12.1%）の利用度は低くなっている。

利用希望では、「放課後児童クラブ」、「子育て専用サイト『やまねっと』」、「放課後子ども教室」、「児童館」で3割を超えている。

個別事業の認知度、利用度、利用希望（小学生）（SA）



n = 675

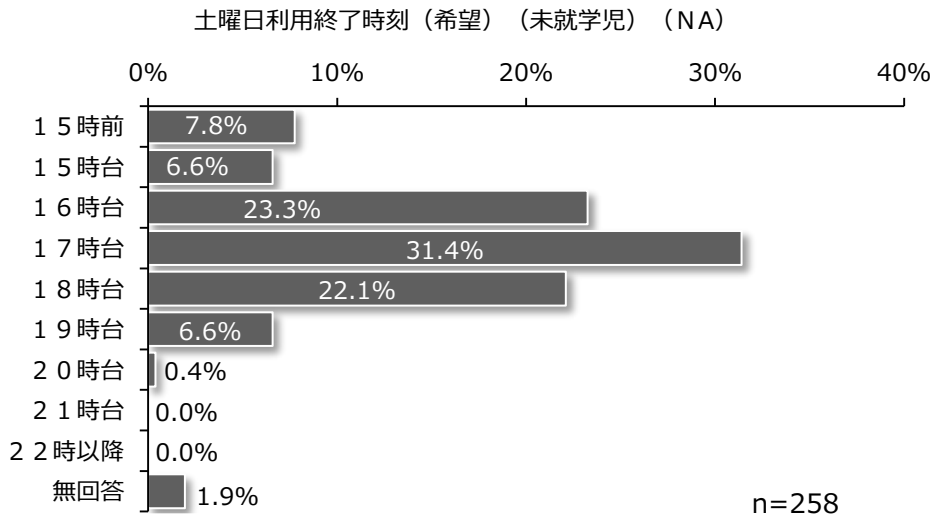
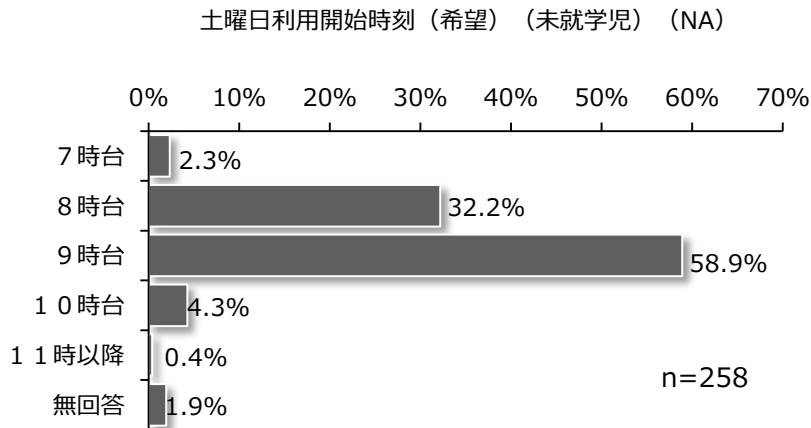
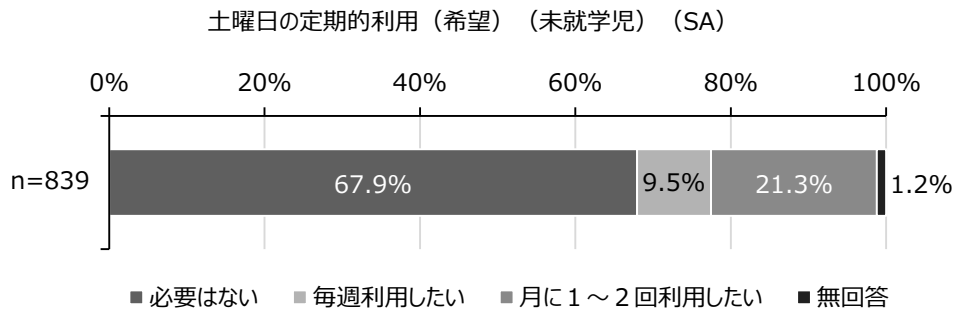
7. 土曜日、日曜・祝日、長期休暇中の定期的な教育・保育事業（未就学児のみ）

問20（1）：土曜日の定期的利用希望（SA）、定期的利用希望開始時刻・終了時刻（NA）

定期的な教育・保育事業の土曜日の利用希望について、「必要はない」という回答が67.9%を占めた。「毎週利用したい」は9.5%、「月に1～2回利用したい」は21.3%であった。

利用開始時刻（希望）については、9時台が最も多く58.9%、次いで8時台が32.2%で、あわせて91.1%を占めている。

利用終了時刻（希望）についてはばらつきがあり、17時台が31.4%で最も多いものの、16時台が23.3%、18時台が22.1%などとなっている。



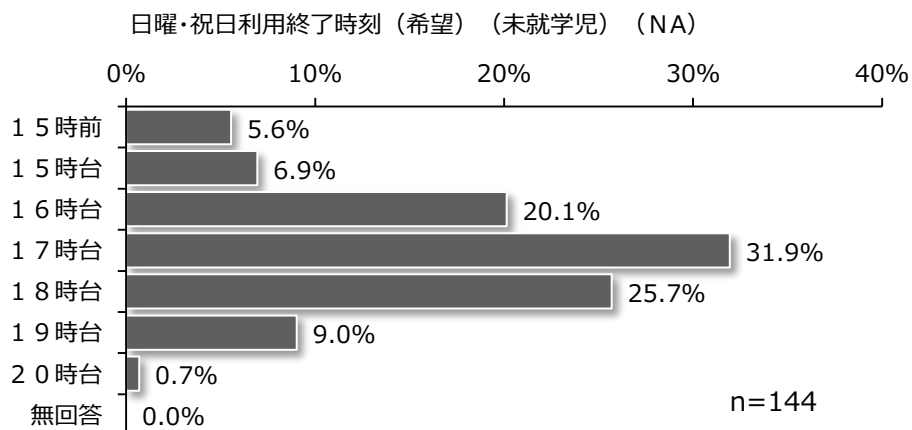
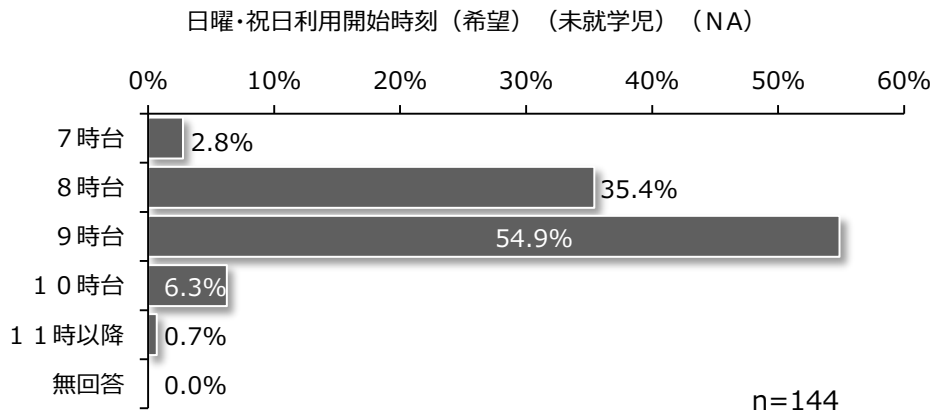
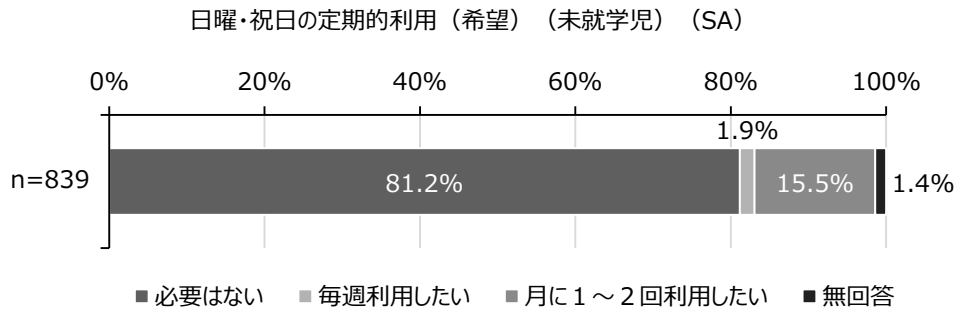
※ともに土曜日の定期事業を利用したい方

問 2 0 (2) : 日曜・祝日の定期利用希望 (S A) 、定期利用希望開始時刻・終了時刻 (N A)

定期的な教育・保育事業の日曜・祝日の利用希望について、「必要はない」が 81.2%を占めた。「毎週利用したい」は 1.9%、「月に 1～2 回利用したい」は 15.5%であった。

利用開始時刻 (希望) については、9 時台が最も多く 54.9%で、8 時台とあわせて 90.3%を占めている。

利用終了時刻 (希望) については、17 時台から 18 時台が多く、あわせて 57.6%と過半数を占めている。

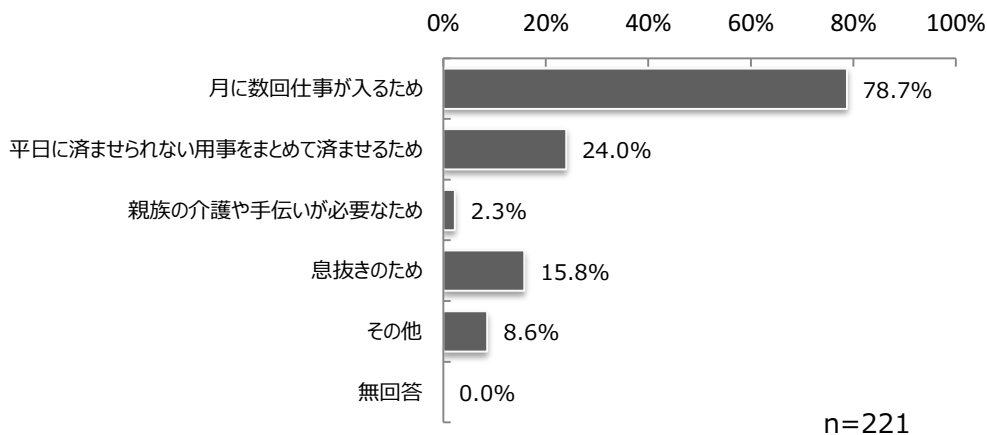


※ともに日曜・祝日の定期事業を利用したい方

問 2 0 – (1) : 土曜日、日曜・祝日に月数回利用したい理由 (M A)

土日祝日に月数回利用したい理由については、「月に数回仕事が入るため」が最も多く、78.7%が回答している。その他には、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 24.0%、「息抜きのため」が 15.8%となっている。

土日祝日に月数回利用したい理由 (未就学児) (MA)



※土曜日、日曜・祝日に月に1～2回利用したい方

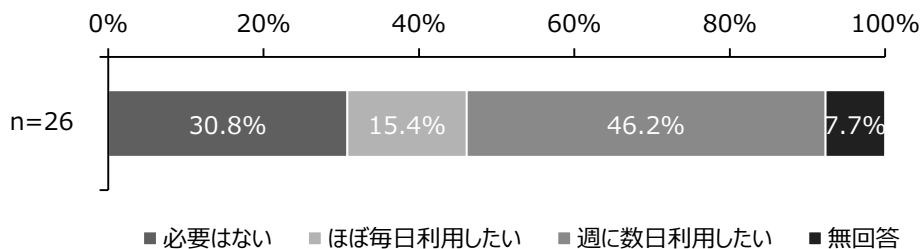
問 2 1 : 幼稚園等利用者の長期休暇の利用希望 (S A)、利用希望開始時刻・終了時刻 (N A)

幼稚園等利用者の長期休暇時の利用希望について、「必要はない」は 30.8%であり、「週に数日利用したい」が最も多く 46.2%であった。「ほぼ毎日利用したい」は 15.4%となっている。

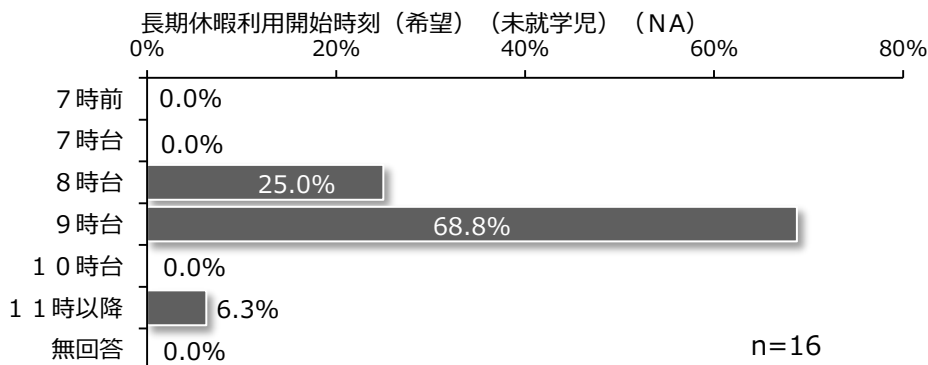
利用開始時刻 (希望) については、9 時台が最も多く 68.8%で、8 時台とあわせて 93.8%を占めている。

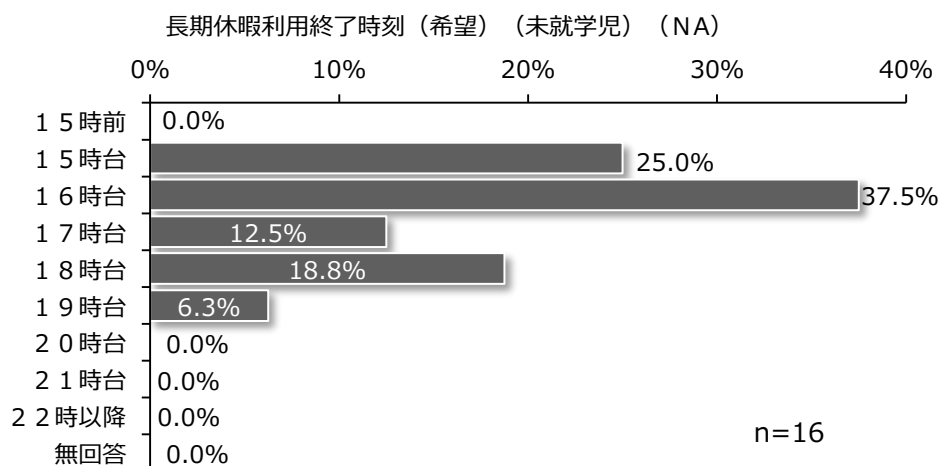
利用終了時刻 (希望) については、15 時台から 16 時台が多く、あわせて 62.5%と過半数を占めている。

幼稚園等利用者における長期休暇利用 (希望) (未就学児) (SA)



※幼稚園及び認定こども園を利用している方 (無回答除く)

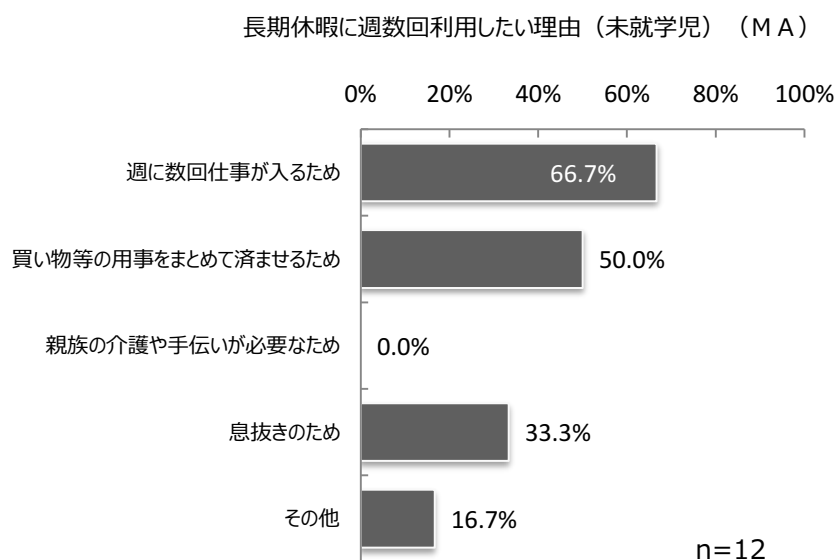




※幼稚園及び認定こども園を利用している方（無回答除く）のうち、毎日利用したい、週に数日利用したい方

問21-（1）：幼稚園等利用者の長期休暇に週数回利用したい理由（MA）

長期休暇に週数回利用したい理由は、「週に数回仕事が入るため」が66.7%と最も多く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が50.0%、「息抜きのため」が33.3%となっている。

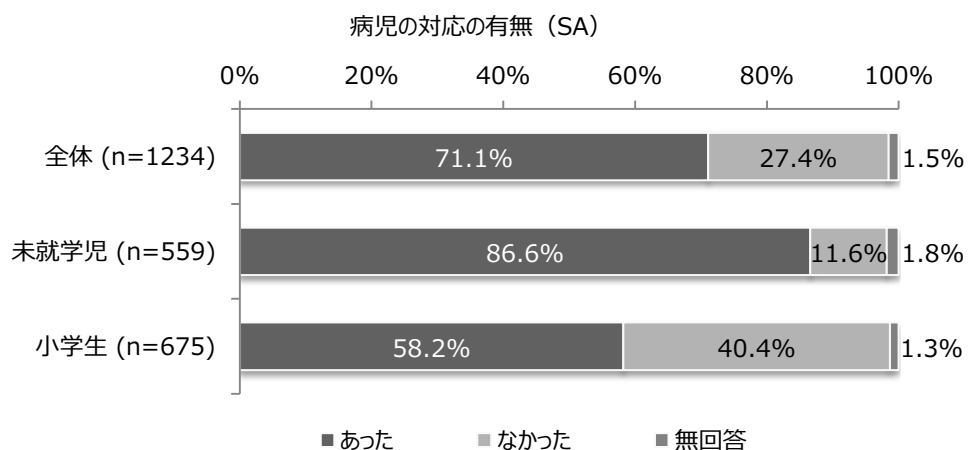


※長期休暇に週数日利用したい方

8. 病児保育事業

問22（未就学児）、問16（小学生）：病児対応の有無（SA）

病児対応の有無については、「あった」が全体で71.1%、未就学児で86.6%、小学生で58.2%となっている。

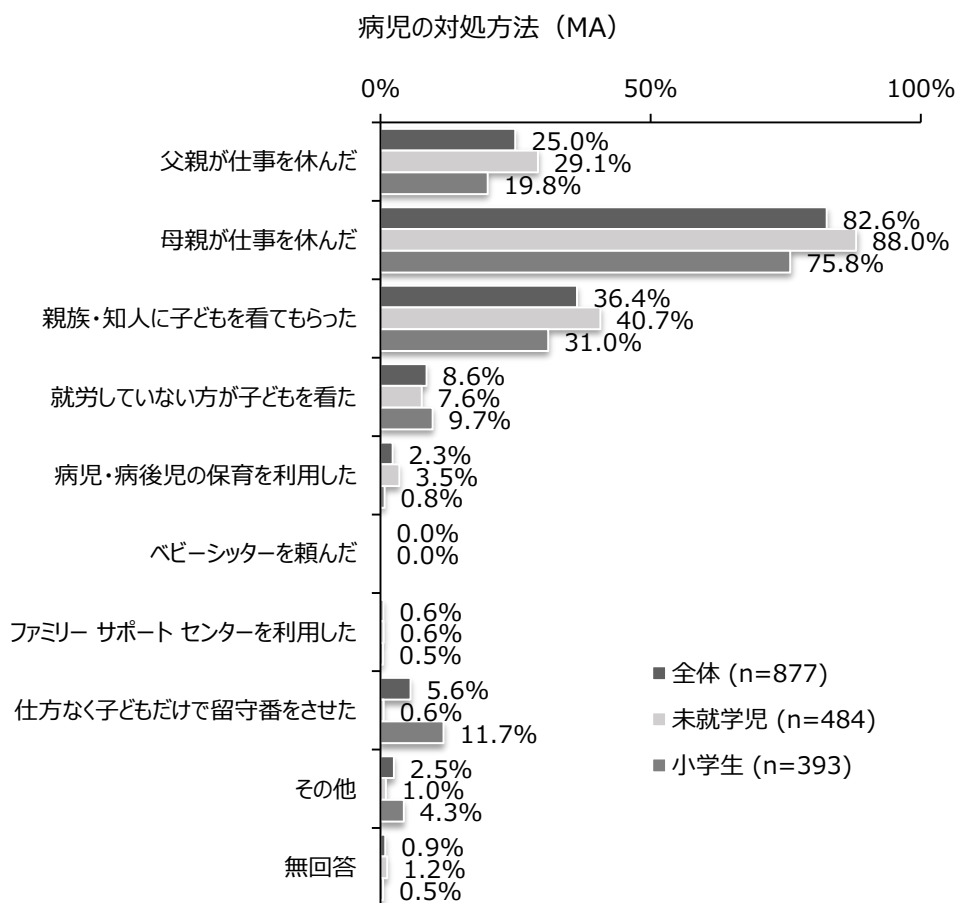


※定期的な教育・保育事業を利用している未就学児と、全小学生

問22 - (1) (未就学児)、問16 - (1) (小学生) : 病児対処方法 (MA、NA)

病児への対処方法としては、未就学児、小学生とも「母親が仕事を休んだ」が最も多く、88.0%、75.8%であり、次いで「親族・知人に子どもを看てもらった」が40.7%、31.0%などとなっている。

対処方法ごとの日数については、「就労していない方が子どもを看た」が1年間に平均10.7日、「母親が休んだ」が1年間に平均8.6日、「親族・知人に子どもを看てもらった」が1年間に平均6.8日となっている。



※病児対応があったと回答した方

○対処方法ごとの日数等 (全体) (NA)

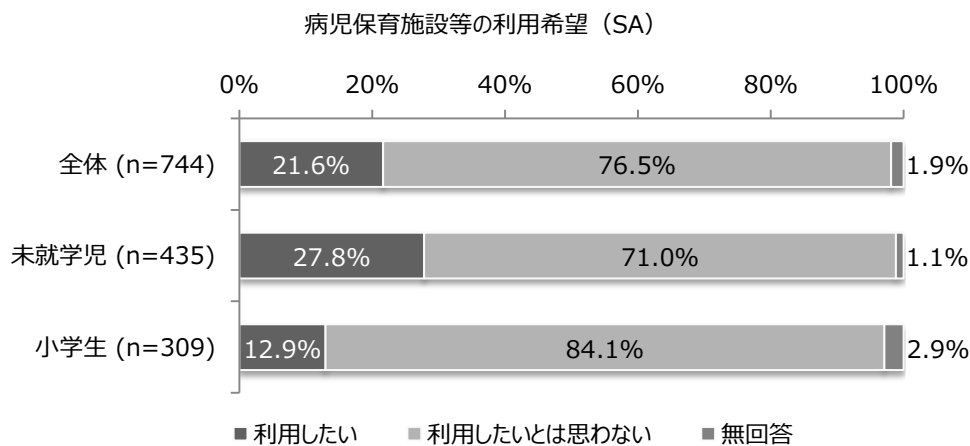
対処方法	回答者数	日数合計	日数平均	日数最大
父親が休んだ	219	716	3.7	30
母親が休んだ	724	5375	8.6	50
親族・知人に子どもを看てもらった	315	1971	6.8	90
就労していない方が子どもを看た	75	758	10.7	99
病児・病後児の保育を利用した	20	100	5.0	20
ベビーシッターを頼んだ	0	0	-	0
ファミリーサポートセンターを利用した	5	9	1.8	3
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	49	157	3.7	20
その他	22	109	6.9	20

※日数は1年間あたりの日数。回答者数は日数の無回答者を除く

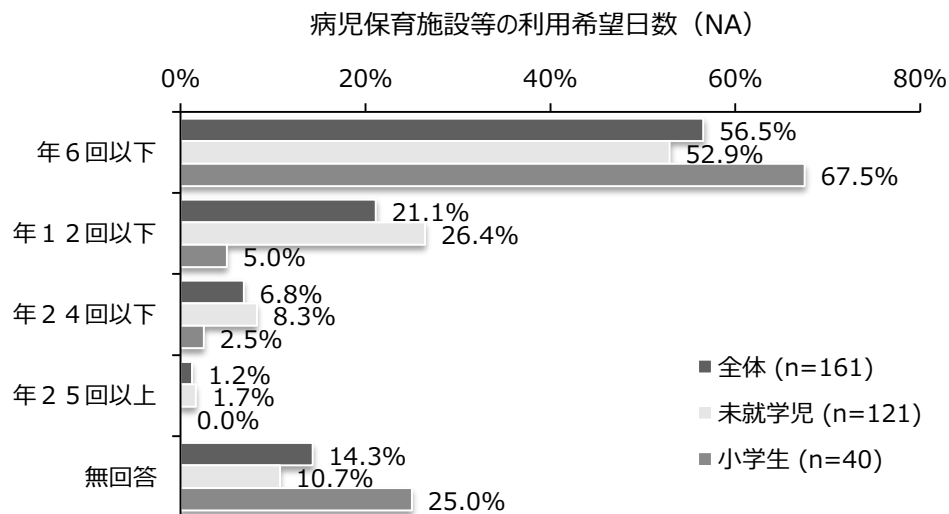
問22-(2) (未就学児)、問16-(2) (小学生) : 両親が仕事を休んだ際、病児・病後児保育施設等を利用したいと思ったか (SA、NA)

病児・病後児保育施設等の利用については、「利用したい」が全体で 21.6%、未就学児で 27.8%、小学生で 12.9%となっている。

利用頻度としては「年6回以下」が最も多く、次いで「年12回以下」となっている。



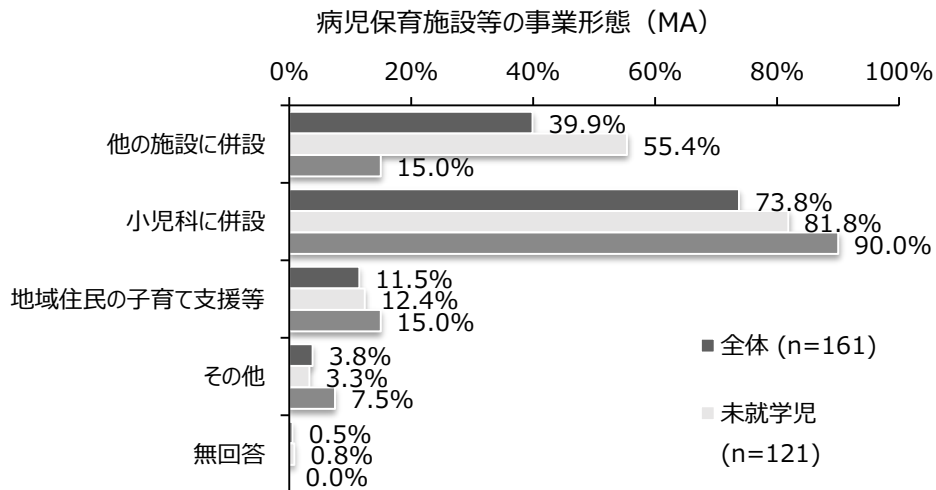
※病児対応で仕事を休んだ方



※病児対応で仕事を休んだ方で、病児・病後児保育施設等を利用したい方

問 2 2 - (3) (未就学児) 、問 1 6 - (3) (小学生) : 病児・病後児保育施設等の事業形態 (MA)

病児・病後児保育施設等の事業形態としては「小児科に併設」が最も多く、次いで「他の施設に併設」となっている。



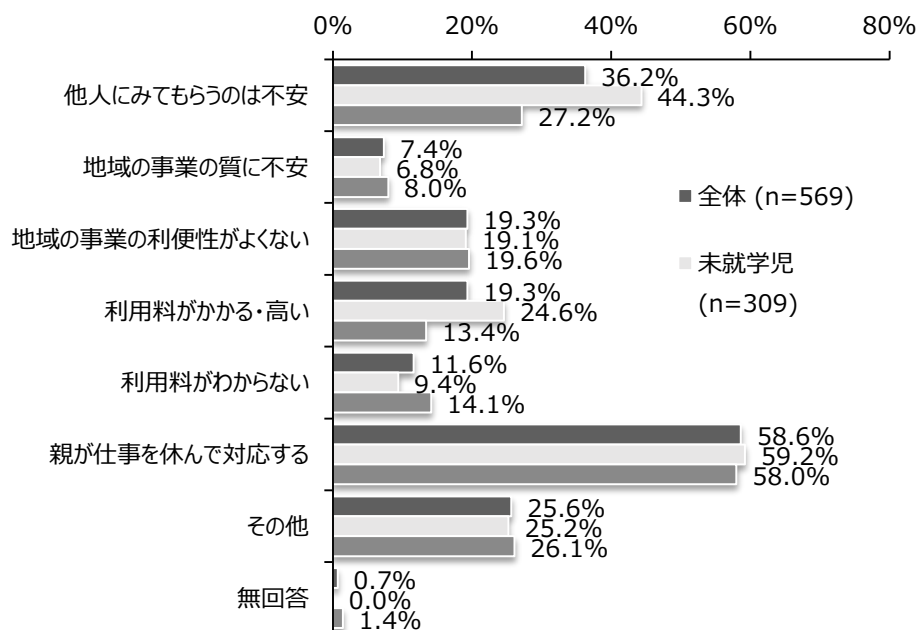
※病児対応で仕事を休んだ方で、病児・病後児保育施設等を利用したい方

問 2 2 - (4) (未就学児) 、問 1 6 - (4) (小学生) : 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由 (MA)

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由としては、「親が仕事を休んで対応する」が全体で 58.6%、未就学児で 59.2%、小学生で 58.0%となっている。

未就学児では「他人にみてもらうのは不安」が 44.3%となっており、小学生より 17.1 ポイント高くなっている。

病児保育施設等を利用したいと思わない理由 (MA)

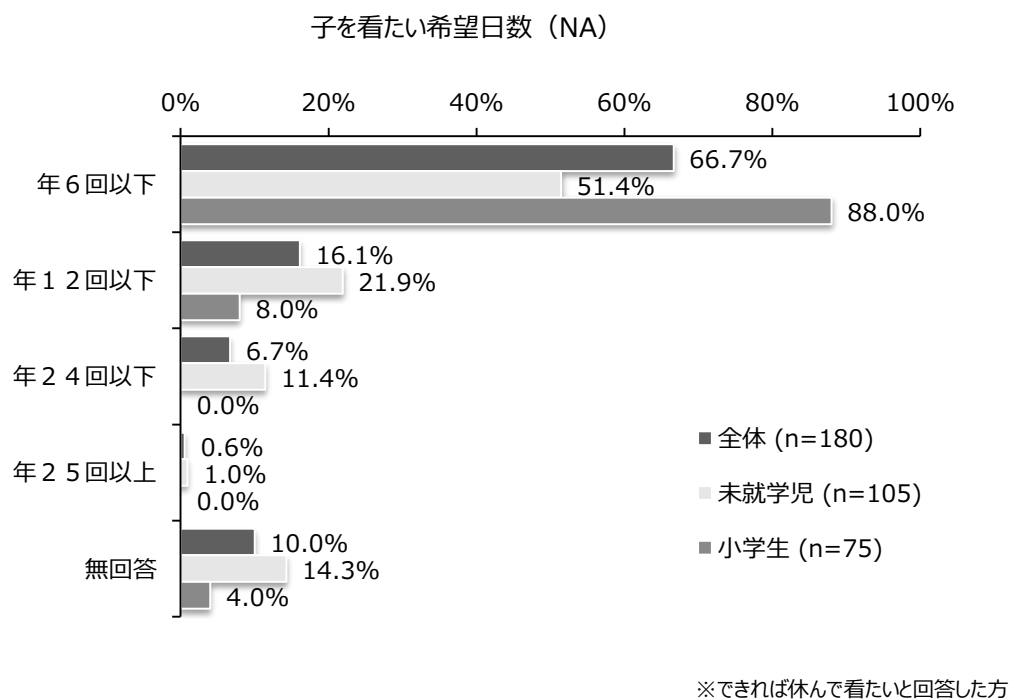
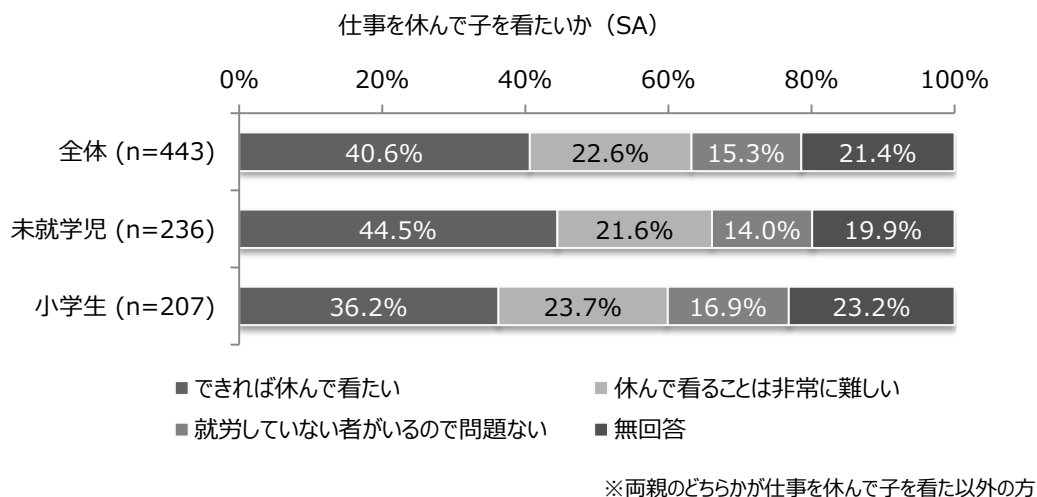


※病児対応で仕事を休んだ方で、病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない方

問22-(5) (未就学児)、問16-(5) (小学生) : 病児対応のため、父母のいずれかが仕事を休んで子を見たいと思ったか (SA、NA)

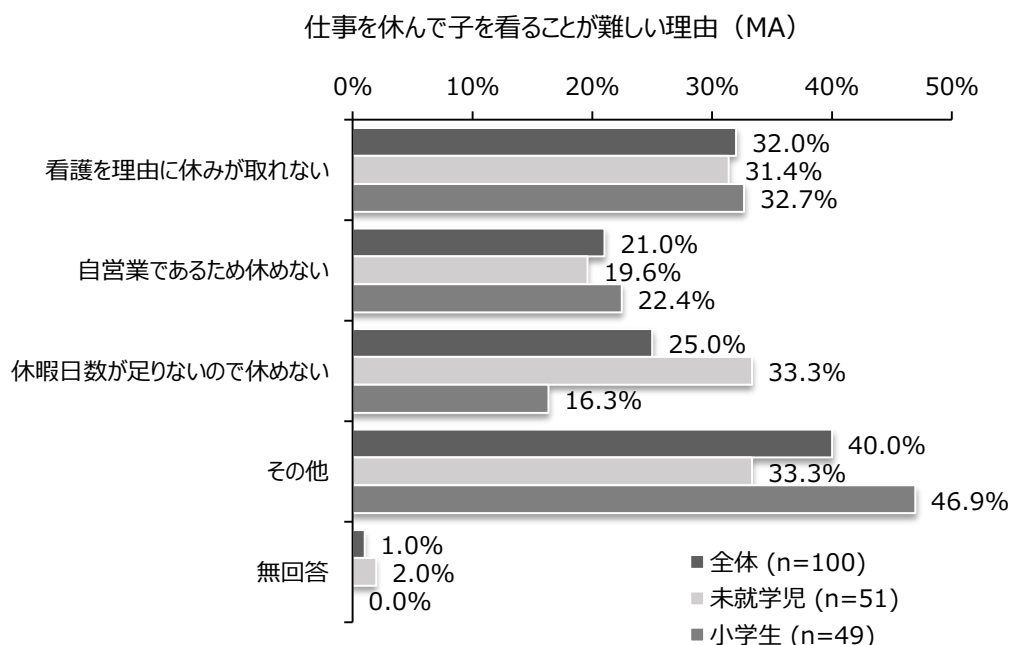
仕事を休んで見たいかについて、「できれば休んで見たい」が全体で 40.6%、未就学児で 44.5%、小学生で 36.2%となっている。「休んで見ることは非常に難しい」は、全体で 22.6%、未就学児で 21.6%、小学生で 23.7%となっている。

子を見たい希望日数は、「年6回以下」が最も多く、次いで「年12回以下」となっている。



問 2 2 - (6) (未就学児) 、問 1 6 - (6) (小学生) : 病児対応のため、父母のいずれかが仕事を休んで子を見るのが難しい理由 (M A)

仕事を休んで子を見るのが難しい理由について、未就学児では「休暇日数が足りないため休めない」が 33.3%と最も高く、次いで「看護を理由に休みが取れない」が 31.4%となっている。小学生では、「看護を理由に休みが取れない」が 32.7%と最も多く、次いで「自営業であるため休めない」が 22.4%となっている。



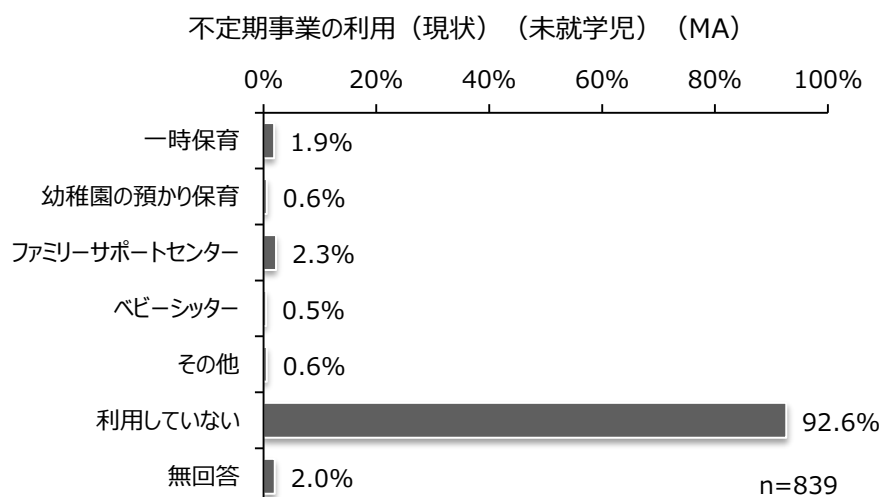
※病児対応で仕事を休んでいない方で、休んで子を見ることが困難な方

9. 不特定の教育・保育事業（未就学児のみ）

問23：不定期的に利用する事業（MA、NA）

不特定の教育・保育事業の利用については、「利用していない」が92.6%と最も多くなっている。

利用率は、「一時保育」、「幼稚園の預かり保育」、「ファミリーサポートセンター」、「ベビーシッター」の各事業とも3%未満となっており、利用日数の年平均は、「幼稚園の預かり保育」が17.0日、「一時保育」で8.8日などとなっている。



○不特定事業の利用日数（未就学児）（NA）

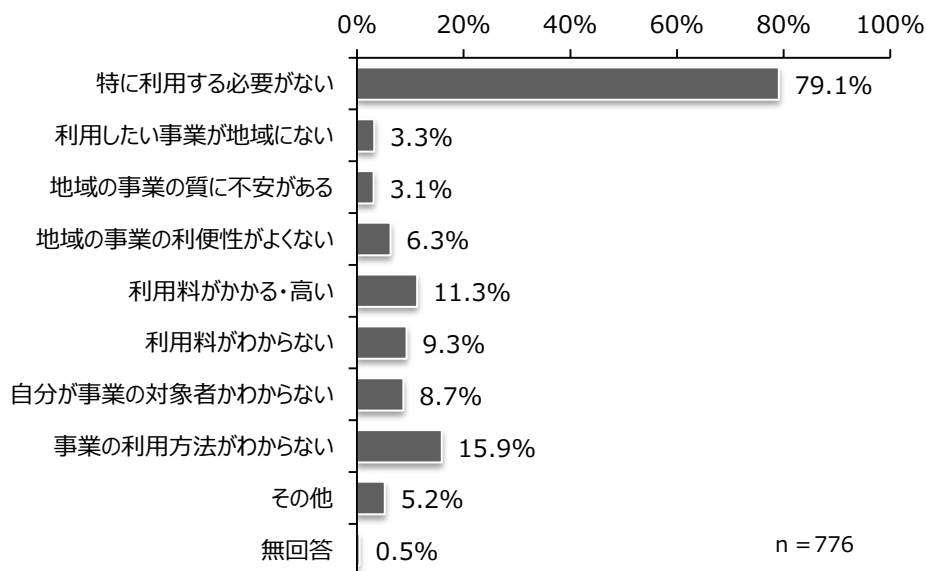
	回答者数	日数合計	日数平均	日数最大
一時保育	16	140	8.8	36
幼稚園の預かり保育	5	85	17.0	45
ファミリーサポートセンター	19	61	3.2	10
ベビーシッター	4	20	5.0	10
その他	5	23	5.8	10

※日数は1年間あたりの日数。回答者数は日数の無回答者を除く

問 2 3 - (1) : 不定期事業を現在利用していない理由 (M A)

不定期の教育・保育事業を利用しない理由としては、「特に利用する必要がない」が 79.1%で最も多く、次いで「事業の利用方法がわからない」が 15.9%、「利用料がかかる・高い」が 11.3%と続いている。

不定期事業を利用しない理由 (未就学児) (M A)

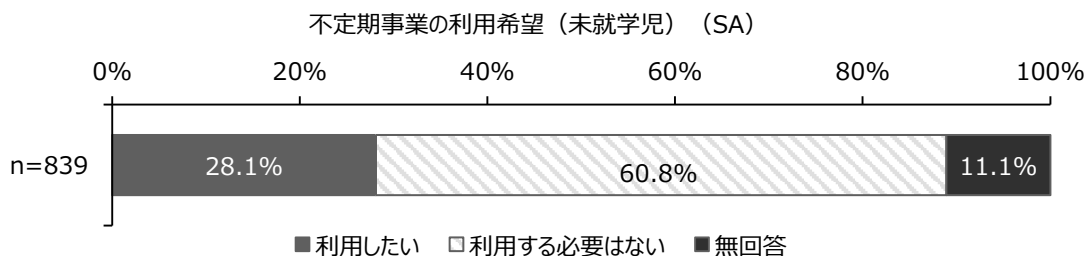


※不定期の教育・保育事業を利用していない方

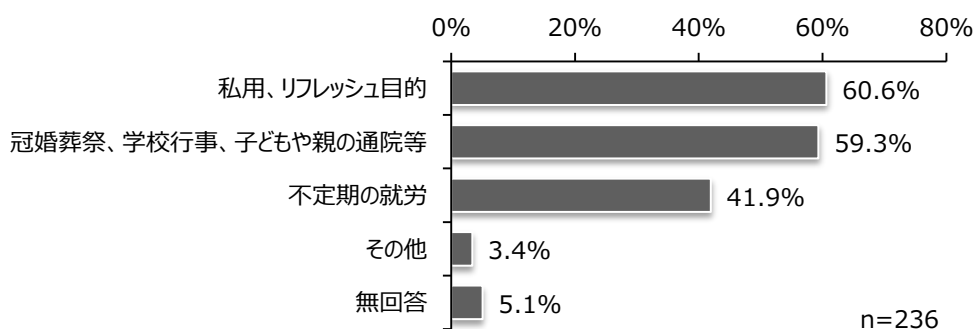
問 2 4 : 不定期の教育・保育事業の利用希望、目的 (S A、M A、N A)

不定期事業の利用希望について、「利用したい」は 28.1%となっている。

利用目的としては、「私用、リフレッシュ目的」が 60.6%で最も多く、年平均利用日数は 11.1 日となった。次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が 59.3%で、年平均利用日数は 6.3 日と続いている。



不定期事業の利用を希望する理由 (未就学児) (MA)



※不定期の教育・保育事業を利用したいと回答した方

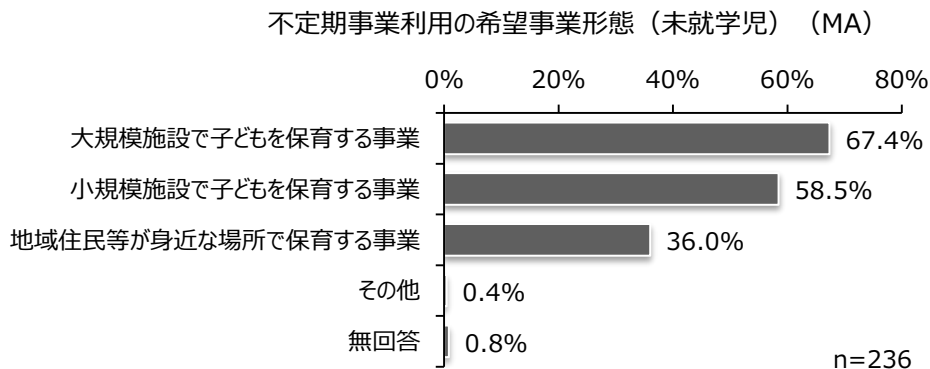
○不定期事業の利用日数 (希望) (未就学児) (NA)

	回答者数	日数合計	日数平均	日数最大
私用、リフレッシュ目的	143	1561	11.1	96
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	140	868	6.3	24
不定期の就労	99	1193	12.3	96
その他	8	72	12.0	30

※日数は1年間あたりの日数。回答者数は日数の無回答者を除く。

問 2 4 – (1) : 不定期事業の望ましいと思う事業形態 (M A)

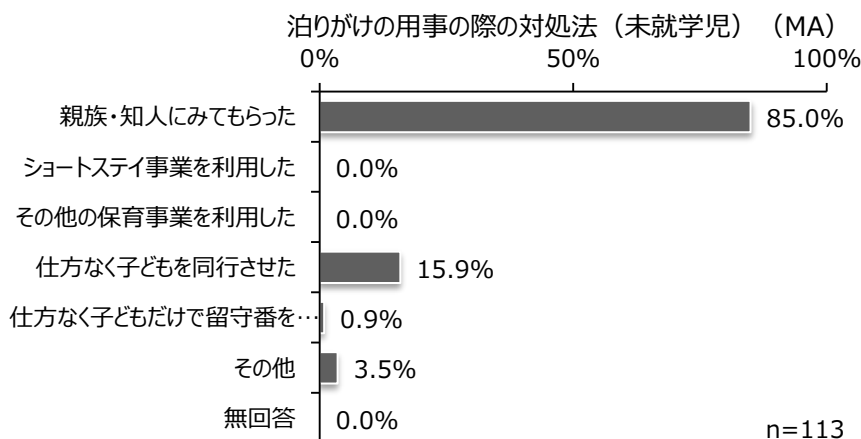
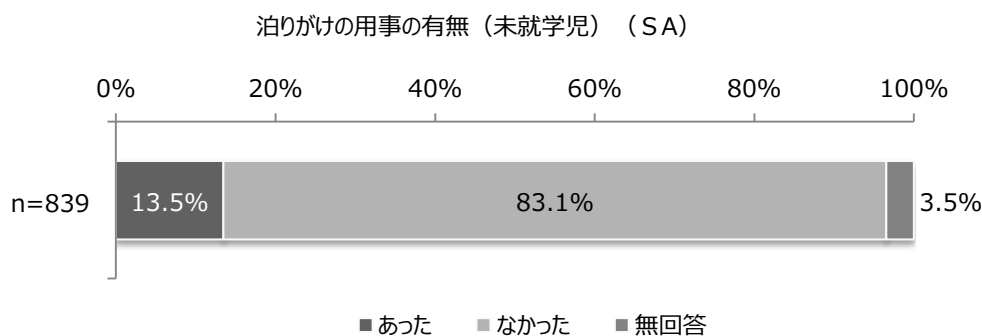
不定期の教育・保育事業で望ましいと思う事業形態としては、「大規模施設で子どもを保育する事業」が 67.4% で最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が 58.5%、「地域住民等が身近な場所で保育する事業」が 36.0%と続いている。



※ 不定期の教育・保育事業を利用したいと回答した方

問 2 5 : 泊りがけの用事の際の対処方法 (S A 、 M A 、 N A)

過去 1 年間に泊りがけでの用事への対応の必要があったと回答したのは、13.5%となっている。その時の対処方法は、「親族・知人にみてもらった」が 85.0%と最も多く、日数は平均 4.9 日となっている。



※ 泊りがけ対応の必要があった方

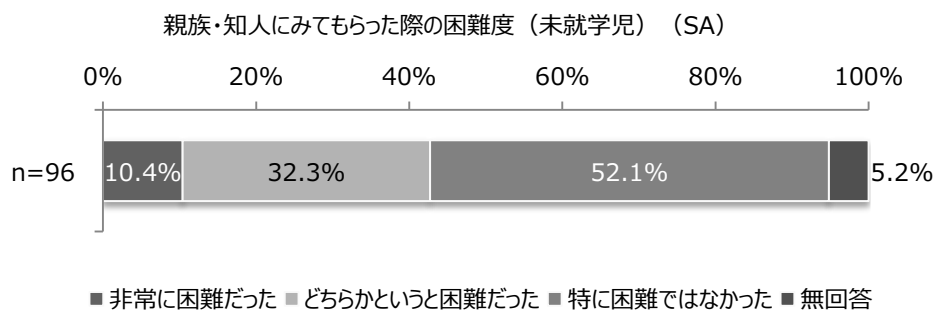
○対処方法別の泊りがけ日数（未就学児）（NA）

	回答者数	日数合計	日数平均	日数最大
親族・知人にみてもらった	96	474	4.9	72
ショートステイ事業を利用した	0	-	-	-
その他の保育事業を利用した	0	-	-	-
仕方なく子どもを同行させた	18	62	3.4	14
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	1	1.0	1
その他	4	15	7.5	12

※日数は1年間あたりの日数。回答者数は日数の無回答者を除く。

問25－（1）：親族・知人に見てもらった際の困難度（SA）

親族・知人に依頼した際の困難度については、「非常に困難だった」が10.4%、「どちらかという困難だった」が32.3%、「特に困難ではなかった」が52.1%となった。



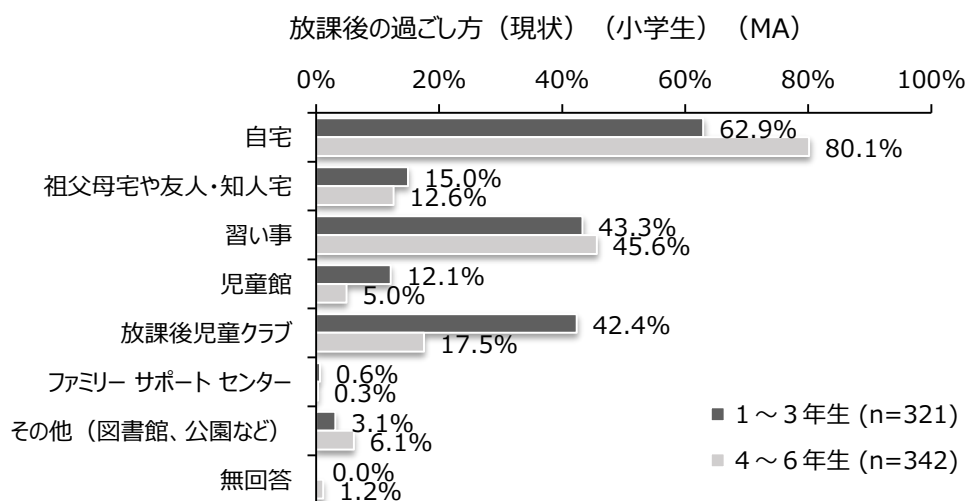
※泊りがけの対処の際、親族・知人に子を見てもらった方

10. 放課後の過ごし方

問17：放課後の過ごし方の現状（MA、NA）

小学生の放課後の過ごし方の現状については、1～3年生では「自宅」が62.9%と最も多く、次いで「習い事」、「放課後児童クラブ」となっている。4～6年生でも同様に「自宅」、「習い事」、「放課後児童クラブ」となっているが、1～3年生と比較して「自宅」が17.2ポイント高く、「放課後児童クラブ」が24.9ポイント低くなっている。

利用日数の平均（週当たり）は、1～3年生で「放課後児童クラブ」が4.0日、「自宅」が3.7日などとなっている。4～6年生では、「自宅」が4.1日、「放課後児童クラブ」が3.7日などとなっている。



○放課後の過ごし方の現状（小学1～3年生）（NA）

過ごし方	回答者数	日数合計	日数平均	日数最大
自宅	202	749	3.7	5
祖父母宅や友人・知人宅	48	140	2.9	5
習い事	139	269	1.9	5
児童館	39	99	2.7	5
放課後児童クラブ	136	545	4.0	5
ファミリー サポート センター	2	6	3.0	5
その他（図書館、公園など）	10	20	2.0	5

※日数は1週間あたりの日数。回答者数は日数の無回答者を除く。

○放課後の過ごし方の現状（小学4～6年生）（NA）

過ごし方	回答者数	日数合計	日数平均	日数最大
自宅	274	1098	4.1	5
祖父母宅や友人・知人宅	43	106	2.5	5
習い事	156	358	2.3	5
児童館	17	29	1.9	5
放課後児童クラブ	60	224	3.7	5
ファミリー サポート センター	1	1	1.0	1
その他（図書館、公園など）	21	48	2.3	5

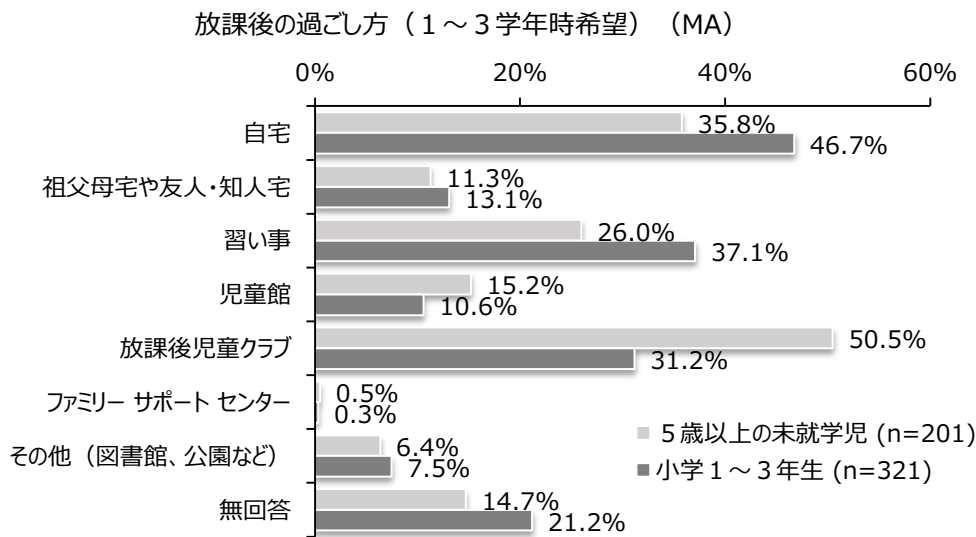
※日数は1週間あたりの日数。回答者数は日数の無回答者を除く。

問 2 6（未就学児）、問 1 7（小学生）：1～3 学年時での放課後の過ごし方の希望（MA、NA）

1～3 学年時での放課後の過ごし方として希望するところは、5 歳以上の未就学児では、「放課後保育クラブ」が 50.5%で最も多く、次いで「自宅」が 35.8%、「習い事」が 26.0%と続いている。小学 1～3 年生では、「自宅」が 46.7%で最も多く、次いで「習い事」が 37.1%、「放課後児童クラブ」が 31.2%と続いている。

希望利用日数の平均（週当たり）は、「放課後児童クラブ」が 4.1 日、「自宅」が 3.7 日などとなっている。

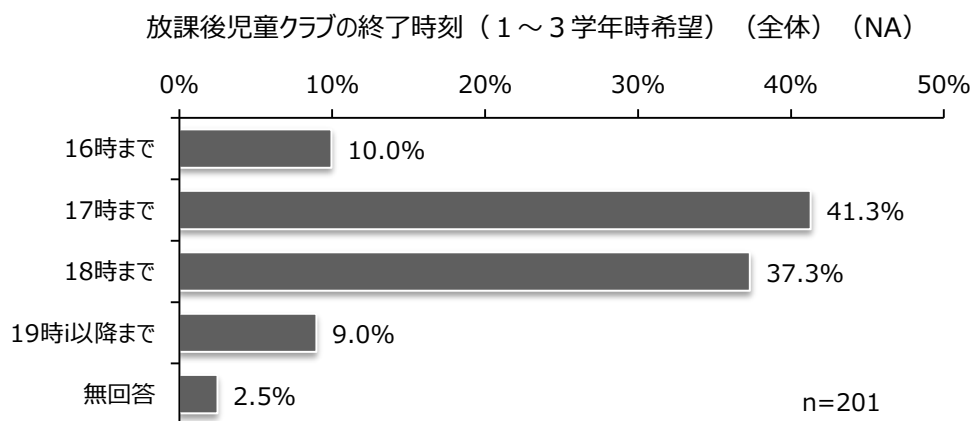
放課後児童クラブの希望終了時刻は、「17 時まで」が 41.3%と最も多く、次いで「18 時まで」が 37.3%となっている。



○放課後の過ごし方（1～3 学年時希望）（全体）（NA）

過ごし方	回答者数	日数合計	日数平均	日数最大
自宅	222	810	3.7	5
祖父母宅や友人・知人宅	64	189	3.0	5
習い事	172	310	1.8	4
児童館	65	192	3.0	5
放課後児童クラブ	201	815	4.1	6
ファミリー サポート センター	2	2	1.0	1
その他（図書館、公園など）	37	62	1.7	5

※日数は 1 週間あたりの日数。回答者数は日数の無回答者を除く。



※5 歳以上の未就学児及び小学 1～3 年生のうち、放課後児童クラブを利用したい方

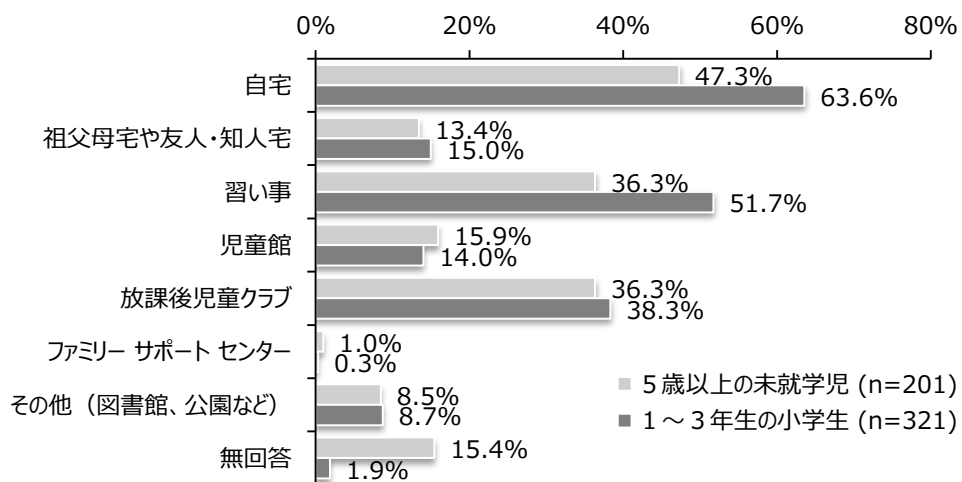
問 2 7（未就学児）、問 1 8（小学生）：4～6 学年時での放課後の過ごし方の希望（MA、NA）

4～6 学年時での放課後の過ごし方として希望するところは、5 歳以上の未就学児、1～3 年生とも「自宅」が最も多く、次いで「習い事」、「放課後児童クラブ」となっている。

希望利用日数の平均（週当たり）は、「自宅」が 3.5 日、「習い事」が 1.9 日、「放課後児童クラブ」が 3.8 日となっている。

「放課後児童クラブ」の希望終了時刻の希望としては、「18 時まで」が 45.4%でもっとも多く、次いで「17 時まで」が 33.7%と続いている。

放課後の過ごし方（4～6 学年時希望）（MA）



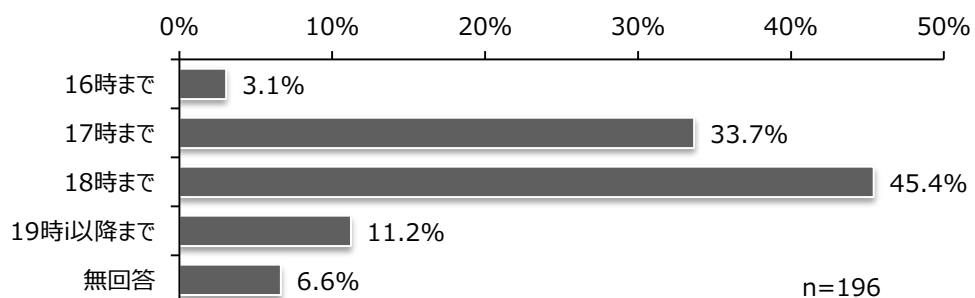
※5 歳以上の未就学児および小学校 1～3 年生

○放課後の過ごし方（4～6 学年時希望）（全体）（NA）

過ごし方	回答者数	日数合計	日数平均	日数最大
自宅	299	1047	3.5	7
祖父母宅や友人・知人宅	75	199	2.7	5
習い事	239	460	1.9	5
児童館	77	211	2.8	6
放課後児童クラブ	196	746	3.8	6
ファミリー サポート センター	3	4	1.5	2
その他（図書館、公園など）	45	71	1.6	5

※日数は 1 週間あたりの日数。回答者数は日数の無回答者を除く。

放課後児童クラブの終了時刻（4～6 学年時希望）（全体）（NA）



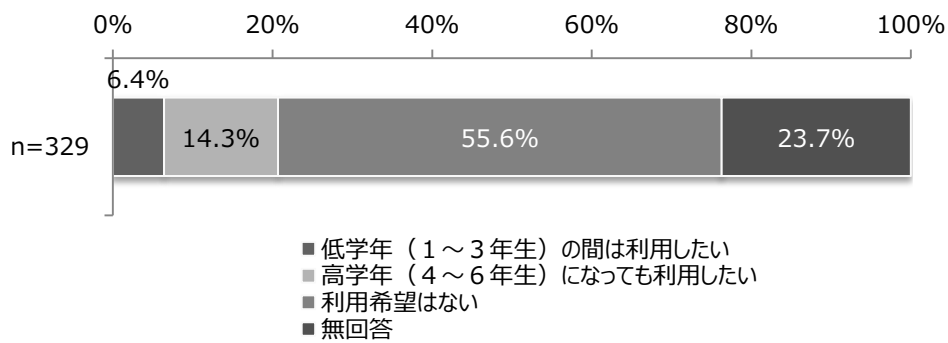
※5 歳以上の未就学児及び小学 1～3 年生のうち、放課後児童クラブを利用したい方

問28(1) (未就学児)、問19(1) (小学生) : 放課後児童クラブの利用希望 (土曜日)
(SA、NA)

土曜日の放課後児童クラブの利用希望については、「利用希望はない」が55.6%で最も多く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が14.3%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が6.4%となった。

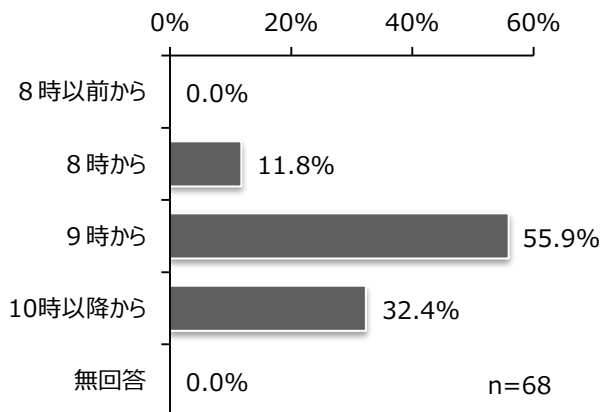
希望開始時刻について、「9時から」が55.9%で最も多く、次いで「10時以降から」が32.4%などとなっている。希望終了時刻については、「18時まで」が44.1%で最も多く、次いで「17時まで」、「19時以降まで」がそれぞれ22.1%となっている。

放課後児童クラブの利用希望 (土曜日) (全体) (MA)



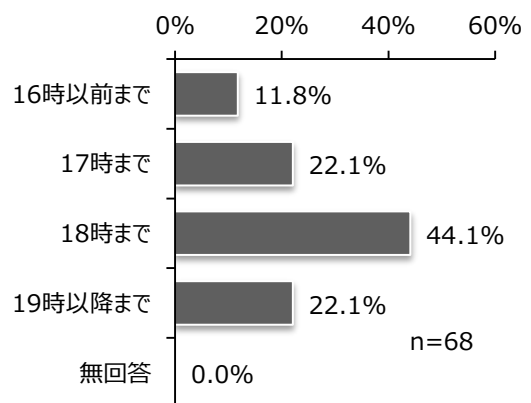
※5歳以上の未就学児及び小学1～3年生のうち、放課後児童クラブを利用したい方

希望開始時刻 (土曜日)
(全体) (NA)



※5歳以上の未就学児及び小学1～3年生のうち、平日以外に土曜日の放課後児童クラブを利用したい方

希望終了時刻 (土曜日)
(全体) (NA)

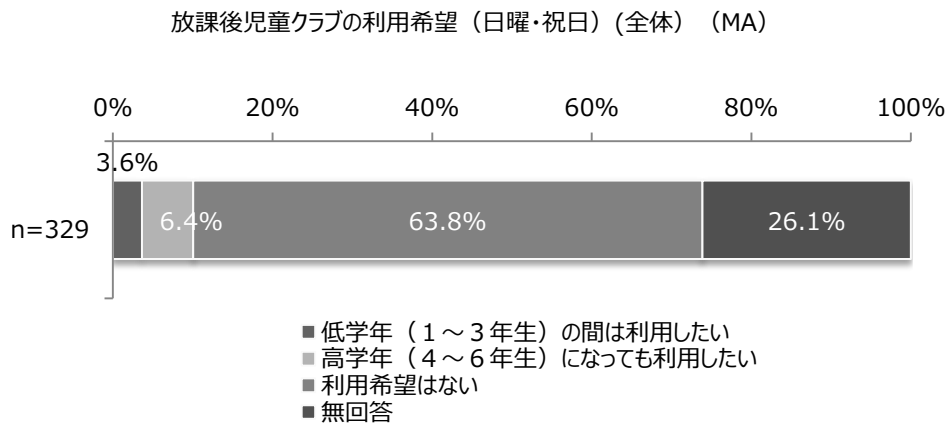


※5歳以上の未就学児及び小学1～3年生のうち、平日以外に土曜日の放課後児童クラブを利用したい方

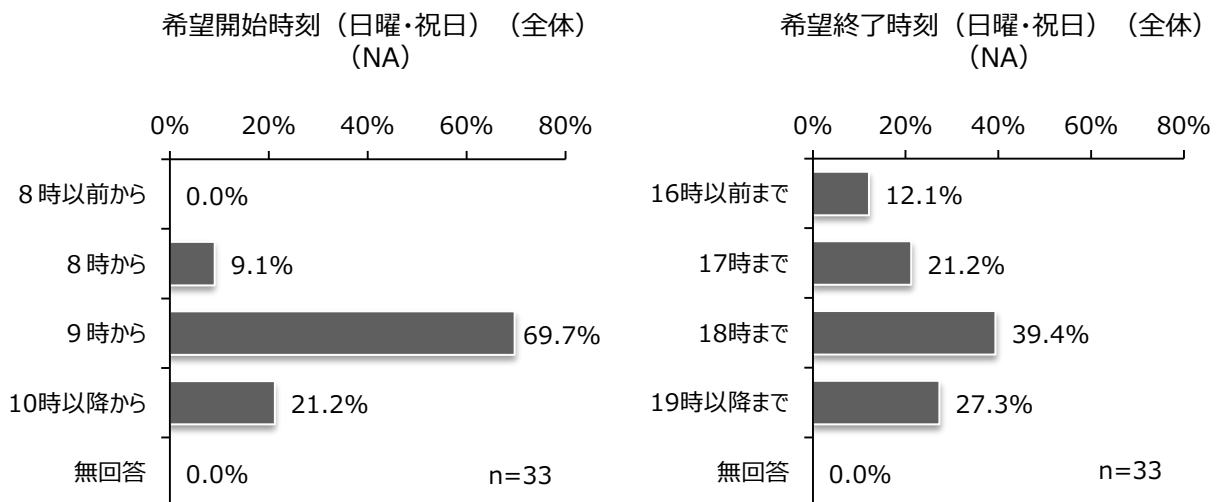
問28(2) (未就学児)、問19(2) (小学生) : 放課後児童クラブの利用希望 (日曜・祝日)
(SA、NA)

日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望については、「利用希望はない」が63.8%で最も多く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が6.4%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が3.6%となった。

希望開始時刻については、「9時から」が69.7%で最も多く、次いで「10時以降から」が21.2%で続いている。希望終了時刻については、「18時まで」が39.4%で最も多く、次いで「19時以降まで」が27.3%と続いている。



※5歳以上の未就学児及び小学1～3年生のうち、放課後児童クラブを利用したい方

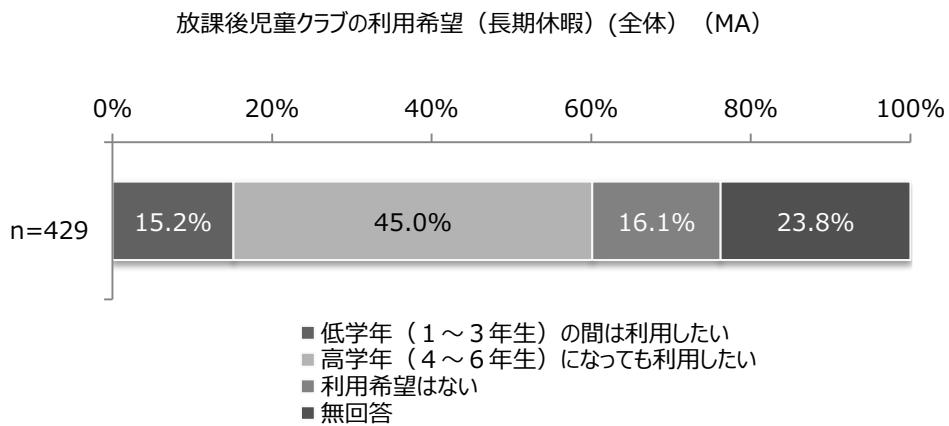


※ともに5歳以上の未就学児及び小学1～3年生のうち、平日以外に日曜・祝日の放課後児童クラブを利用したい方

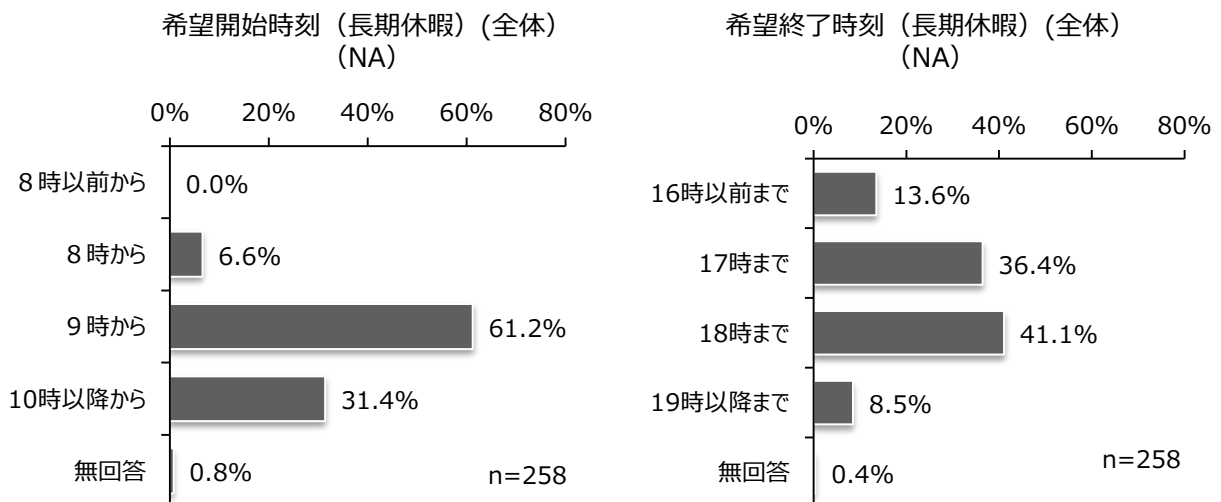
問29（未就学児）、問19（3）（小学生）：放課後児童クラブの利用希望（長期休暇）（S A、N A）

長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望については、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が45.0%で最も多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が15.2%、「利用希望はない」が16.1%となった。

希望開始時刻については、「9時から」が61.2%で最も多く、次いで「10時以降から」が31.4%となっている。希望終了時刻については、「18時まで」が41.1%で最も多く、次いで「17時まで」が36.4%となった。



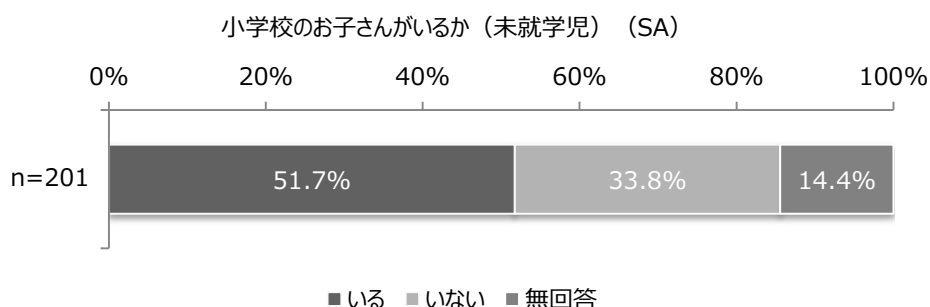
※5歳以上の未就学児（全員）及び小学1～3年生のうち放課後児童クラブを利用したい方



※ともに5歳以上の未就学児（全員）及び小学1～3年生のうち放課後児童クラブを利用したい方で、長期休暇中に放課後児童クラブを利用したい方

問30：（未就学児）世帯の中に小学生はいるか（SA）

小学校の子どもがいるかは、「いる」が51.7%、「いない」が33.8%となっている。



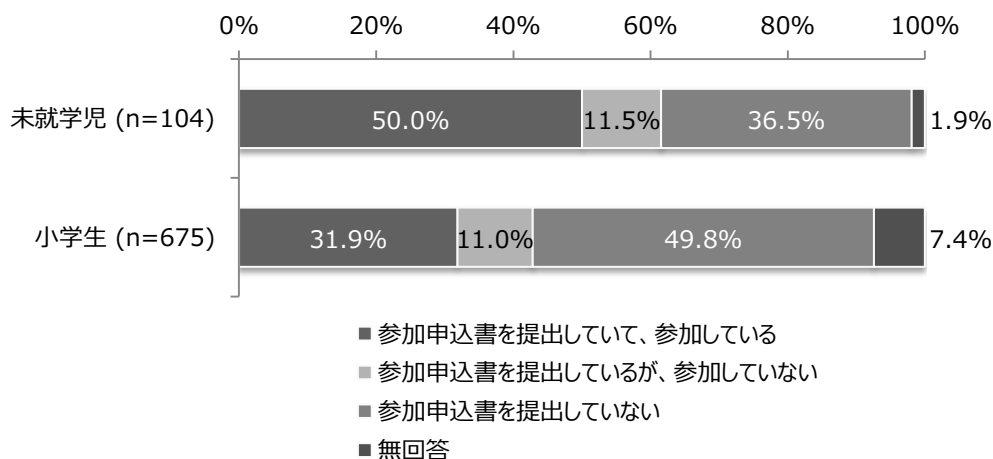
※5歳以上の未就学児

問30-（1）（未就学児）、問20（小学生）：ワクワク教室（放課後子ども教室）の今年度の利用状況について（SA）

ワクワク教室(放課後子ども教室)の利用状況は、未就学児のいる家庭では「参加申込書を提出していて、参加している」が50.0%と最も多く、次いで「参加申込書を提出していない」が36.5%となっている。

小学生では、「参加申込書を提出していない」が49.8%と最も多く、次いで「参加申込書を提出していて、参加している」が31.9%となっている。

ワクワク教室（放課後子ども教室）の今年度の利用状況（SA）

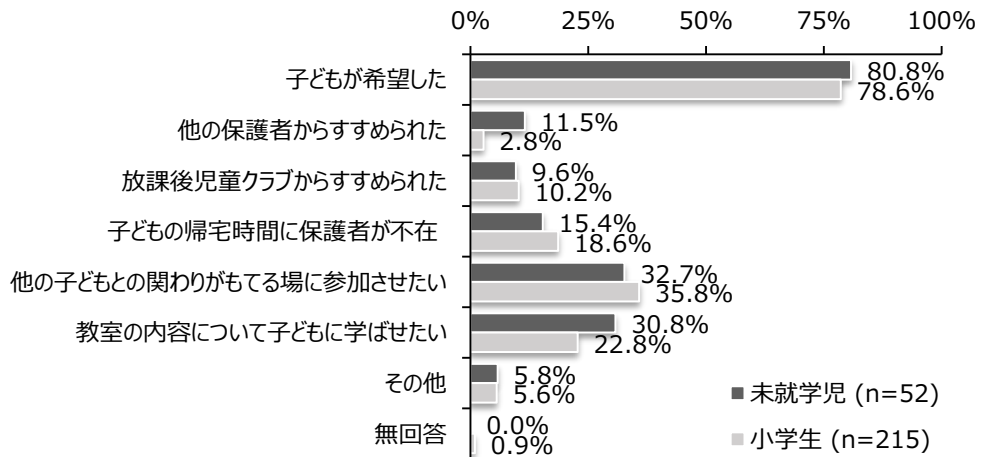


※未就学児は5歳以上で、小学校のお子さんがいる方

問30-(2) (未就学児)、問20-(1) (小学生) : ワクワク教室(放課後子ども教室)に参加したきっかけについて(MA)

ワクワク教室(放課後子ども教室)に参加したきっかけは、未就学児、小学生とも「子どもが希望した」が約8割と最も多く、次いで「他の子どもとの関わりがもてる場に参加させたい」となっている。

ワクワク教室に参加したきっかけ(MA)

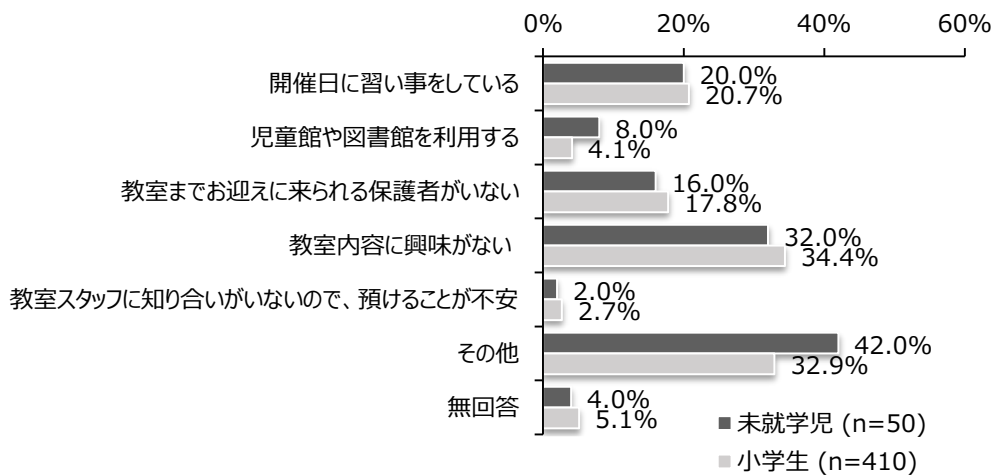


※ワクワク教室に参加申込書を提出していて、参加している方

問30-(3) (未就学児)、問20-(2) (小学生) : ワクワク教室(放課後子ども教室)に参加しない理由について(MA)

ワクワク教室(放課後子ども教室)に参加しない理由は、未就学児、小学生とも「教室内容に興味がない」が約3割と最も多く、次いで「開催日に習い事をしている」となっている。

ワクワク教室に参加しない理由(MA)

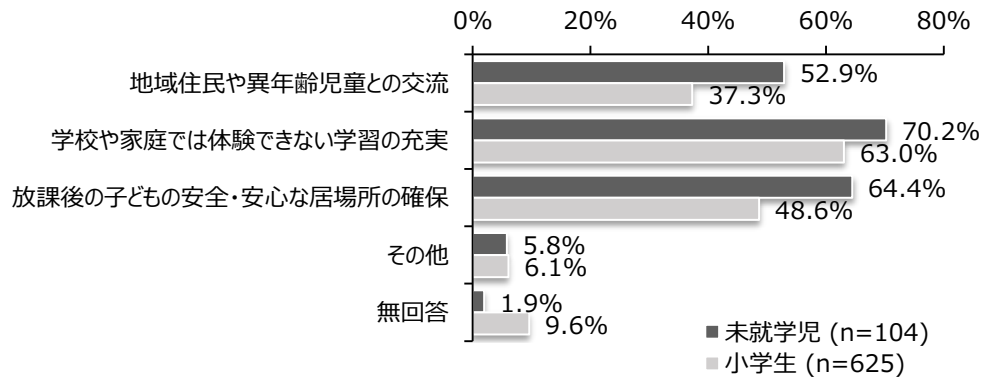


※ワクワク教室に参加申込書を提出しているが、参加していない方、もしくは、参加申込書を提出していない方

問30-(4) (未就学児)、問20-(3) (小学生) : 放課後子ども教室事業に期待することについて (MA)

放課後子ども教室事業に期待することは、未就学児、小学生とも「学校や家庭では体験できない学習の充実」が最も多く、次いで「放課後の子どもの安全・安心な居場所の確保」などとなっている。

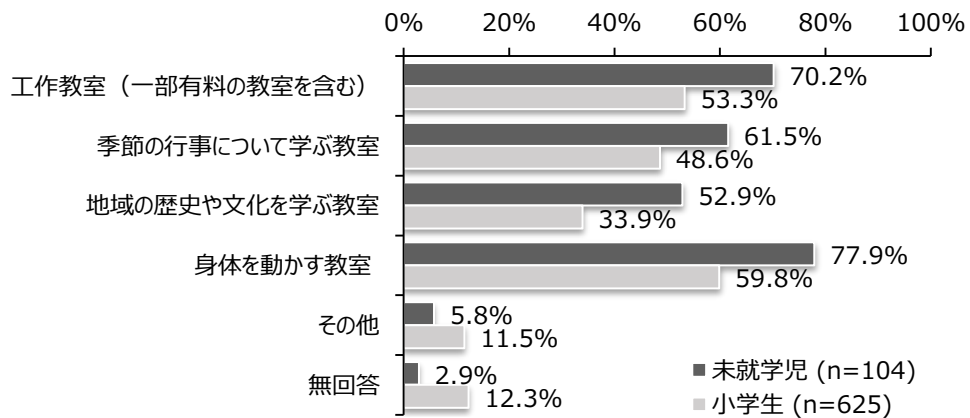
放課後子ども教室事業に期待すること (MA)



問30-(5) (未就学児)、問20-(4) (小学生) : 今後希望する教室の内容について (MA)

今後希望する教室の内容は、未就学児、小学生とも「身体を動かす教室」が最も多く、次いで「工作教室 (一部有料の教室を含む)」、「季節の行事について学ぶ教室」などとなっている。

今後希望する教室の内容 (MA)

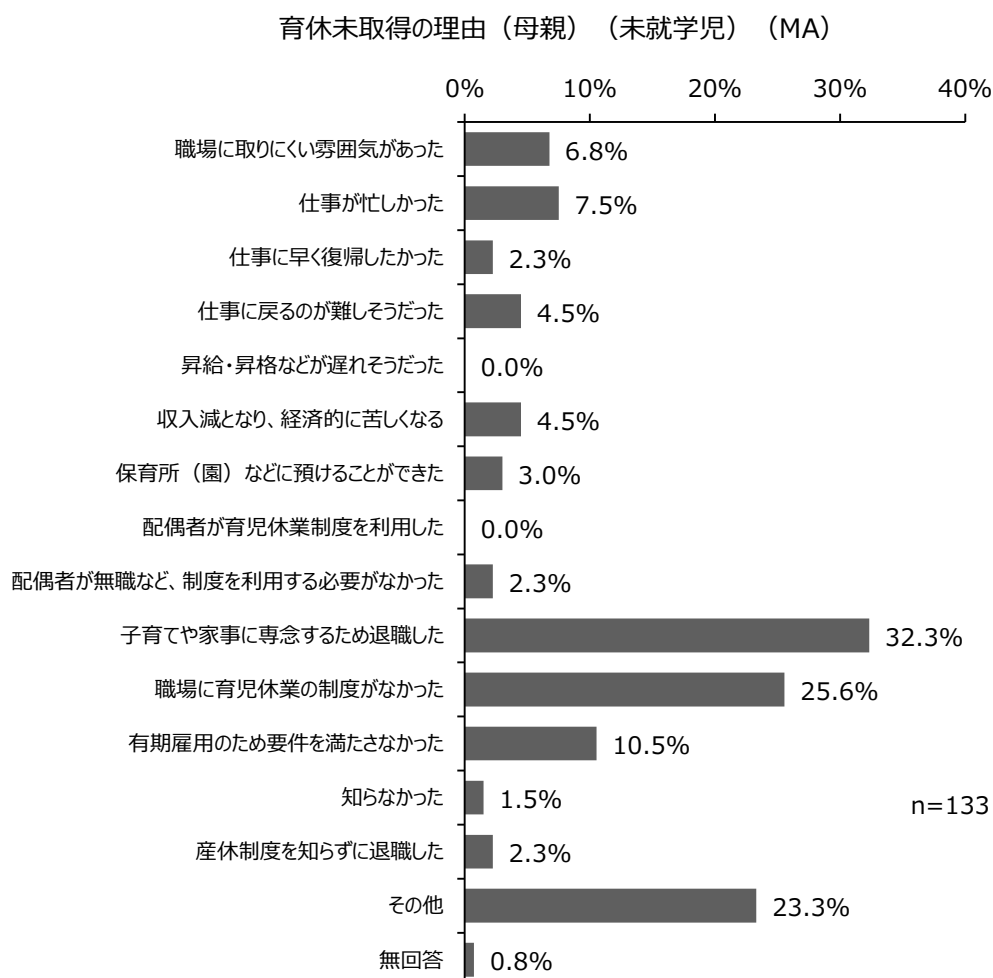
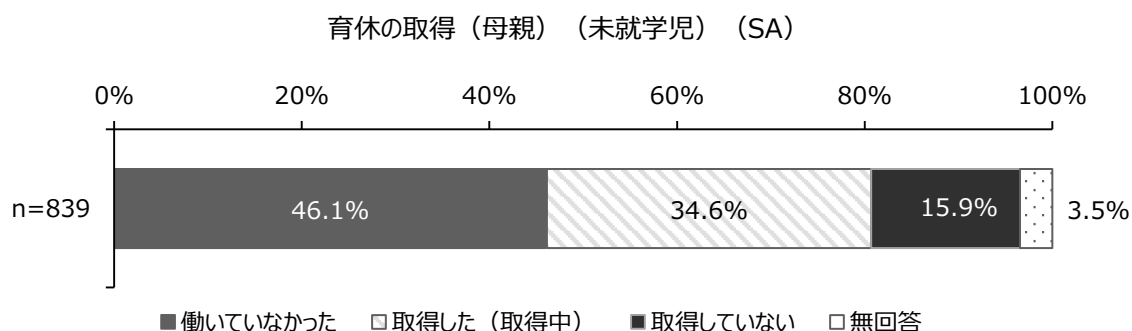


11. 職場の両立支援制度（未就学児のみ）

問31：育児休業取得の有無（SA）及び育児休業未取得の理由について（MA）

母親の育児休業の取得については、「働いていなかった」が46.1%と最も多く、次いで「取得した（取得中）」が34.6%、「取得していない」が15.9%と続いている。

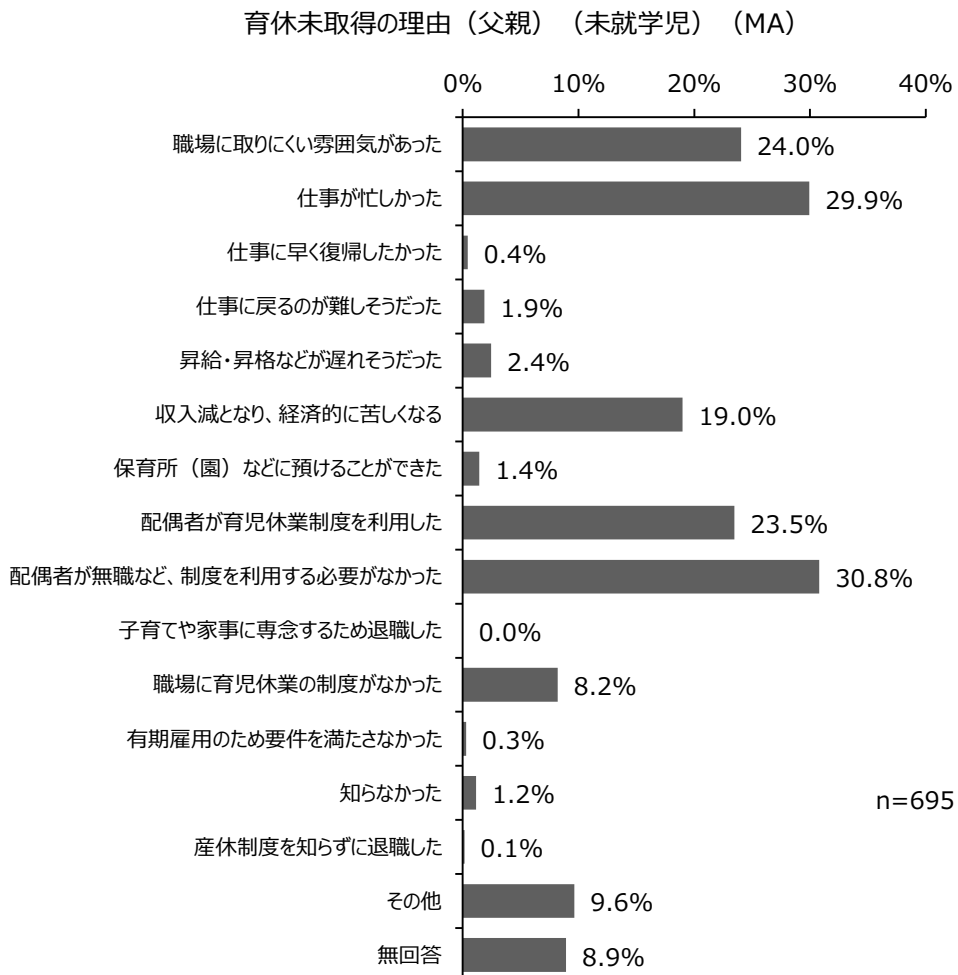
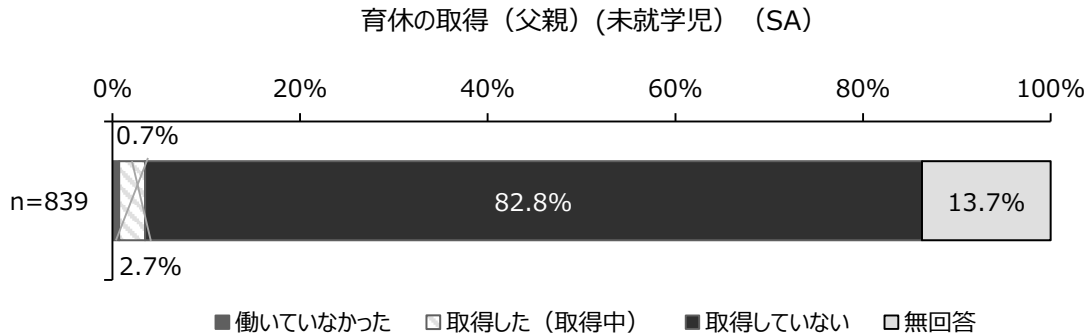
母親の育児休業の未取得理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」が32.3%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」が25.6%となっている。なお、「その他」としては、「自営業だから」という回答が多くなっている。



※育児休業を取得していない方

父親の育児休業の取得については、「取得していない」が大部分を占め、82.8%であった。

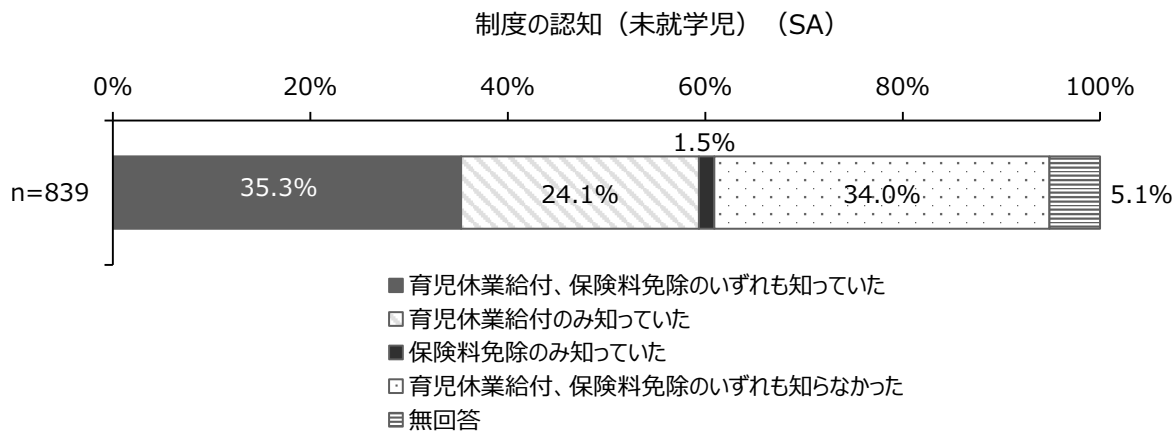
父親の育児休業の未取得理由については、「配偶者が無職など、制度を利用する必要がなかった」が 30.8%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が 29.9%などとなっている。



※育児休業を取得していない方

問3 1 - (1) : 育児休業給付制度等の認知について (SA)

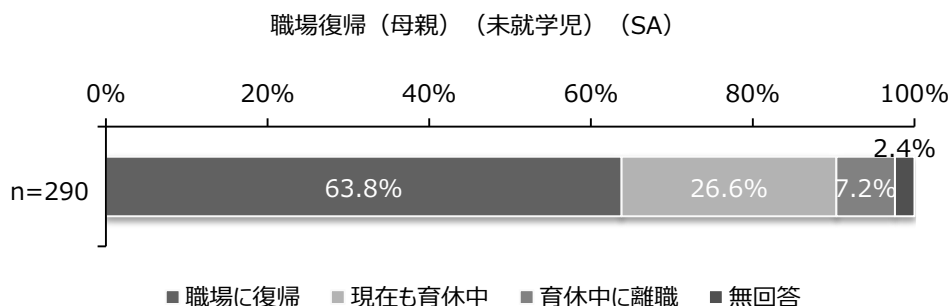
育児休業給付制度等の認知については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 35.3%で最も多く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が 34.0%、「育児休業給付のみ知っていた」が 24.1%で続いている。



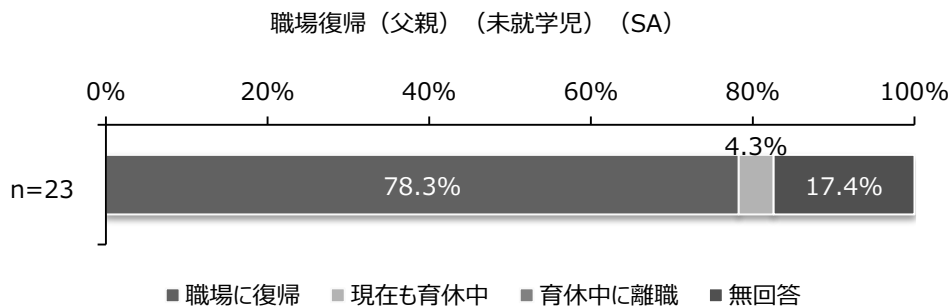
問3 1 - (2) : 育児休業取得後、職場に復帰したか (SA)

育児休業取得後の母親の職場復帰の状況については、「職場に復帰」が 63.8%で最も多く、次いで「現在も育児休業中」が 26.6%となっている。

父親の職場復帰の状況については、「職場に復帰」が 78.3%と最も多くなっている。



※育児休業を取得した方

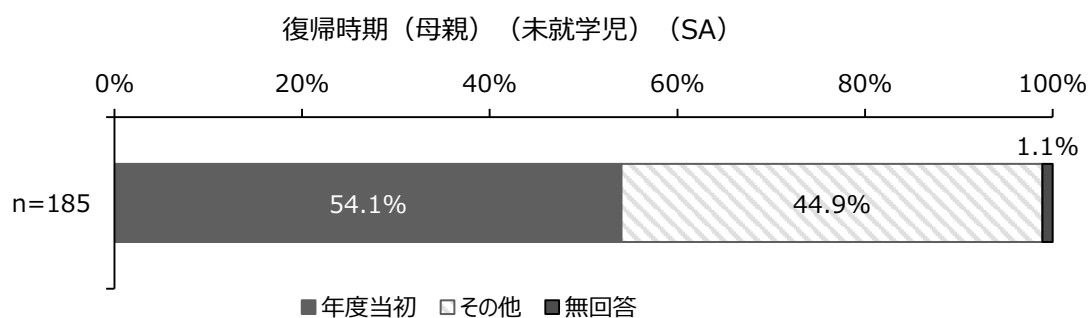


※育児休業を取得した方

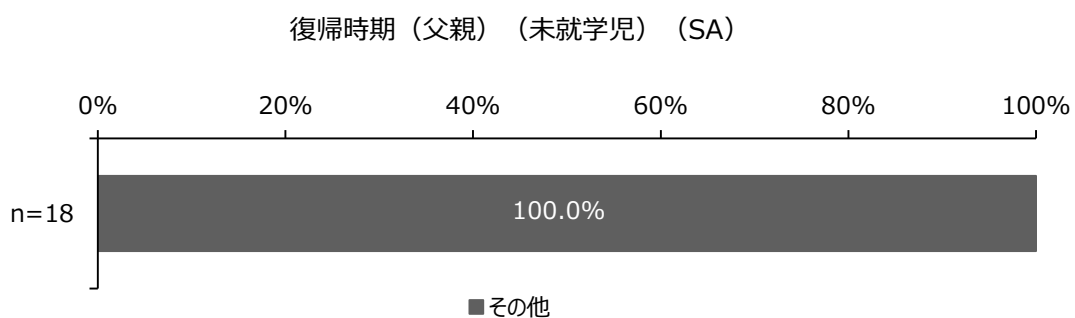
問3 1 - (3) : 育児休業後の職場復帰の時期について (SA)

母親の職場復帰時期については、「年度当初」が 54.1%、「その他」が 44.9%であった。

父親の職場復帰時期は、すべて「その他」であった。



※育児休業取得後、職場に復帰した方

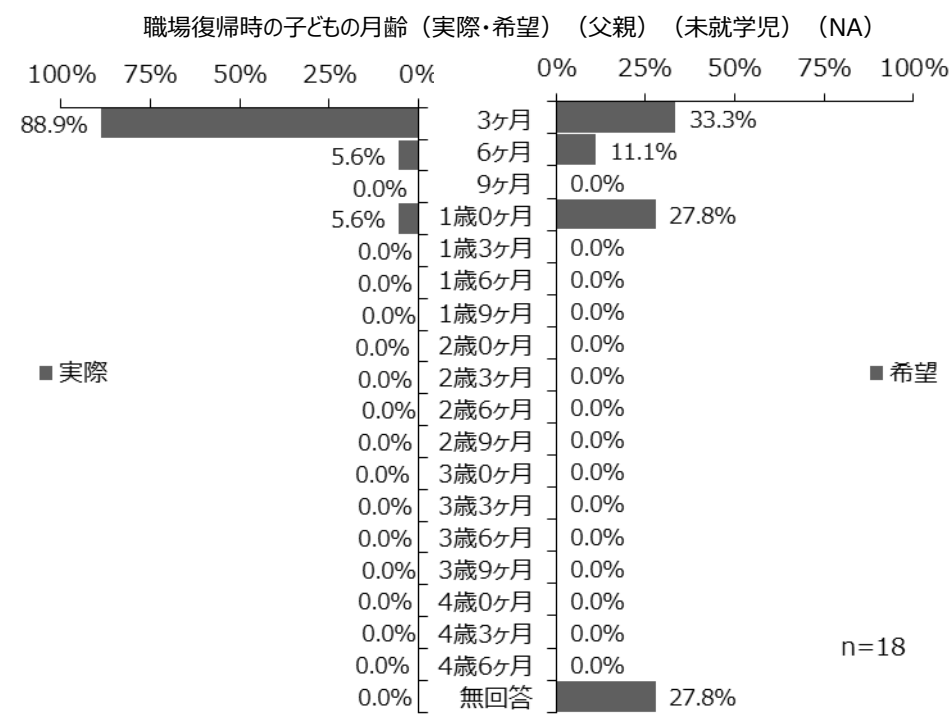
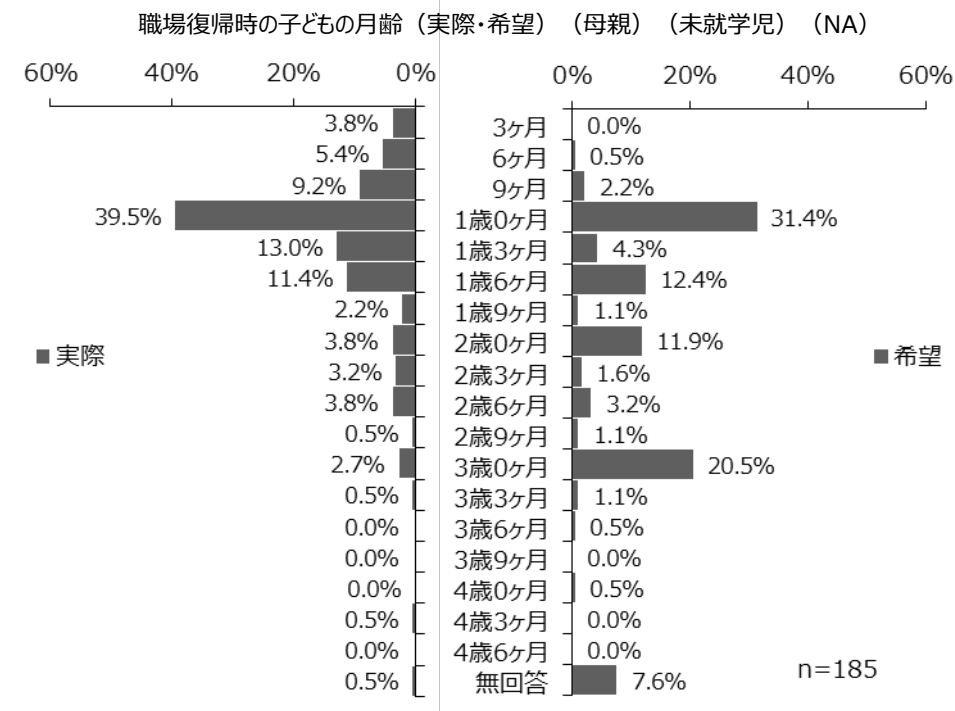


※育児休業取得後、職場に復帰した方

問3 1 - (4) : 職場復帰時の子どもの年齢について (NA)

母親の職場復帰時の子どもの年齢は、実際には「1歳」が39.5%と最も多く、次いで「1歳3ヶ月」が13.0%、「1歳6ヶ月」が11.4%などとなっている。一方、希望は、「1歳」が31.4%と最も多く、次いで「3歳」が20.5%、「1歳6ヶ月」が12.4%などとなっている。

父親は、実際は「3ヶ月」が88.9%と約9割となっている。希望は、「3ヶ月」が33.3%、「1歳」が27.8%となっている。

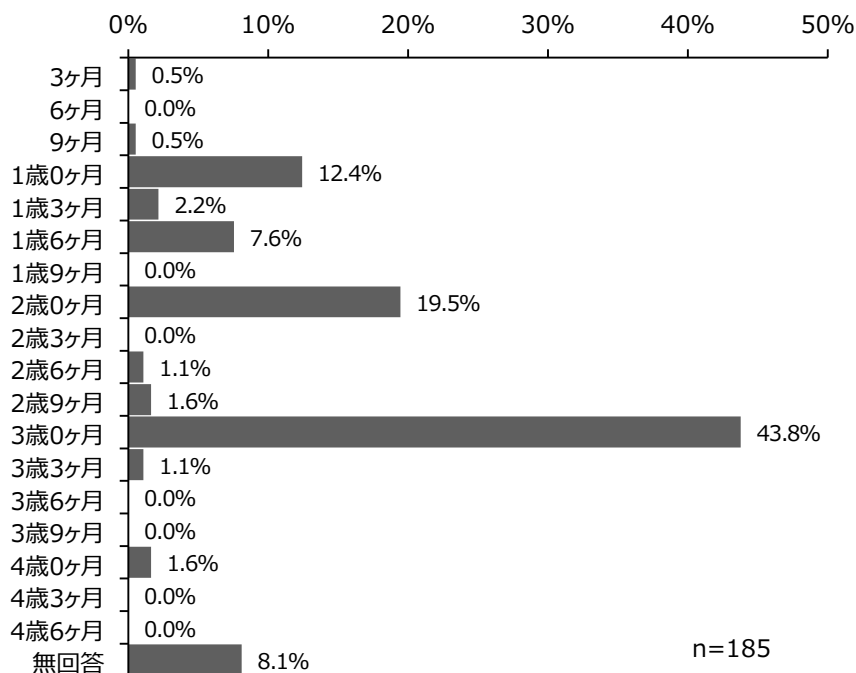


問3 1 - (5) : 希望育児休業期間について (NA)

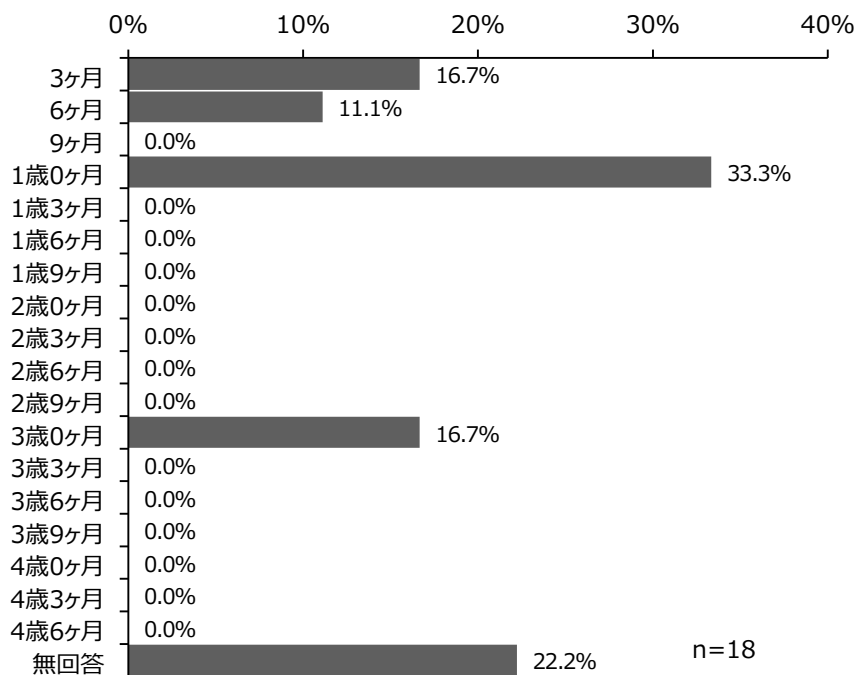
勤務先に3歳まで育児休業を取得できる制度があった場合に、希望する育児休業期間は、母親では「3歳」が43.8%と最も多く、次いで「2歳」、「1歳」と続いている。

父親は、「1歳」が33.3%と最も多く、次いで「3ヶ月」及び「3歳」となっている。

希望育児休業期間 (母親) (未就学児) (NA)



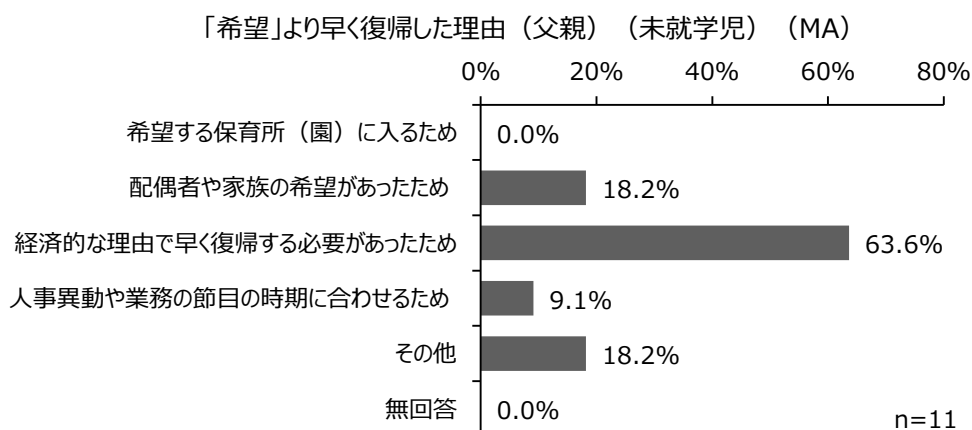
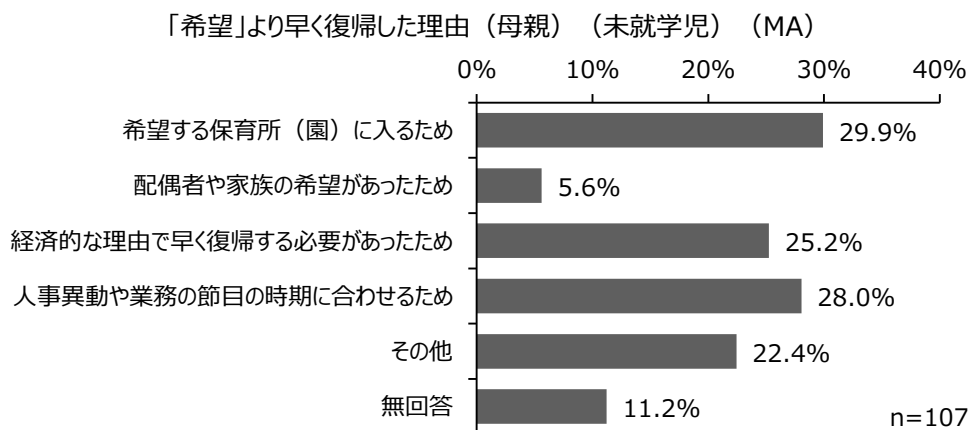
希望育児休業期間 (父親) (未就学児) (NA)



問3 1 - (6) : (1) 早期復帰理由について (MA)

希望より早く職場に復帰した理由について、母親では、「希望する保育所（園）に入るため」が 29.9%と最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」となっている。

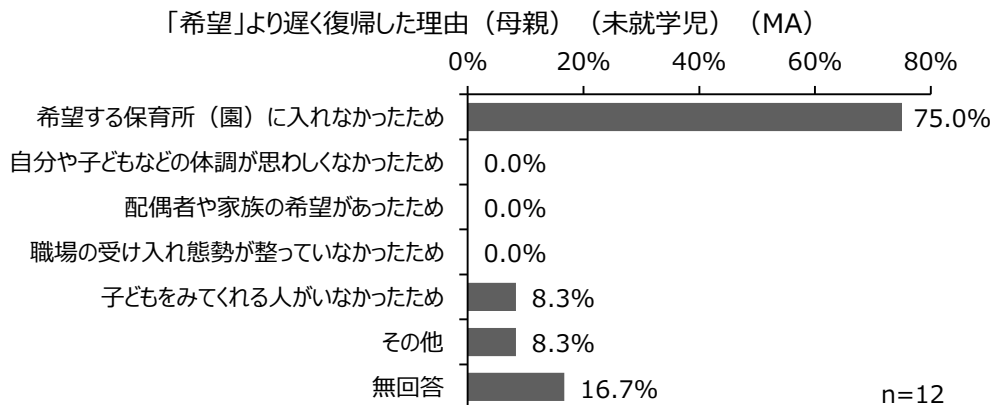
父親では、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が最も多く、6割を超えている。



問3 1 - (6) : (2) 遅延復帰理由について (MA)

希望より遅く職場復帰した理由について、母親では、「希望する保育所（園）に入れなかったため」が 75.0%と7割を超えている。

※父親は回答なし

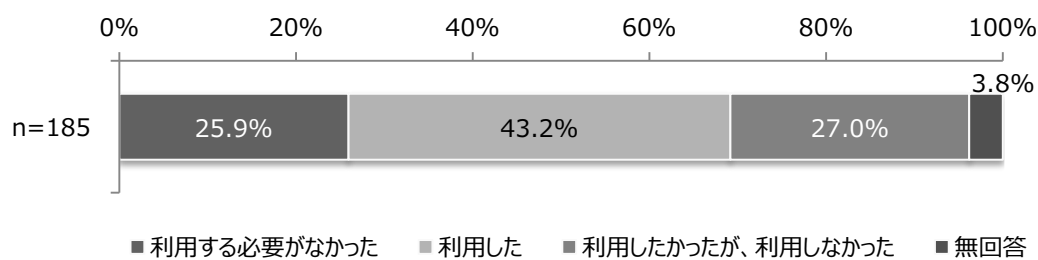


問 3 1 - (7) : 職場復帰時に短時間勤務制度を利用したか (S A)

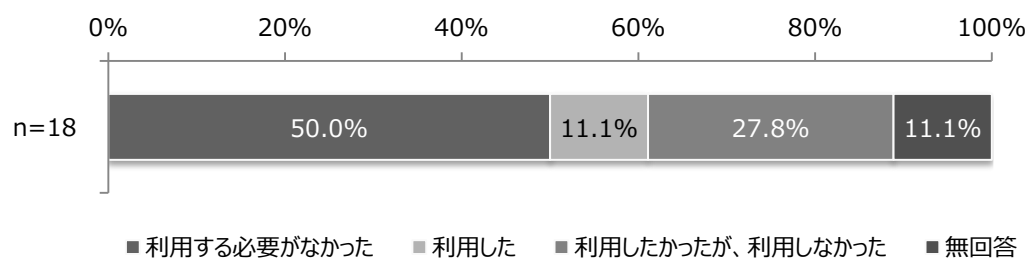
母親が職場復帰時に短時間勤務制度を利用したかは、「利用した」が 43.2%で最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった」が 27.0%、「利用しなかった」が 25.9%となった。

父親が職場復帰時に短時間勤務制度を利用したかは、「利用しなかった」が 50.0%で最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった」が 27.8%などとなっている。

短時間勤務制度を利用したか (母親) (未就学児) (SA)



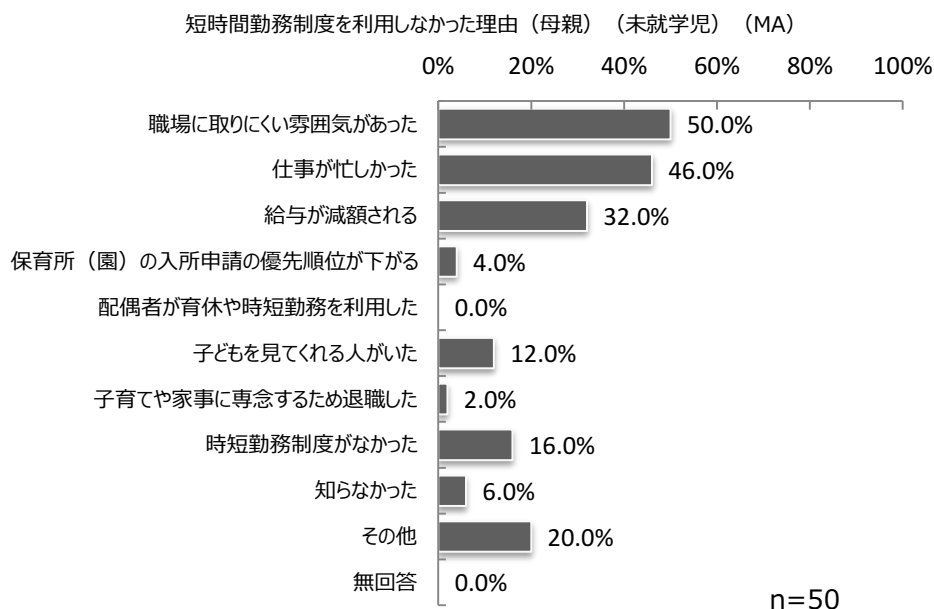
短時間勤務制度を利用したか (父親) (未就学児) (SA)



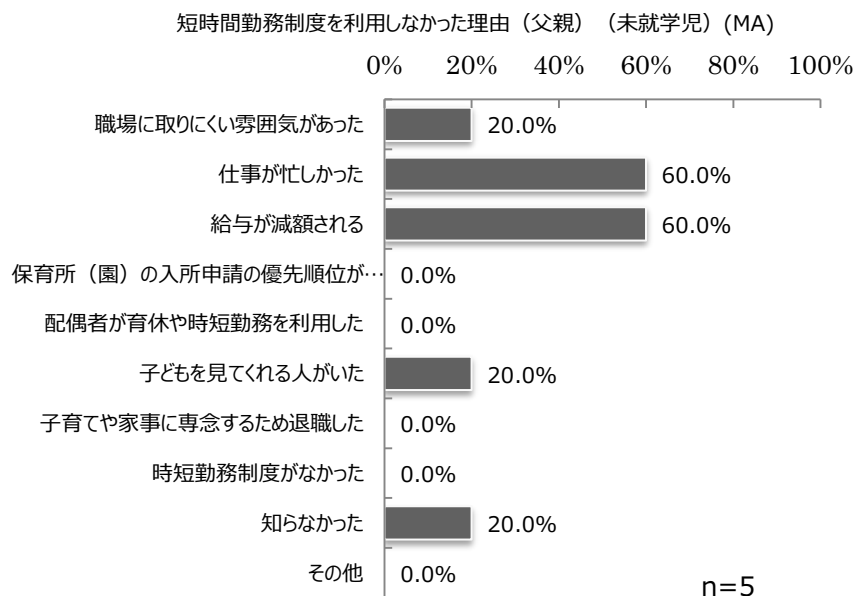
問3 1 - (8) : 短時間勤務制度を利用しなかった理由 (MA)

母親が短時間勤務制度を利用しなかった理由については、「職場にとりにくい雰囲気があった」が 50.0%で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が 46.0%、「給与が減額される」が 32.0%となった。

父親が短時間勤務制度を利用しなかった理由については、「仕事が忙しかった」、「給与が減額される」がそれぞれ 60.0%となっている。



※短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)方

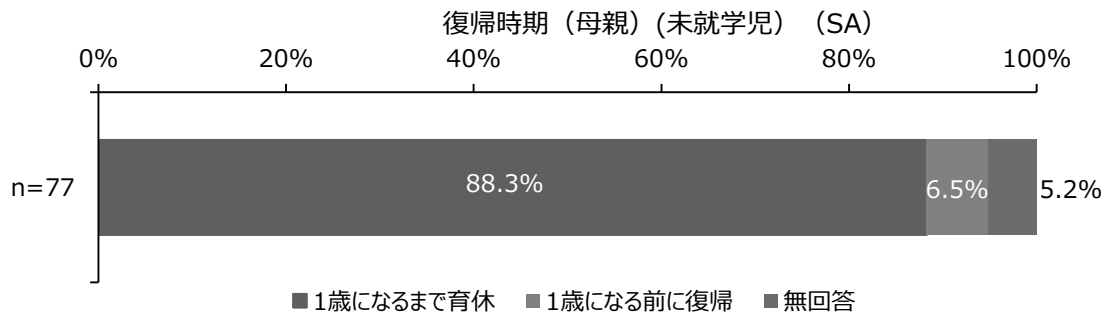


※短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)方

問3 1 - (9) : 1歳で必ず利用できる事業があった場合の復帰時期について (SA)

1歳で必ず利用できる事業があった場合の母親の復帰時期については、「1歳になるまで育休」が88.3%、「1歳になる前に復帰」が6.5%となった。

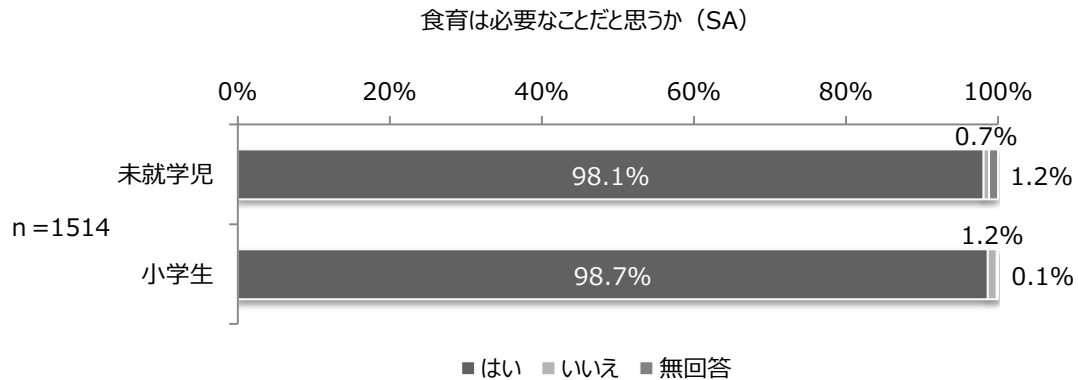
※父親は「1歳になるまで育休」に1人となっている。



12. 食育関連

問3 2（未就学児）、問2 1（小学生）：食育は必要なことだと思うか（SA）

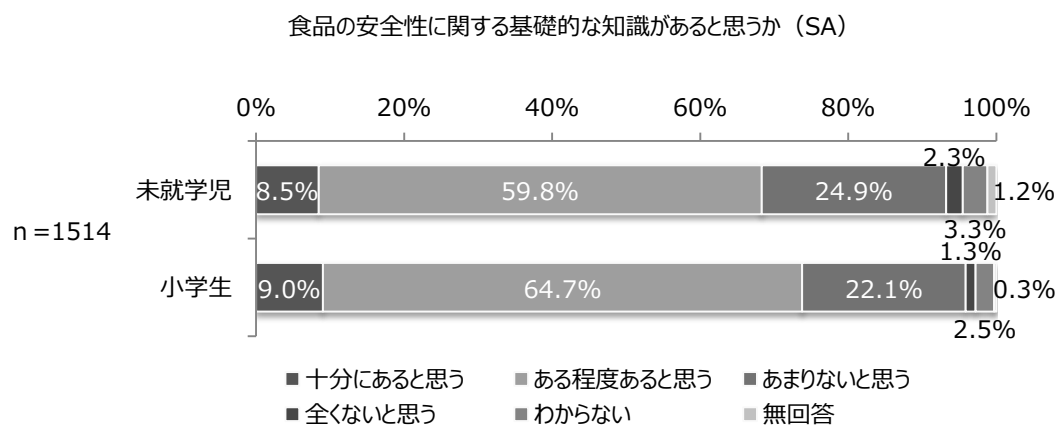
食育は必要なことだと思うかについては、「はい」が未就学児で98.1%、小学生で98.7%となっている。



問3 3（未就学児）、問2 2（小学生）：食品の安全性に関する基礎的な知識があると思うか（SA）

食品の安全性に関する基礎的な知識があるかについては、未就学児では「ある程度あると思う」が59.8%と最も多く、次いで「あまりないと思う」が24.9%、「十分にあると思う」が8.5%などとなっている。

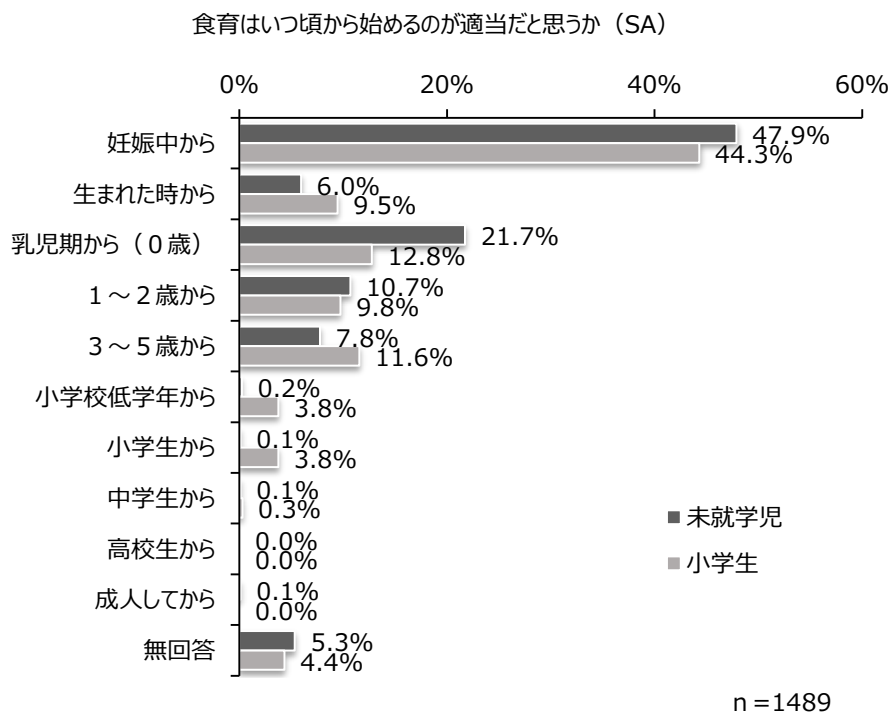
小学生でも未就学児と同様の傾向となっており、「ある程度あると思う」が64.7%と最も多く、次いで「あまりないと思う」が22.1%、「十分にあると思う」が9.0%などとなっている。



問34（未就学児）、問23（小学生）：食育はいつ頃から始めるのが適切だと思うか（SA）

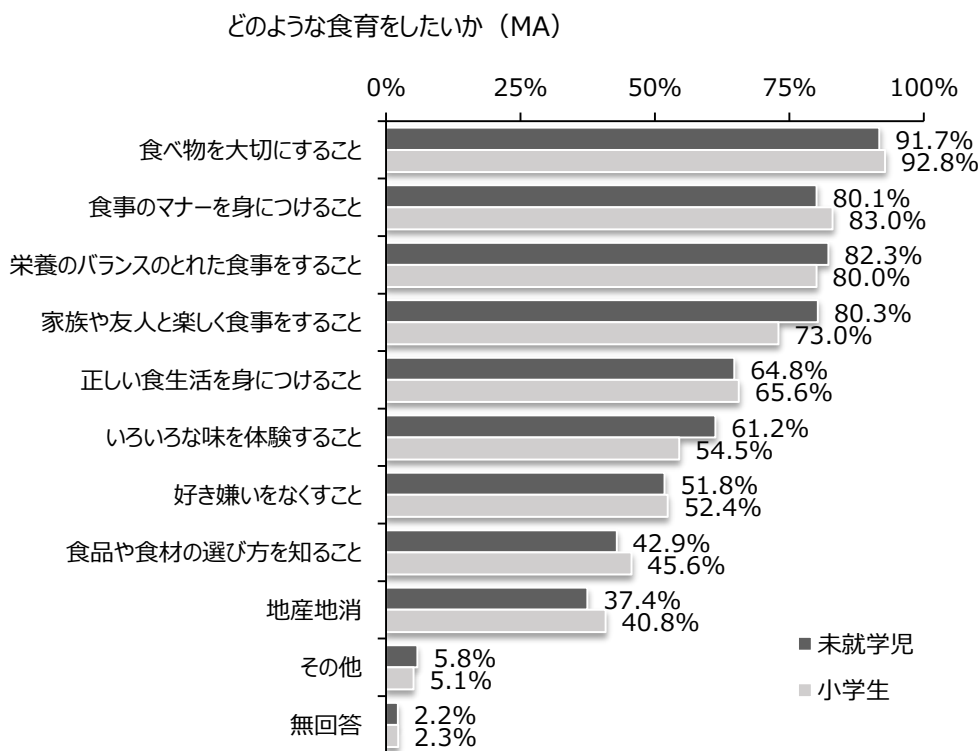
食育を始める時期については、未就学児では「妊娠中から」が最も多く47.9%、次いで「乳児期から」が21.7%、「1～2歳から」が10.7%などとなっている。

小学生では「妊娠中から」が最も多く44.3%、次いで「乳児期から」が12.8%、「3～5歳から」が11.6%などとなっている。



問3 4- (1) (未就学児)、問2 3- (1) (小学生) : 子どもにどのような食育をしたいと思うか (MA)

子どもにどのような食育をしたいと思うかについては、未就学児、小学生とも「食べ物を大切にすること」が最も多く、「食事のマナーを身につけること」、「栄養のバランスのとれた食事をする事」などが多くなっている。

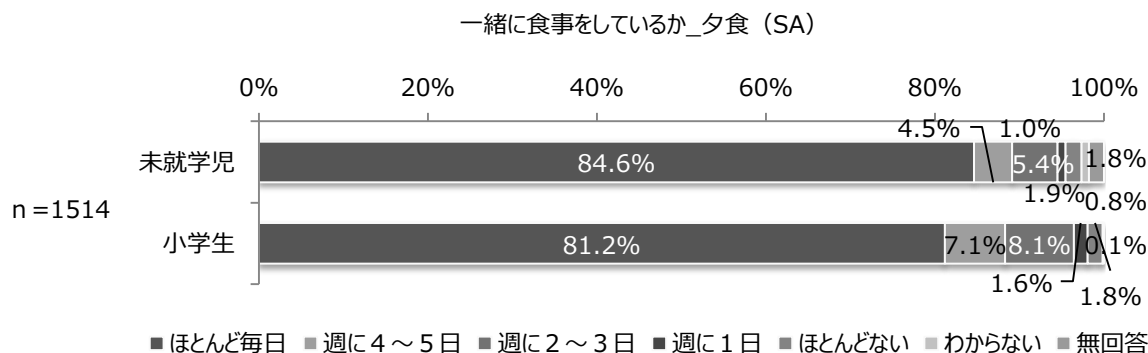
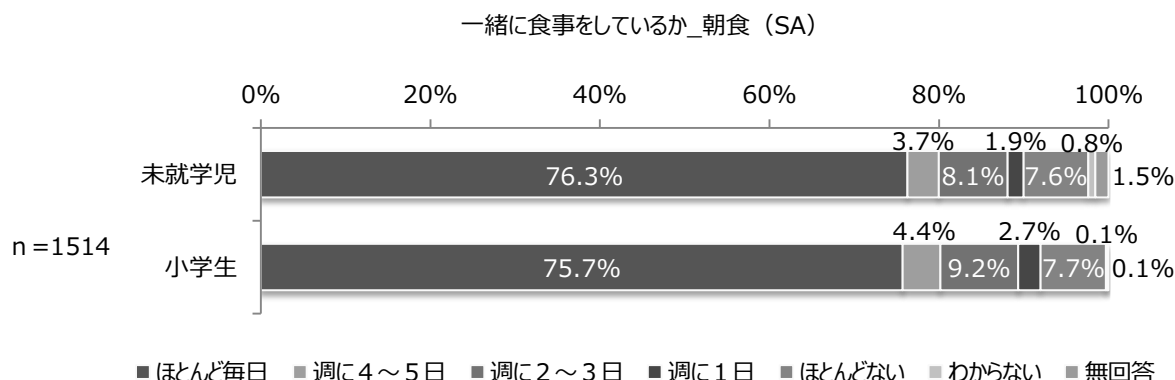


n=1489

問35（未就学児）、問24（小学生）：ご自身は、朝食又は夕食を子どもと一緒に食べているか（SA）

保護者がお子さんと食事を一緒に食べているかについては、朝食では、未就学児、小学生とも「ほとんど毎日」が76%前後で最も多く、次いで「週に2～3日」などとなっている。未就学児、小学生とも「ほとんどない」が8%弱となっている。

夕食については、未就学、小学生とも「ほとんど毎日」が8割を超え、次いで「週に2～3日」、「週に4～5日」などとなっている。

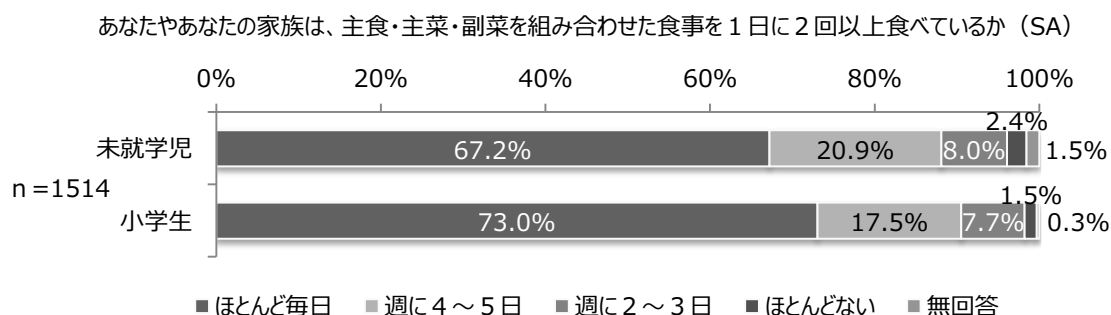


問36（未就学児）、問25（小学生）：ご自身や家族は、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日に2回以上食べているか（SA）

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の1日2回以上の摂取については、未就学児では「ほとんど毎日」が67.2%と最も多く、次いで「週に4～5日」が20.9%、「週に2～3日」が8.0%などとなっている。

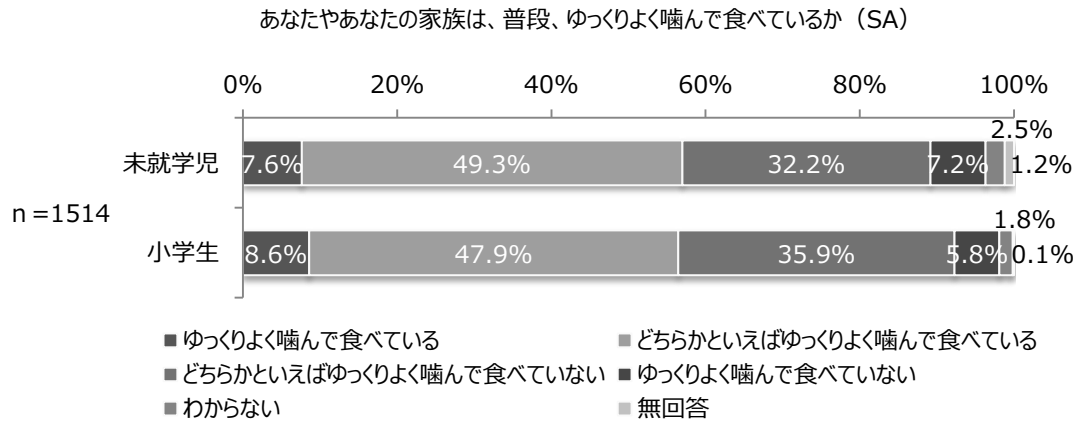
小学生では「ほとんど毎日」が73.0%と最も多く、次いで「週に4～5日」が17.5%、「週に2～3日」が7.7%などとなっている。

未就学児と比較して、小学生で「ほとんど毎日」食べている割合が高くなっている。



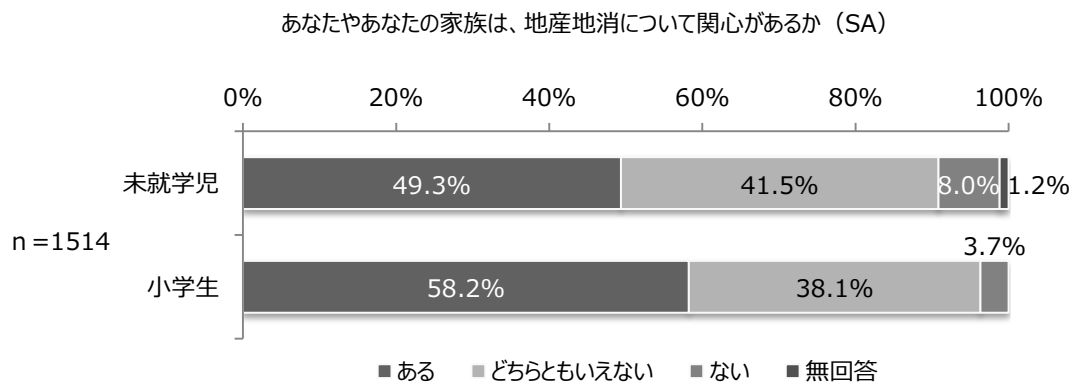
問37（未就学児）、問26（小学生）：ご自身や家族は、普段、ゆっくりよく噛んで食べているか（SA）

食事のペースについては、未就学児、小学生とも「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている」が約5割と最も多く、次いで「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べていない」となっている。



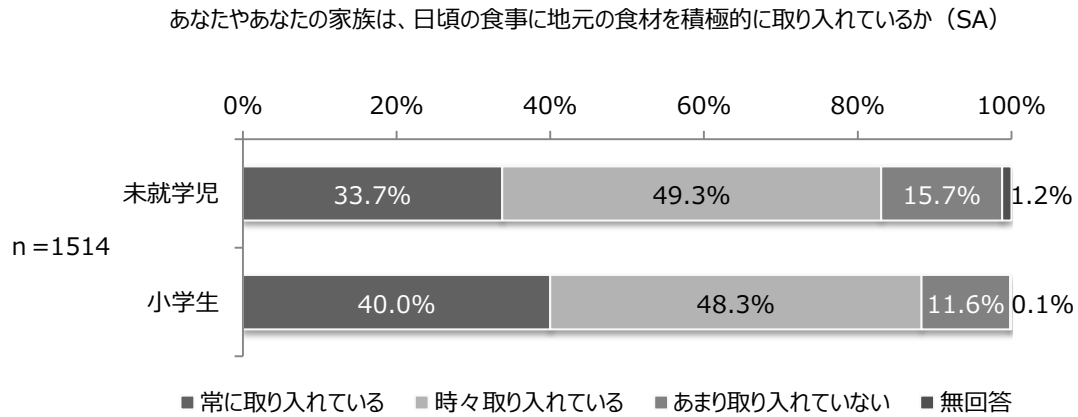
問38（未就学児）、問27（小学生）：ご自身や家族は、地産地消について関心があるか（SA）

地産地消への関心については、未就学児、小学生とも「ある」の割合が「ない」の割合よりも高くなっている。未就学児と小学生とを比較すると、小学生で関心が「ある」割合が約9ポイント高くなっている。



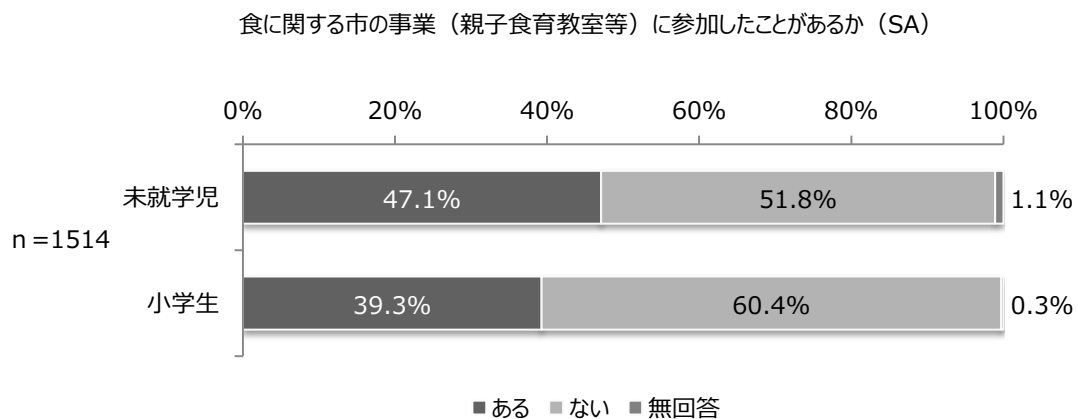
問 3 9（未就学児）、問 2 8（小学生）：ご自身や家族は、日頃の食事に地元の食材を積極的に取り入れているか（SA）

食事への地元食材への取り入れについては、未就学児、小学生とも「時々取り入れている」が約 5 割と最も多く、次いで「常に取り入れている」が続いている。未就学児と小学生を比較すると、小学生で「常に取り入れている」割合が 6.3 ポイント高くなっている。



問 4 0（未就学児）、問 2 9（小学生）：食に関する市の事業（親子食育教室等）に参加したことがあるか（SA）

市事業（食育関連）への参加については、未就学児では「ある」が 47.1%、「ない」が 51.8%となっている。小学生では「ある」が 39.3%、「ない」が 60.4%となっている。未就学児と小学生を比較すると、未就学児で「ある」の割合が 7.8 ポイント高くなっている。



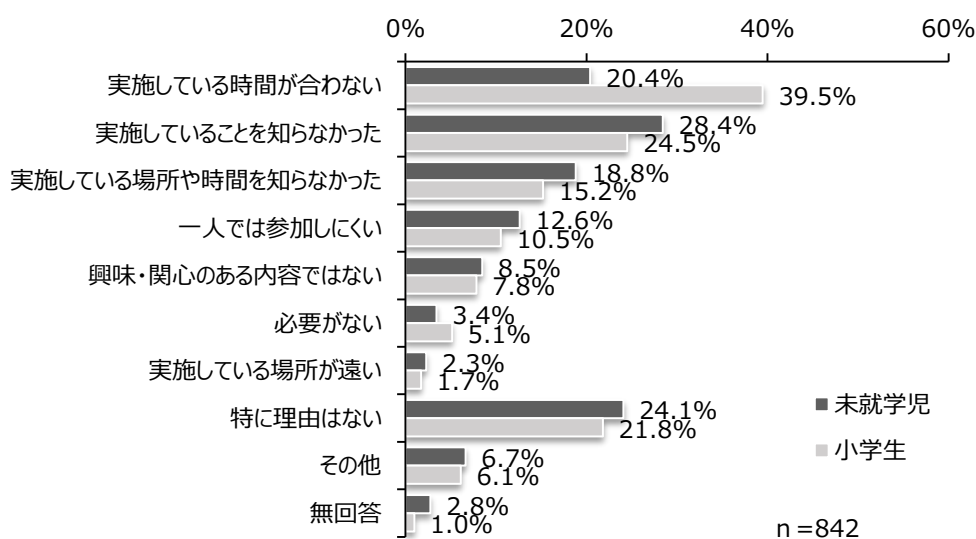
問40 - (1) (未就学児)、問29 - (1) (小学生) : 食に関する市の事業に参加しない理由 (MA)

市事業(食育関連)に参加しない理由については、未就学児では「実施していることを知らなかった」が最も多く、次いで「特に理由はない」、「実施している時間が合わない」、「実施している場所や時間を知らなかった」などとなっている。

小学生では「実施している時間が合わない」が最も多く、次いで「実施していることを知らなかった」、「特に理由はない」などとなっている。

未就学児と小学生を比較すると、小学生で「実施して時間が合わない」の割合が19.1ポイント高くなっている。

食に関する市の事業に参加しない理由 (MA)

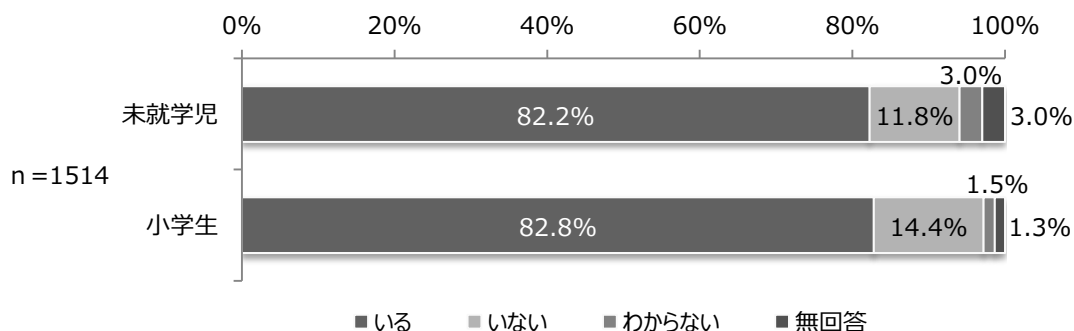


※食に関する市の事業に参加したことがない方

問41 (未就学児)、問30 (小学生) : 田植え等農林漁業体験に参加したことがある家族(自分を含む)はいるか (SA)

農林漁業体験に参加したことがある家族(自分を含む)がいるかについては、未就学児、小学生とも「いる」が8割を超えている。

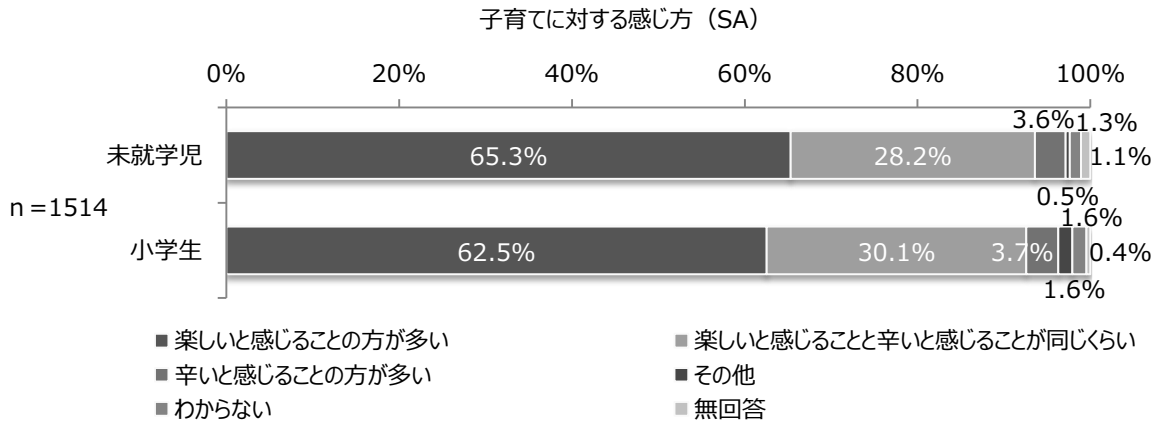
田植え等農林漁業体験に参加したことがある家族(自分を含む)はいるか (SA)



13. 市の子育て関連の取り組み

問4 2（未就学児）、問3 1（小学生）：子育てに対する感じ方（SA）

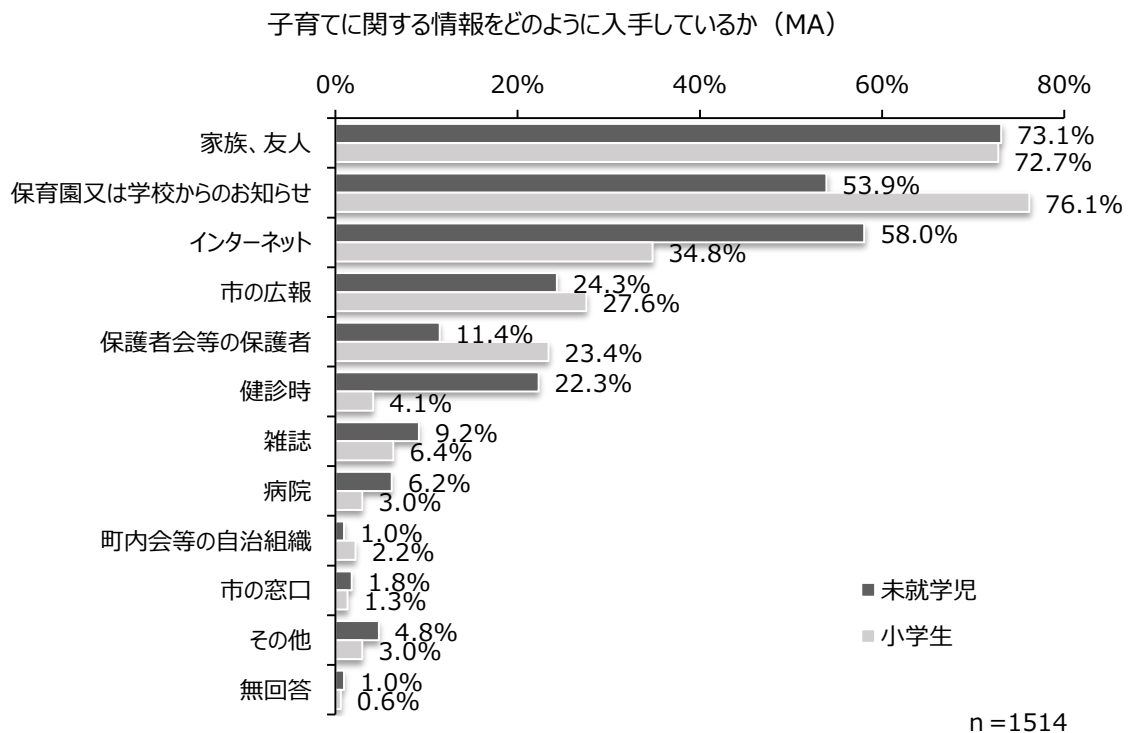
子育てに対する感じ方については、未就学児、小学生とも「幸せと感じることの方が多い」が6割を超えている。



問4 3（未就学児）、問3 2（小学生）：子育てに関する情報を主にどのように入手しているか（MA）

子育てに関する情報を主にどのように入手しているかについては、未就学児では「家族、友人」が73.1%と最も多く、次いで「インターネット」が58.0%、「保育園からのお知らせ」が53.9%となっている。

小学生では、「学校からのお知らせ」が76.1%と最も多く、次いで「家族、友人」が72.7%、「インターネット」が34.8%となっている。

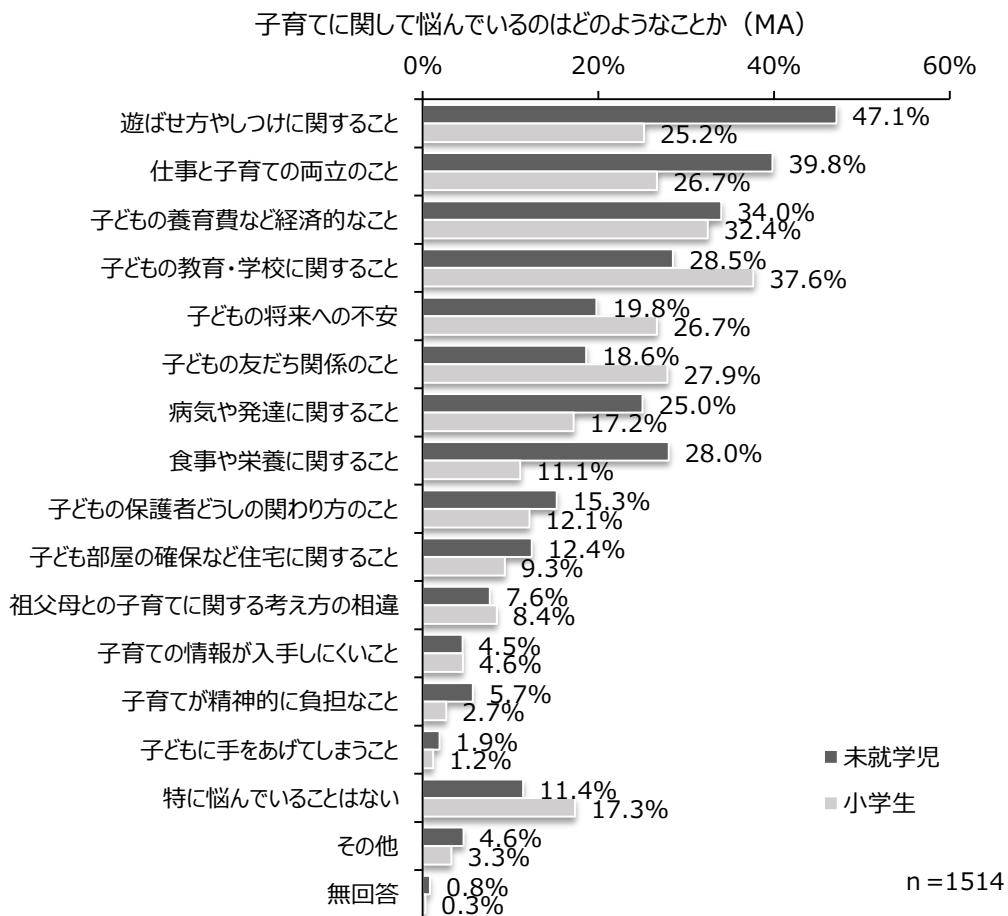


問4 4（未就学児）、問3 3（小学生）：子育てに関して悩んでいるのはどのようなことか（MA）

子育てに関して悩んでいることについては、未就学児では「遊ばせ方やしつけに関すること」が47.1%と最も多く、次いで「仕事と子育ての両立のこと」が39.8%、「子どもの養育費など経済的なこと」が34.0%などとなっている。

小学生では「子どもの教育・学校に関すること」が37.6%と最も多く、次いで「子どもの養育費などの経済的なこと」が32.4%、「子どもの友だち関係のこと」が27.9%などとなっている。

未就学児と小学生を比較すると、未就学児では「遊ばせ方やしつけに関すること」が21.9ポイント高く、小学生では「子どもの友だち関係のこと」が9.3ポイント高くなっている。



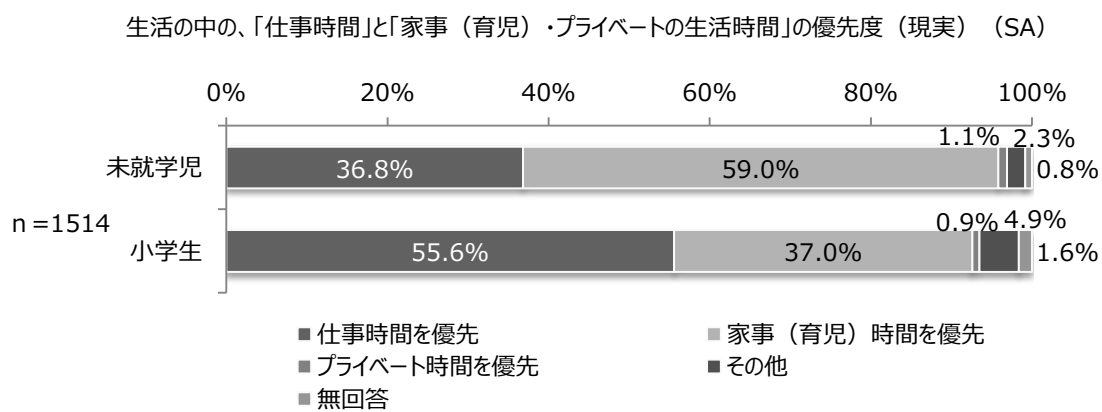
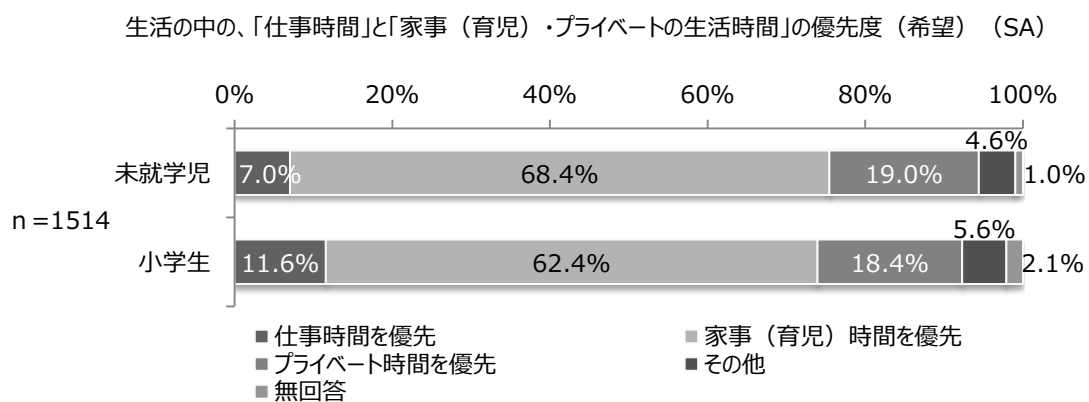
問45（未就学児）、問34（小学生）：生活の中の、「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度（SA）

仕事と生活の優先度（希望）は、未就学児、小学生とも「家事（育児）時間を優先」が最も多く、次いで「プライベート時間を優先」となっている。

仕事と生活の優先度（現実）は、未就学児では「家事（育児）を優先」が59.0%と最も多く、次いで「仕事時間を優先」が36.8%となっている。

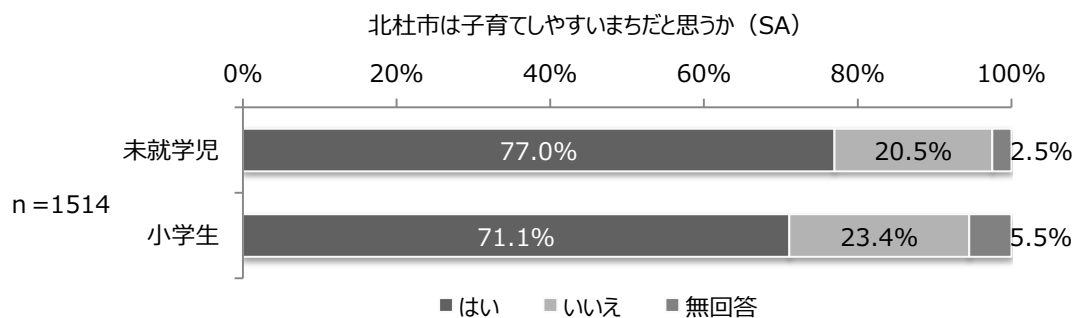
小学生では「仕事時間を優先」が55.6%と最も多く、次いで「家事（育児）時間を優先」が37.0%などとなっている。

希望と現実を比較すると、未就学児、小学生とも現実では「仕事時間を優先」する傾向があり、特に小学生でその傾向が強くなっている。



問46（未就学児）、問35（小学生）：北杜市は子育てしやすいまちだと思うか（SA）

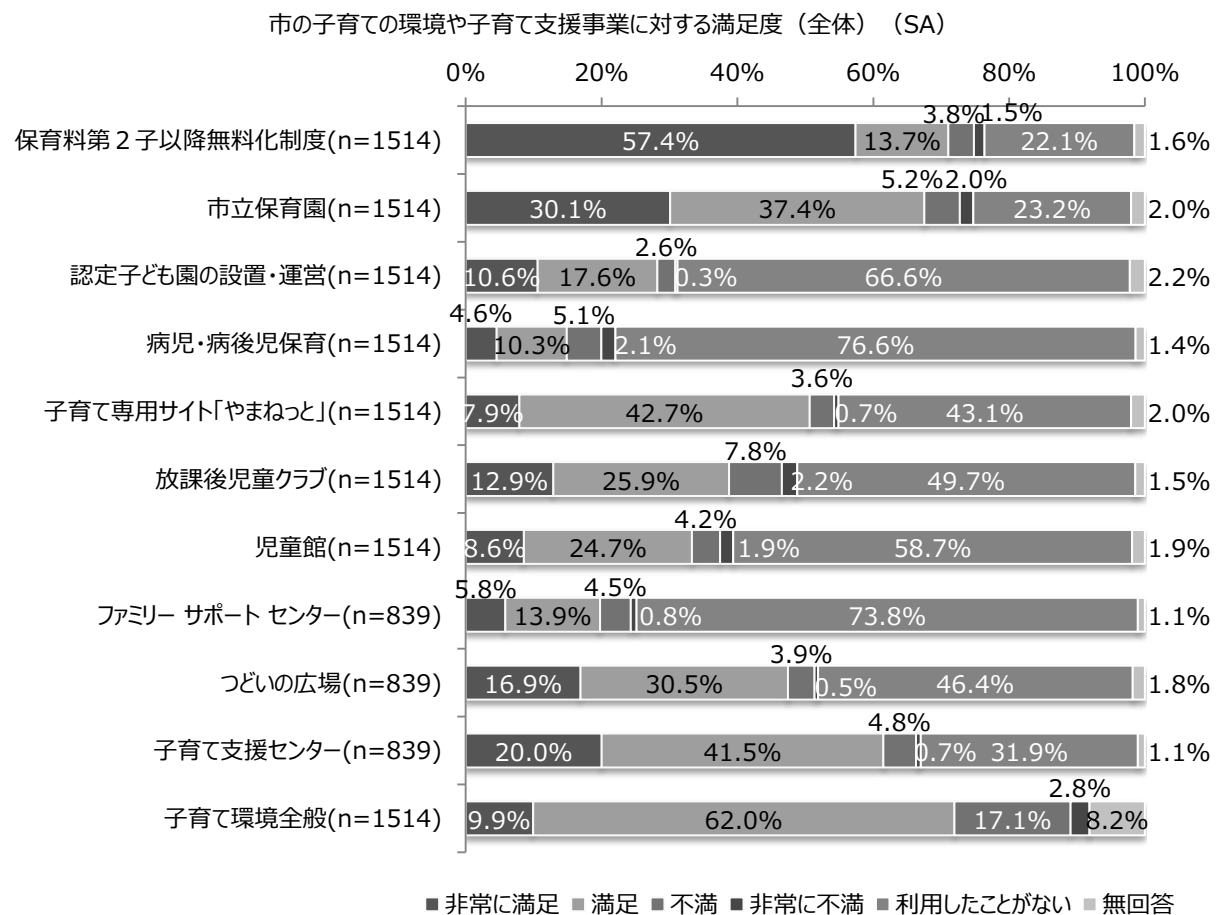
北杜市は子育てしやすいまちだと思うかについては、未就学児、小学生とも「はい」が70%を超えており、特に未就学児では77.0%と8割近くになっている。



問47（未就学児）、問36（小学生）：北杜市の子育て環境や子育て支援事業にどの程度満足を感じているか（SA）

子育て環境や子育て支援事業に対する満足度は、「非常に満足」に「満足」を加えた割合で見ると、「子育て環境全般」、「保育料第2子以降無料化制度」、「市立保育園」、「子育て専用サイト『やまねっと』」、「子育て支援センター」等で比較的高くなっている。

一方、「病児・病後児保育」、「ファミリーサポートセンター」などでは割合が低くなっている。利用したことがない割合が高いことが理由と想定される。



問48（未就学児）、問37（小学生）：このとり事業又はチャイルドシート購入補助事業の認知度、利用度、今後の利用意向（SA）

このとり事業（不妊治療）又はチャイルドシート購入補助事業を知っているかについては、未就学児では、このとり事業（不妊治療）で「知っている」が43.5%、「知らない」が53.8%となっている。チャイルドシート購入補助事業は、「知っている」が81.4%、「知らない」が13.2%となっている。

小学生では、このとり事業（不妊治療）で「知っている」が39.6%、「知らない」が58.2%となっている。チャイルドシート購入補助事業は、「知っている」が67.6%、「知らない」が28.9%となっている。

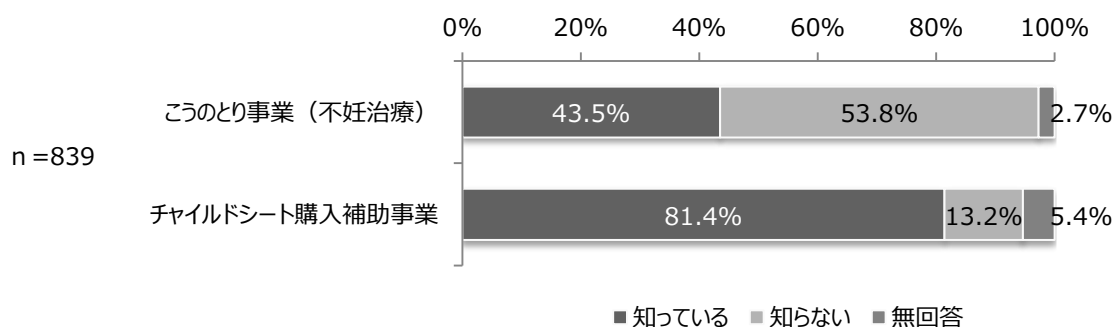
また、これまでに利用したことがあるかについては、未就学児、小学生ともこのとり事業（不妊治療）では「利用したことがない」が約85%となっている。

チャイルドシート購入補助事業は、未就学児では54.9%、小学生では34.7%が「利用したことがある」となっている。

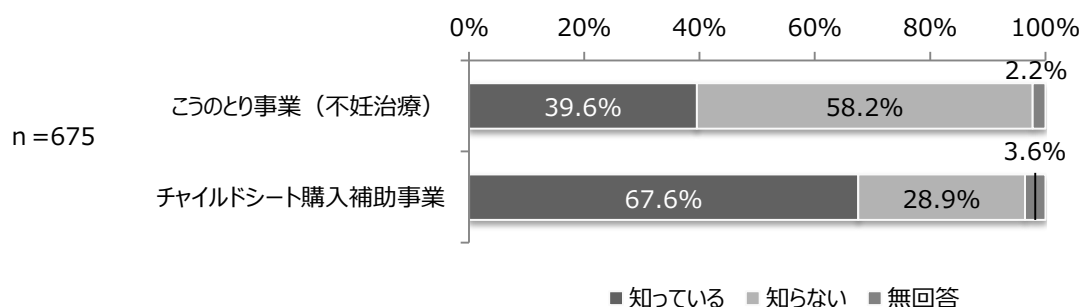
今後の利用意向について、未就学児ではこのとり事業（不妊治療）が6.7%、チャイルドシート購入補助事業で41.7%が利用したいとしている。

小学生では、このとり事業（不妊治療）で3.0%、チャイルドシート購入補助事業で7.9%が利用したいとしている。

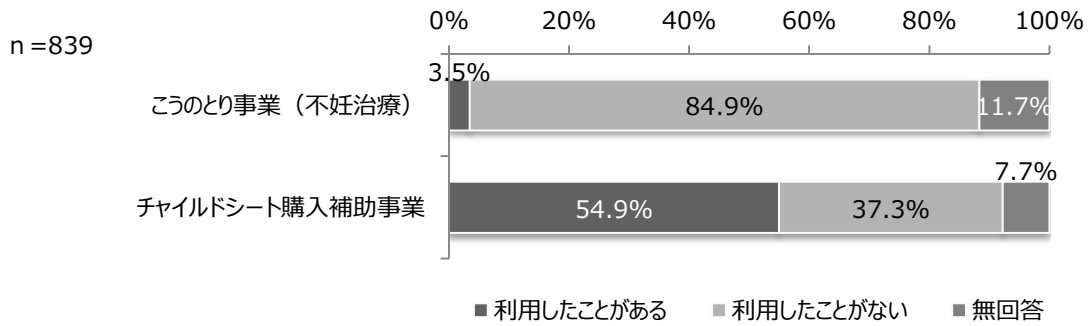
助成事業について知っているか（未就学児）（SA）



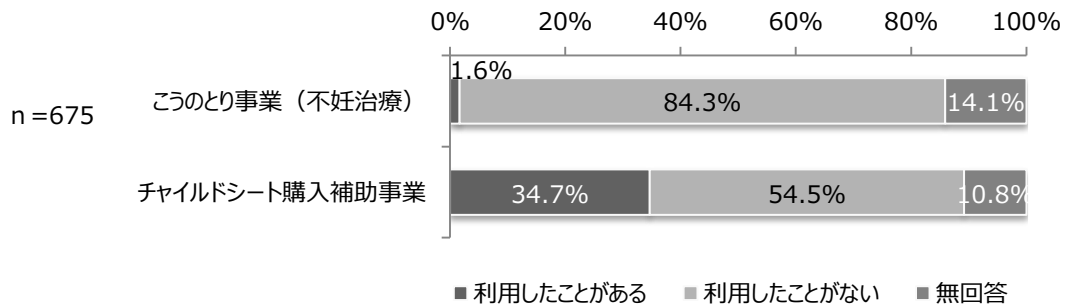
助成事業について知っているか(小学生)（SA）



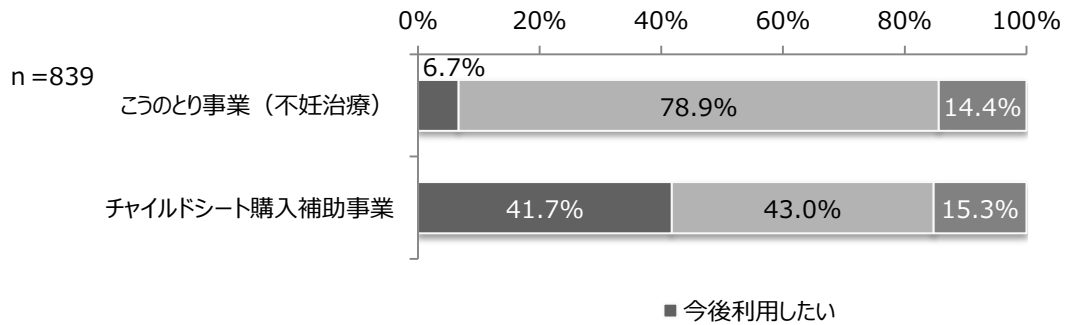
助成事業について利用したことがあるか（未就学児）（SA）



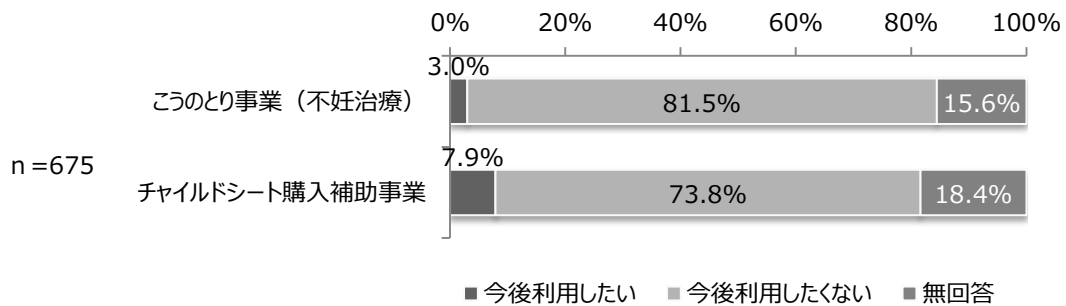
助成事業について利用したことがあるか（小学生）（SA）



助成事業について今後利用したいか（未就学児）（SA）



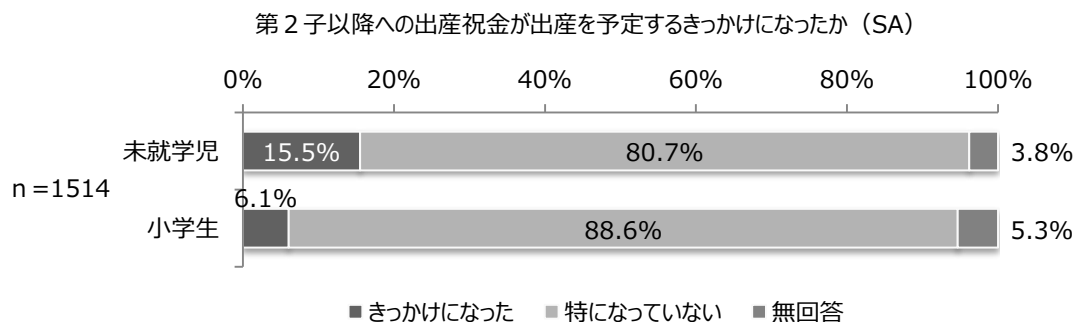
助成事業について今後利用したいか（小学生）（SA）



問49（未就学児）、問38（小学生）：第2子以降への出産祝金が出産を予定するきっかけになったか（SA）

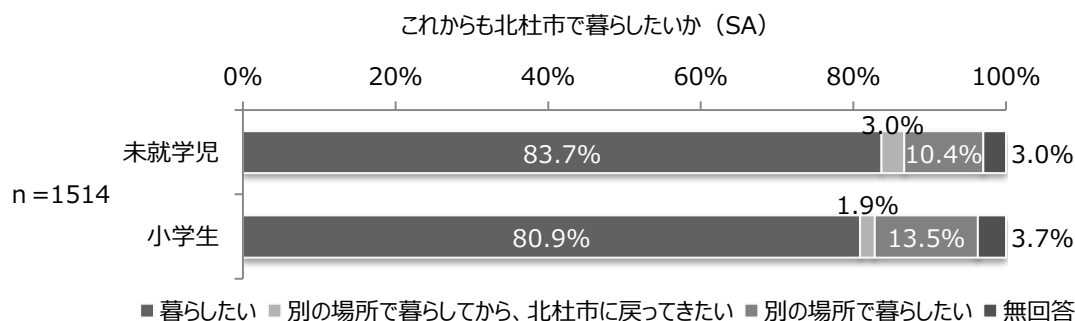
第2子以降への出産祝金が出産を予定するきっかけになったかについては、未就学児、小学生とも「特になっていない」が80%を超えている。

一方、「きっかけになった」は、未就学児で15.5%となっている。



問50（未就学児）、問39（小学生）：これからも北杜市で暮らしたいか（SA）

これからも北杜市で暮らしたいかについては、未就学児、小学生とも「暮らしたい」が80%を超えている。

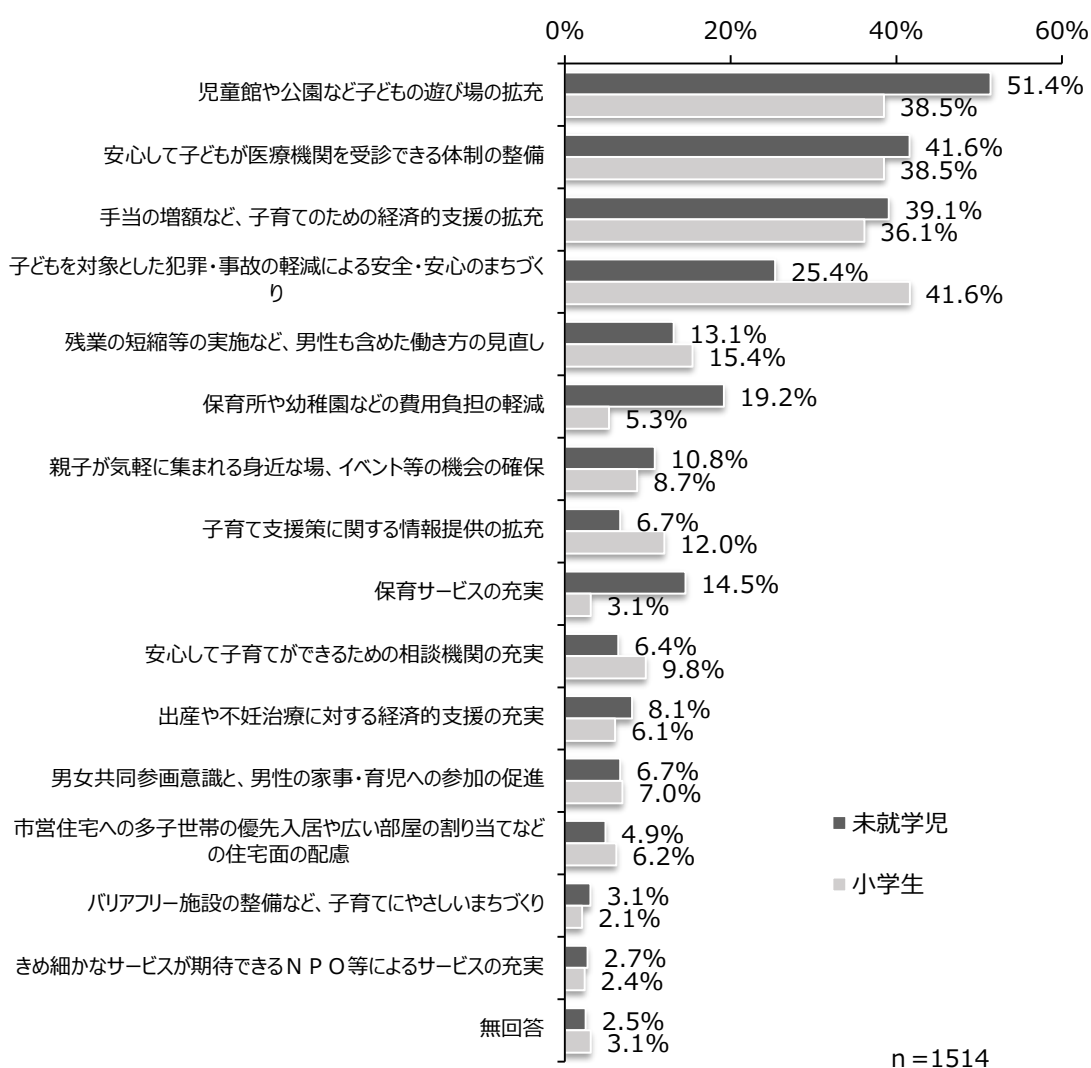


問 5 1（未就学児）、問 4 0（小学生）：北杜市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいか（MA）

北杜市に対してどのような子育て支援の充実を図ってほしいかについては、未就学児では「児童館や公園など子どもの遊び場の拡充」が 51.4%と最も多く、次いで「安心して子どもが医療機関を受診できる体制の整備」が 41.6%、「手当の増額など、子育てのための経済的支援の拡充」が 39.1%などとなっている。

小学生では、「子どもを対象とした犯罪・事故の軽減による安全・安心のまちづくり」が 41.6%と最も多く、次いで「児童館や公園など子どもの遊び場の拡充」、「安心して子どもが医療機関を受診できる体制の整備」がそれぞれ 38.5%、「手当の増額など、子育てのための経済的支援の拡充」が 36.1%などとなっている。

市に期待している子育て支援の充実（MA）



北杜市子ども・子育て支援に関する
アンケート結果報告書

発行日：平成 31 年 3 月

発 行：北杜市 福祉部 子育て応援課

〒408-0188 山梨県北杜市須玉町大豆生田 961-1

電 話 0551-42-1332

F A X 0551-42-1125